

朝日大学歯学部

2023 年度 教授要綱 (3 学年)

目 次

建学の精神

学年暦

授業時間割

第 1 章 歯学部学修の手引き

- 1 学期と授業時間
- 2 授業
- 3 出席・欠席
- 4 暴風時及び公共交通機関運休時における授業の取り扱いについて
- 5 試験
- 6 成績評価
- 7 進級
- 8 共用試験
- 9 臨床実習
- 10 診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験（臨床実験後）
- 11 卒業
- 12 休学・復学・退学・除籍・復籍
- 13 在学期間
- 14 賞罰
- 15 伝達方法
- 16 ロッカーの使用方法
- 17 岐阜歯科学会
- 18 注意事項
個人情報の取り扱いについて

第 2 章 歯学部教育の指針

- 1 基礎教育系
- 2 専門教育系

第 3 章 各学年で開講される科目の教授要綱と内容

- 1 基礎教育系科目
- 2 専門教育系科目

建学の精神

本学の建学の精神は、国際未来社会を切り開く社会性と創造性、

そして、人類普遍の人間的知性に富む人間を育成することにある。

○ 社会性について

人類共存の理念は、今や地球の資源・環境問題をはじめ高齢化社会に伴う労働問題、先進国の国際経済問題、発展途上国の社会経済問題など、解決すべき諸問題に直面している。これらの課題と取り組み、人類の繁栄と幸福を推進するため、国際性と社会性に富む人間、和を重んずる心豊かな人間を育成する。

○ 創造性について

人類は、科学・技術のめざましい発展により、物質的豊かさを獲得したが、この科学・技術の発展はまた、豊かな人間性の涵養に資するものでなくてはならない。

先端的科学の進歩と豊かな人間性との調和を図るため人類は創造的英知を発揮する必要がある。

本学は、このため自然科学と人文・社会科学、その他芸術との学際的協力により、専門的かつ総合的な教育・研究活動を推進する。

○ 人間的知性について

高度な産業化・情報化の社会を迎えて、人間の生活様式も価値観も激変している。この際、科学・技術の健全な発達を図る反面、技術の独走が警戒される。従って人類普遍の理念としての人間性の発揚を志し、自己を確立し、人権と自由を尊重する調和ある国際未来社会を建設する必要のため、新しい人間的知性の涵養を企図するものである。

朝日大学の目的

朝日大学は、教育基本法並びに学校教育法の趣旨を尊重してその条項に従い、一般教養及び専門学術の理論並びにその応用を教育研究し、知的、道徳的教養をもつ有為の人材を育成するとともに、広く知識を世界にもとめ、教育、学術研究の国際交流をはかり、高度の教育目的を達成し、学術、文化の向上と社会の発展に寄与することを目的とする。

【教育研究上の目的等】

歯学部は、歯科医学の専門知識及び高度な医療技術並びに社会人としての豊かな学識と技能を体系的に教授研究し、高い倫理観と豊かな人間性・国際性を兼ね備えた歯科医師を養成することを目的とする。

【教育理念】

歯学部の教育理念は、建学の精神にのっとり、グローバル化する医療の中で、高い倫理観をもって常に患者の気持ちに向き合い、社会貢献に積極的に関与できる、豊かな人間性・国際性を兼ね備えた歯科医師を養成することにあります。

そのため、教養教育と歯科医学の専門教育で構成した系統教育および統合教育により、高度な専門知識と専門技術を習得し、高い倫理観と教養を身につけ、地域社会に貢献するとともに国際社会にも通用する歯科医師の育成を目指しています。

【教育目標】

- 1 人間の尊厳を重んじ、幅広い人間性と教養を備え、生命倫理に基づく深い洞察力と責任感を有する人材の育成を目指しています。
- 2 歯科医学の高度な専門知識及び医療技術を有する人材の育成を目指しています。
- 3 我が国における少子高齢社会の進展の中で、多様化する歯科医療ニーズに対し、生涯を通して口から食べることによる健康で豊かな長寿社会の実現に貢献することができる人材の育成を目指しています。
- 4 日進月歩である歯科医学・歯科医療を生涯にわたり考究し、その発展のために日々努力し、国際社会の一員として、広い視野とリーダーシップを発揮できる能力の涵養を目指しています。

【ディプロマ・ポリシー】

歯学部では、所定の期間在学し、歯学部の教育理念、教育目標に沿って設定された授業科目を履修して、卒業時に次の到達目標を達成し、所定の単位を修得した者に対して、学士（歯学）の学位を授与することとしています。

- 1 歯科医師として必要な倫理観や人間性を身につけるとともに、幅広い知識と豊かな教養そして社会性を有している。
- 2 地域社会や国際未来社会で活躍できるコミュニケーション能力や英語能力を有しているとともに幅広い視野とリーダーシップを有している。
- 3 歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。
- 4 全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。
- 5 多様化する地域社会の歯科医療ニーズにきめ細やかに対応し、口腔ケア、在宅歯科診療や、地域包括ケアシステムなど多職種連携チーム医療をもとに、地域社会に貢献する歯科医療を実践できる高い臨床能力を身につけている。
- 6 研究心と論理的思考能力を持って日々進歩する歯科医学・歯科医療を常に研鑽し、歯科医療の発展のために生涯にわたり自らの歯科医療の知識と技術の向上を図ることができる。

【カリキュラム・ポリシー】

歯学部では、教育目的及びディプロマ・ポリシーに基づき、次のとおり教育課程の編成方針を定め、必要な授業科目を系統的あるいは統合的に開設しています。

- 1 幅広い知識と豊かな教養について、基礎教育系科目を通じて学修するとともに、歯科医師として必要な倫理観や人間性について、「建学の精神と社会生活・リベラルアーツ」、「基礎歯科学入門Ⅰ・Ⅱ」、「解剖学実習」等を通じて学修する。
- 2 歯科医師として必要な人間性、国際性を身につけるため、「基礎ゼミ」、「英会話」等を通じて、コミュニケーション能力、英語能力及び歯科医師へのモチベーションの向上を図る。
- 3 歯科医学の基本となる生命科学について理解する上で必要な人体や歯の構造・機能、病態について解剖学、生理学、病理学、生化学、微生物学、薬理学等の科目を設け系統的かつ多元的に学修するとともに、生体材料学については歯科理工学を設け学修する。
- 4 歯科医学の専門知識及び高度な医療技術を習得するため、臨床系科目を開設し、講義及び実習を通じて歯科医師として必要な知識・技能・態度を身につける。
- 5 朝日大学医科歯科医療センターおよび朝日大学病院等の臨床の現場において、臨床経験豊富な教員による多様な歯科医療ニーズに対応した実践的な実習教育を行い、社会的需要を見据えた歯科医師となるための能力を習得する。
- 6 全身医学の基礎、全身医学と歯科医療との関連について、「口腔外科学」、「麻酔学」、「内科学」、「外科学」、「隣接医科学」等を通じて学修する。
- 7 少子高齢社会の進展にともなって多様化する歯科医療ニーズに対応し、岐阜県の地域特性を活かし、口腔ケア、在宅歯科診療、地域包括ケアシステム、多職種連携チーム医療など、地域社会に貢献するための歯科医療を統合的スパイラル教育にて学修する。
- 8 積極的な自主的学習態度と理論的思考能力を養い、問題発見・解決に自ら取り組む学習手法を習得するために、探究型学習（高次元アクティブラーニング）を活用する。
- 9 研究マインドを持った医療人の育成のために、研究室での研究実習を実施する。
- 10 国際人としての素養を修得するため、海外研修を推進する。

【アドミッション・ポリシー】

教育目標を十分に理解し、国際社会と地域社会貢献に積極的な意識を持つ、次の入学生を求めています。

- 1 生命を尊重し、他人を思いやる心がある人（倫理観）
- 2 自己の考えを適切に相手に伝える基礎的表現力や、相手の話を積極的に理解しようとする意識が高く、協調性のある人（表現力）
- 3 国際社会への関心が高く、英語による基礎的コミュニケーション能力を備えている人（コミュニケーション力）
- 4 高等学校学習指導要領に基づく数学、理科の基本的な知識を身につけ、論理的思考力を有する人（知識・思考力）
- 5 歯科医師を目指す強い意志と、卒業後も生涯にわたって医療を通じた社会貢献が期待できる人（意欲）
- 6 心身の健康増進に努め、日々の努力を惜しまず自己目標を完遂する力のある人（医療人としての資質）

2023年度歯学部学年暦

【4月から9月の行事予定】

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定	
4月	3/26	3/27	3/28	3/29	3/30	3/31	1	3/29～4/1	定期健康診断（1～6学年）、教務オリエンテーション（1～6学年）
	2	3	4	5	6	7	8	31日	実力テスト（5・6学年）
	9	10	11	12	13	14	15	1日	入学式（新入生）
	16	17	18	19	20	21	22	3日	学生部・教務オリエンテーション（新入生）
	23	24	25	26	27	28	29	3日	前学期授業開始（2～6学年）
	30	4日	アチーブメントテスト（新入生）
	5～6日	新入生研修（新入生）
	7日	前学期授業開始（1学年）
...	8日	登院式（5学年）	
5月	...	1	2	3	4	5	6		
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30	31		
6月	1	2	3		
	4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29	30	...		
7月	1		
	2	3	4	5	6	7	8		
	9	10	11	12	13	14	15		
	16	17	18	19	20	21	22		
	23	24	25	26	27	28	29	24～29日	前学期科目フォローアップ期間（1～4学年）
	30	31		
8月	1	2	3	4	5	7/31～8/19	夏季休業期間（1～4学年）
	6	7	8	9	10	11	12		
	13	14	15	16	17	18	19	14～16日	夏期休業期間（6学年）
	20	21	22	23	24	25	26	15日	創立記念日振替休業日（5学年）
	27	28	29	30	31	21日～9/2	前学期定期試験期間（1～4学年）
9月	1	2		
	3	4	5	6	7	8	9	4日～	後学期授業開始（1～4学年）
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		

※試験日程等詳細については、別途案内する。

※上図の学年暦（予定）は、学内諸行事等の関係上変更の場合もある。変更がある場合は、事前に掲示等により別途案内する。その他記載のない行事等については、別途案内する。

【10月から3月の行事予定】

	日	月	火	水	木	金	土	行事予定	
10月	1	2	3	4	5	6	7	21~22日 朝日祭（全学休講） 23日 創立記念日振替休業日（1~3学年）	
	8	9	10	11	12	13	14		
	15	16	17	18	19	20	21		
	22	23	24	25	26	27	28		
	29	30	31		
11月	1	2	3	4		
	5	6	7	8	9	10	11		
	12	13	14	15	16	17	18		
	19	20	21	22	23	24	25		
	26	27	28	29	30		
12月	1	2	11~12日 定期試験①（6学年） 28日 創立記念日振替休業日（4、6学年） 29日~1/5 冬季休業期間（1~6学年）	
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
1月	...	1	2	3	4	5	6	6~10日 後学期科目フォローアップ期間（4学年） 9~10日 定期試験②（6学年） 11~17日 後学期定期試験期間（4学年） 15~20日 後学期科目フォローアップ期間（1~3学年） 19日 創立記念日（授業実施日） 22日~ 後学期定期試験期間（1~3学年：2月3日まで）	
	7	8	9	10	11	12	13		
	14	15	16	17	18	19	20		
	21	22	23	24	25	26	27		
	28	29	30	31		
2月	1	2	3	13日~3/2 追・再試験期間（1~3学年：3月2日まで） 19日~3/2 追・再試験期間（4学年：3月2日まで） 19日 定期試験①（5学年）	
	4	5	6	7	8	9	10		
	11	12	13	14	15	16	17		
	18	19	20	21	22	23	24		
	25	26	27	28	29		
3月	1	2	4日 定期試験②（5学年） 12日 卒業式	
	3	4	5	6	7	8	9		
	10	11	12	13	14	15	16		
	17	18	19	20	21	22	23		
	24	25	26	27	28	29	30		
	31		

※試験日程等詳細については、別途案内する。

※上図の学年暦（予定）は、学内諸行事等の関係上変更の場合もある。変更がある場合は、事前に掲示等により別途案内する。その他記載のない行事等については、別途案内する。

2023年度 歯学部 3 学年授業時間割

略 称	正式名称
英会話Ⅲ	英会話Ⅲ
病理Ⅰ	口腔病理学Ⅰ
病理Ⅱ	口腔病理学Ⅱ
病理実習	口腔病理学実習
薬理	歯科薬理学
薬理実習	薬理学・歯科薬理学実習
修復Ⅱ	歯冠修復学Ⅱ
修復実習	歯冠修復学実習
歯内	歯内療法学
歯内実習	歯内療法学実習
咬合	咬合学
部分床	部分床義歯学
部分床実習	部分床義歯学実習
全部床	全部床義歯学
全部床実習	全部床義歯学実習
放射	歯科放射線学
放射実習	歯科放射線学実習
歯周	歯周病学
歯周実習	歯周病学実習
口外Ⅰ	口腔外科学Ⅰ
衛生	口腔衛生学
衛生実習	口腔衛生学実習
地域Ⅲ	地域社会と歯科医療Ⅲ
研究入門	歯科医学研究入門
基臨Ⅱ総合ゼミ	基礎・臨床歯科学Ⅱ
基臨Ⅱ	基礎・臨床歯科学Ⅱ

【前学期】

曜日	時限	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18				
月		3月27日	4月3日	4月10日	4月17日	4月24日	5月1日	5月8日	5月15日	5月22日	5月29日	6月5日	6月12日	6月19日	6月26日	7月3日	7月10日	7月17日	7月24日				
	1		薬理	薬理	薬理	薬理	衛生	衛生	衛生	衛生	衛生	薬理 実習	薬理	薬理	薬理	薬理	薬理	スポーツの日	前学期フォローアップ期間				
	2		薬理	薬理	薬理	薬理	衛生	衛生	衛生	衛生	衛生	薬理 実習	薬理	薬理	薬理	薬理	薬理						
	3		修復Ⅱ	修復実習	修復実習	修復実習	修復実習	修復実習	修復実習	修復実習	修復実習	修復実習	修復実習	修復実習	修復実習	全部床実習	全部床実習						
	4		修復Ⅱ	修復実習	修復実習	修復実習	修復実習	修復実習	修復実習	修復実習	修復実習	修復実習	修復実習	修復実習	修復実習	全部床実習	全部床実習						
	5																						
火		3月28日	4月4日	4月11日	4月18日	4月25日	5月2日	5月9日	5月16日	5月23日	5月30日	6月6日	6月13日	6月20日	6月27日	7月4日	7月11日	7月18日	7月25日				
	1		全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	修復Ⅱ	前学期フォローアップ期間			
	2		全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	全部床	修復Ⅱ				
	3		放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射		放射実習		
	4		放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射		放射実習		
	5																						
水		3月29日	4月5日	4月12日	4月19日	4月26日	5月3日	5月10日	5月17日	5月24日	5月31日	6月7日	6月14日	6月21日	6月28日	7月5日	7月12日	7月19日	7月26日				
	1		病理Ⅰ	病理Ⅰ	病理Ⅰ	病理Ⅰ	憲法記念日	病理Ⅰ	病理Ⅰ	病理Ⅰ	病理実習	病理Ⅱ	病理Ⅱ	病理Ⅱ	病理Ⅱ	病理Ⅱ	病理Ⅱ	病理Ⅱ	病理実習	前学期フォローアップ期間			
	2		病理Ⅰ	病理Ⅰ	病理Ⅰ	病理Ⅰ		病理Ⅰ	病理Ⅰ	病理Ⅰ	病理Ⅱ	病理Ⅱ	病理Ⅱ	病理Ⅱ	病理Ⅱ	病理Ⅱ	病理Ⅱ	病理Ⅱ	病理Ⅱ		病理Ⅱ		
	3		病理Ⅰ	病理実習	病理実習	病理実習		病理Ⅰ	病理実習	病理実習	病理Ⅱ	病理Ⅱ	病理実習	病理実習	病理実習	病理実習	病理実習	病理実習	病理実習		病理実習	病理実習	
	4		病理Ⅰ	病理実習	病理実習	病理実習		病理Ⅰ	病理実習	病理実習	病理Ⅱ	病理Ⅱ	病理実習	病理実習	病理実習	病理実習	病理実習	病理実習	病理実習		病理実習	病理実習	
	5																						
木		3月30日	4月6日	4月13日	4月20日	4月27日	5月4日	5月11日	5月18日	5月25日	6月1日	6月8日	6月15日	6月22日	6月29日	7月6日	7月13日	7月20日	7月27日				
	1	健康診断 教務ナリ	修復Ⅱ	修復Ⅱ	修復Ⅱ	修復Ⅱ	みどりの日	修復Ⅱ	修復Ⅱ	修復Ⅱ	修復Ⅱ	修復Ⅱ	修復Ⅱ	病理実習	放射	放射	放射	放射	病理実習	前学期フォローアップ期間			
	2		修復Ⅱ	修復Ⅱ	修復Ⅱ	修復Ⅱ		修復Ⅱ	修復Ⅱ	修復Ⅱ	修復Ⅱ	修復Ⅱ	修復Ⅱ	修復Ⅱ	病理実習	放射	放射	放射	放射		病理実習		
	3		衛生	衛生	衛生	衛生		全部床実習	全部床実習	全部床実習	全部床実習	全部床実習	全部床実習	全部床実習	全部床実習	全部床実習	全部床実習	全部床実習	全部床実習		全部床実習	全部床実習	病理実習
	4		衛生	衛生	衛生	衛生		全部床実習	全部床実習	全部床実習	全部床実習	全部床実習	全部床実習	全部床実習	全部床実習	全部床実習	全部床実習	全部床実習	全部床実習		全部床実習	全部床実習	病理実習
	5																						
金		3月31日	4月7日	4月14日	4月21日	4月28日	5月5日	5月12日	5月19日	5月26日	6月2日	6月9日	6月16日	6月23日	6月30日	7月7日	7月14日	7月21日	7月28日				
	1		薬理	薬理	薬理	薬理	こどもの日	薬理	放射	衛生	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	薬理	前学期フォローアップ期間			
	2		薬理	薬理	薬理	薬理		薬理	放射	衛生	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射	放射		薬理		
	3		衛生	衛生	衛生実習	衛生実習		衛生実習	衛生実習	薬理実習	衛生実習	衛生実習	薬理実習	薬理実習	薬理実習	薬理実習	薬理実習	薬理実習	薬理実習		薬理実習	薬理実習	
	4		衛生	衛生	衛生実習	衛生実習		衛生実習	衛生実習	薬理実習	衛生実習	衛生実習	薬理実習	薬理実習	薬理実習	薬理実習	薬理実習	薬理実習	薬理実習		薬理実習	薬理実習	
	5					基礎Ⅱ 総合ゼミ				基礎Ⅱ 総合ゼミ				基礎Ⅱ 総合ゼミ					基礎Ⅱ 総合ゼミ				
土		4月1日	4月8日	4月15日	4月22日	4月29日	5月6日	5月13日	5月20日	5月27日	6月3日	6月10日	6月17日	6月24日	7月1日	7月8日	7月15日	7月22日	7月29日				
	1	入学式				昭和の日														前学期F・U期間			

【後学期・Aクラス】

曜日	時限	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22									
月		9月4日	9月11日	9月18日	9月25日	10月2日	10月9日	10月16日	10月23日	10月30日	11月6日	11月13日	11月20日	11月27日	12月4日	12月11日	12月18日	12月25日	1月1日	1月8日	1月15日	1月22日	1月29日									
	1	咬合	咬合	敬老の日	咬合	基臨Ⅱ 小テスト1①	スポーツの 日	基臨Ⅱ 小テスト1②	創立 記念日 (振替)	研究 入門	研究 入門	研究 入門	基臨Ⅱ 小テスト2①	研究 入門	咬合		基臨Ⅱ 小テスト2②		元日	成人の日	後学期フ ローアッ プ期間	後学期 定期 試験	後学期 定期 試験									
	2	咬合	咬合		咬合	咬合		咬合		咬合	研究 入門	研究 入門	研究 入門	咬合	研究 入門	咬合																
	3	基臨Ⅱ 衛生	基臨Ⅱ 衛生		基臨Ⅱ 薬理	基臨Ⅱ 修復		基臨Ⅱ 修復		基臨Ⅱ 修復	基臨Ⅱ 全部床	基臨Ⅱ 全部床	基臨Ⅱ 部分床	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内						基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内
	4	基臨Ⅱ 衛生	基臨Ⅱ 衛生		基臨Ⅱ 薬理	基臨Ⅱ 修復		基臨Ⅱ 修復		基臨Ⅱ 修復	基臨Ⅱ 全部床	基臨Ⅱ 全部床	基臨Ⅱ 部分床	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内						基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内
5																																
火		9月5日	9月12日	9月19日	9月26日	10月3日	10月10日	10月17日	10月24日	10月31日	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	12月5日	12月12日	12月19日	12月26日	1月2日	1月9日	1月16日	1月23日	1月30日									
	1	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床			後学期フ ローアッ プ期間	後学期 定期 試験	後学期 定期 試験									
	2	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床														
	3	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習				部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習					
	4	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習				部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習					
5																																
水		9月6日	9月13日	9月20日	9月27日	10月4日	10月11日	10月18日	10月25日	11月1日	11月8日	11月15日	11月22日	11月29日	12月6日	12月13日	12月20日	12月27日	1月3日	1月10日	1月17日	1月24日	1月31日									
	1	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ								
	2	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ								
	3	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ								
	4	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ								
木		9月7日	9月14日	9月21日	9月28日	10月5日	10月12日	10月19日	10月26日	11月2日	11月9日	11月16日	11月23日	11月30日	12月7日	12月14日	12月21日	12月28日	1月4日	1月11日	1月18日	1月25日	2月1日									
	1	基臨Ⅱ 病理	基臨Ⅱ 病理	基臨Ⅱ 薬理	歯周	歯周	歯内	歯周	歯周	基臨Ⅱ 放射	基臨Ⅱ 放射	基臨Ⅱ 放射	勤労感謝 の日	歯周	歯周	基臨Ⅱ 歯周	基臨Ⅱ 歯周			咬合	後学期フ ローアッ プ期間	後学期 定期 試験	後学期 定期 試験									
	2	基臨Ⅱ 病理	基臨Ⅱ 病理	基臨Ⅱ 薬理	歯周	歯周	歯内	歯周	歯周	基臨Ⅱ 放射	基臨Ⅱ 放射	基臨Ⅱ 放射		歯周	歯周	基臨Ⅱ 歯周	基臨Ⅱ 歯周							咬合								
	3	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内		歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内				歯内	歯内	歯内	歯内					
	4	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内		歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内				歯内	歯内	歯内	歯内					
5																																
金		9月8日	9月15日	9月22日	9月29日	10月6日	10月13日	10月20日	10月27日	11月3日	11月10日	11月17日	11月24日	12月1日	12月8日	12月15日	12月22日	12月29日	1月5日	1月12日	1月19日	1月26日	2月2日									
	1	歯内	歯周	歯内	歯内	歯内	歯内	歯周	歯内	文化の日	歯周	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	基臨Ⅱ 歯内				後学期フ ローアッ プ期間	後学期 定期 試験	後学期 定期 試験									
	2	歯内	歯周	歯内	歯内	歯内	歯内	歯周	歯内		歯周	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	基臨Ⅱ 歯内														
	3	歯周	歯内	歯周	歯周	歯周	歯内	歯周	歯周		歯周	歯周	歯周	歯周	歯周	歯周	歯周	歯周	歯周	歯周				歯周	歯周	歯周	歯周					
	4	歯周	歯内	歯周	歯周	歯周	歯内	歯周	歯周		歯周	歯周	歯周	歯周	歯周	歯周	歯周	歯周	歯周	歯周				歯周	歯周	歯周	歯周					
5		基臨Ⅱ 総合ゼミ				基臨Ⅱ 総合ゼミ					基臨Ⅱ 総合ゼミ				基臨Ⅱ 総合ゼミ									基臨Ⅱ 小テスト3②								
土		9月9日	9月16日	9月23日	9月30日	10月7日	10月14日	10月21日	10月28日	11月4日	11月11日	11月18日	11月25日	12月2日	12月9日	12月16日	12月23日	12月30日	1月6日	1月13日	1月20日	1月27日	2月3日									
	1			秋分の日				朝日祭													後学期 F・U期間	後学期 定期 試験	後学期 定期 試験									

【後学期・Bクラス】

曜日	時限	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22									
月		9月4日	9月11日	9月18日	9月25日	10月2日	10月9日	10月16日	10月23日	10月30日	11月6日	11月13日	11月20日	11月27日	12月4日	12月11日	12月18日	12月25日	1月1日	1月8日	1月15日	1月22日	1月29日									
	1	咬合	咬合	敬老の日	咬合	基臨Ⅱ 小テスト1①	スポーツの 日	基臨Ⅱ 小テスト1②	創立 記念日 (振替)	研究 入門	研究 入門	研究 入門	基臨Ⅱ 小テスト2①	研究 入門	咬合		基臨Ⅱ 小テスト2②		元日	成人の日	後学期フ ローアッ プ期間	後学期 定期 試験	後学期 定期 試験									
	2	咬合	咬合		咬合	咬合		咬合		咬合	研究 入門	研究 入門	研究 入門	咬合	研究 入門	咬合																
	3	基臨Ⅱ 衛生	基臨Ⅱ 衛生		基臨Ⅱ 薬理	基臨Ⅱ 修復		基臨Ⅱ 修復		基臨Ⅱ 修復	基臨Ⅱ 全部床	基臨Ⅱ 全部床	基臨Ⅱ 部分床	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内						基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内
	4	基臨Ⅱ 衛生	基臨Ⅱ 衛生		基臨Ⅱ 薬理	基臨Ⅱ 修復		基臨Ⅱ 修復		基臨Ⅱ 修復	基臨Ⅱ 全部床	基臨Ⅱ 全部床	基臨Ⅱ 部分床	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内						基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内	基臨Ⅱ 歯内
5																																
火		9月5日	9月12日	9月19日	9月26日	10月3日	10月10日	10月17日	10月24日	10月31日	11月7日	11月14日	11月21日	11月28日	12月5日	12月12日	12月19日	12月26日	1月2日	1月9日	1月16日	1月23日	1月30日									
	1	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床			後学期フ ローアッ プ期間	後学期 定期 試験	後学期 定期 試験									
	2	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床	部分床														
	3	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習				部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習					
	4	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習				部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習	部分床 実習					
5																																
水		9月6日	9月13日	9月20日	9月27日	10月4日	10月11日	10月18日	10月25日	11月1日	11月8日	11月15日	11月22日	11月29日	12月6日	12月13日	12月20日	12月27日	1月3日	1月10日	1月17日	1月24日	1月31日									
	1	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ		後学期フ ローアッ プ期間	後学期 定期 試験	後学期 定期 試験									
	2	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ	英会話Ⅲ	地域Ⅲ													
	3	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ				口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ					
	4	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ				口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ	口外Ⅰ					
5																																
木		9月7日	9月14日	9月21日	9月28日	10月5日	10月12日	10月19日	10月26日	11月2日	11月9日	11月16日	11月23日	11月30日	12月7日	12月14日	12月21日	12月28日	1月4日	1月11日	1月18日	1月25日	2月1日									
	1	基臨Ⅱ 病理	基臨Ⅱ 病理	基臨Ⅱ 薬理	歯周	歯周	歯内	歯周	歯周	基臨Ⅱ 放射	基臨Ⅱ 放射	基臨Ⅱ 放射	勤労感謝 の日	歯周	歯周	基臨Ⅱ 歯周	基臨Ⅱ 歯周			咬合	後学期フ ローアッ プ期間	後学期 定期 試験	後学期 定期 試験									
	2	基臨Ⅱ 病理	基臨Ⅱ 病理	基臨Ⅱ 薬理	歯周	歯周	歯内	歯周	歯周	基臨Ⅱ 放射	基臨Ⅱ 放射	基臨Ⅱ 放射		歯周	歯周	基臨Ⅱ 歯周	基臨Ⅱ 歯周							咬合								
	3	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習		歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習				歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習					
	4	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習		歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習				歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習	歯内 実習					
5																																
金		9月8日	9月15日	9月22日	9月29日	10月6日	10月13日	10月20日	10月27日	11月3日	11月10日	11月17日	11月24日	12月1日	12月8日	12月15日	12月22日	12月29日	1月5日	1月12日	1月19日	1月26日	2月2日									
	1	歯内	歯周	歯内	歯内	歯内	歯内	歯周	歯内	文化の日	歯周	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	基臨Ⅱ 歯内				後学期フ ローアッ プ期間	後学期 定期 試験	後学期 定期 試験									
	2	歯内	歯周	歯内	歯内	歯内	歯内	歯周	歯内		歯周	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	歯内	基臨Ⅱ 歯内														
	3	歯周	歯内	歯周	歯周	歯周	歯内	歯周	歯周		歯周 実習	歯周 実習	歯周 実習	歯周 実習	歯周 実習	歯周 実習	歯周 実習	歯周 実習	歯周 実習	歯周 実習				歯周 実習	歯周 実習	歯周 実習	歯周 実習					
	4	歯周	歯内	歯周	歯周	歯周	歯内	歯周	歯周		歯周 実習	歯周 実習	歯周 実習	歯周 実習	歯周 実習	歯周 実習	歯周 実習	歯周 実習	歯周 実習	歯周 実習				歯周 実習	歯周 実習	歯周 実習	歯周 実習					
5		基臨Ⅱ 総合ゼミ				基臨Ⅱ 総合ゼミ			基臨Ⅱ 総合ゼミ						基臨Ⅱ 総合ゼミ									基臨Ⅱ 小テスト3②								
土		9月9日	9月16日	9月23日	9月30日	10月7日	10月14日	10月21日	10月28日	11月4日	11月11日	11月18日	11月25日	12月2日	12月9日	12月16日	12月23日	12月30日	1月6日	1月13日	1月20日	1月27日	2月3日									
	1			秋分の日				朝日祭													後学期 F・U期間	後学期 定期 試験	後学期 定期 試験									

第1章 歯学部学習の手引き

朝日大学歯学部では、学生諸君が、歯科医として是非とも修得しなければならない知識ならびに技術を集中的、かつ、系統的に遂行することを目的として、6年一貫教育を採用している。そして、この6年一貫教育の中には、種々の規則(学則等)が設けられている。以下に諸君が最低限度に知っておかねばならない規則を掲げる。

1 学期と授業時間

(1) 学 年

学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(2) 学 期

学年を前学期と後学期の2学期に分ける。

(3) 授業時間

① 授業時間は、1時限あたり90分とする。

② 授業は、次の時限により行う。(土曜日については第1時限から第2時限まで)

時限	時間
第1時限	9 : 00 ~ 10 : 30
第2時限	10 : 45 ~ 12 : 15
第3時限	13 : 10 ~ 14 : 40
第4時限	14 : 55 ~ 16 : 25
第5時限	16 : 40 ~ 18 : 10

(4) 休業日

休業日は、次のとおりとする。

- ① 日曜日
- ② 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- ③ 本大学創立記念日(1月19日)
- ④ 春季・夏季・冬季休業
歯学部学年暦参照

2 授業

(1) 授業は、教授要綱と授業時間割によって進められ、原則として指定された講義室又は実習室を使用して実施される。やむを得ず変更するときは、学生用掲示板に掲示するので注意すること。

(2) 各学期において実施する授業については、すべて出席するよう努める

4 暴風時及び公共交通機関運休時における授業の取扱いについて

(1) 暴風時の授業の取扱い

① 暴風警報が、気象庁の定める天気予報区による岐阜県美濃地方のうち「岐阜・西濃」及び「中濃」並びに愛知県西部のうち「尾張西部」及び「尾張東部」のいずれかに発令され、午前7時までに解除されない場合は、終日休講とする。

なお、授業開始後に暴風警報が発令された場合は、その状況により臨時に休講することがある。

② 暴風警報の対象が①に定める地域以外の場合は、平常どおり授業を行うが、暴風警報発令地域に居住する学生で止むを得ず欠席した学生は、すみやかに欠席届を提出するものとする。

③ 上記①と②については、定期試験期間中についても同様とする。

(2) 地震・その他自然災害時の授業措置

地震・その他自然災害の場合において、授業を実施することが困難であると予想される場合は、その取扱いについて、別途指示する。

(3) 公共交通機関運休時の授業の取扱い

① JR東海道本線（名古屋～大垣間）の運行が自然災害又はストライキにより全線停止され、午前7時までに解除されない場合は、第1・2時限を休講とし、午前10時を経過してもなお解除されない場合は、終日休講とする。

② 上記以外の公共交通機関が同様に運行を停止した場合は、平常どおり授業を行うが、その公共交通機関を利用する学生で止むを得ず欠席した場合は、すみやかに欠席届を提出するものとする。その際、その公共交通機関から証明書等の発行を受け、これを併せて提出すること。

③ 上記①と②については、定期試験期間中についても同様とする。

5 試験

(1) 試験は、定期試験、追試験及び再試験とする。また、授業科目によっては、定期試験の受験資格判定のための小テストを行うことがあり、このほか、担当者の教育方針により確認テスト等を行うことがある。

(2) 試験日程は、別に定める。

(3) 5学年、6学年の試験については、別に定める。

【定期試験】

① 定期試験は、原則として各学期に開講した全授業科目について行う。ただし、授業科目によっては、試験以外の方法で行うことができる。

② 学期末に実施する試験を定期試験とする。

③ 定期試験の基準点は、70点とし、これを取得しなければならない。

④ 病気その他の事情で試験を欠席する（した）者は、試験欠席届に医師

の診断書、または理由書を添えて、試験欠席後1週間以内に歯学部事務課に届け出ること。

【受験資格】

次に掲げる条件を備えていること。

- ・ 授業料その他所定の学費を納付していること。
- ・ 当該授業科目の授業実施回数の5分の4以上出席していること。
- ・ 各科目の授業において複数回実施する全ての小テスト等の点数が70点以上であること。

【追試験】

- ① 追試験は、定期試験を欠席し、試験欠席届を提出した者に対し行うものとする。
- ② 追試験を受けようとする者は、追試験受験許可願に別に定める受験料を添えて指定する期日までに提出すること。

【再試験】

- ① 再試験は、定期試験の成績が基準点(70点)を満たさない者に対し、願いにより行うものとする。
- ② 再試験を受けようとする者は、再試験受験許可願に別に定める受験料を添えて指定する期日までに提出すること。

【受験心得】

- ① 受験者は必ず学生証を携帯し、机の上に提示すること。学生証を携帯しない者は受験を認めない。
- ② 試験場へは、試験開始5分前までに入室すること。
- ③ 試験場の座席は、指定された座席に着席すること。
- ④ 試験開始後20分経過した後は、受験を認めない。
- ⑤ 試験開始後30分までは退室を認めない。ただし、「基礎歯科学入門 I・II」、「基礎・臨床歯科学 I・II」、「基礎・臨床歯科学演習」、「総合歯科医学 I」及び6学年における試験については、試験終了後、監督者の指示があるまでは退室を認めない。
- ⑥ 試験場内では、監督者の指示に従うこと。
- ⑦ 口頭試問については、それぞれの担当教員が別に定める。
- ⑧ その他、試験に関する連絡事項等は、その都度発表するので掲示に注意すること。

【試験における不正行為の処罰】

- ① 試験において不正行為を行った者については、不正行為を行った試験以降に実施される当該学期中の試験科目の受験を禁止し、当該学期中の全受験科目を無効とする。
- ② 不正行為を行った者は、学則に基づき懲戒する。

6 成績評価

歯学部において開講する授業科目の成績評価は、次のとおり行う。
ただし、5学年、6学年の成績評価については、別に定める。

【試験の成績】

- ① 試験の成績は、定期試験の点数によるものとする。
- ② 朝日大学歯学部細則第6条第4項に定める定期試験の基準点は70点とする。
- ③ 追試験又は再試験を受験した者の成績は、追試験又は再試験の点数によるものとする。
- ④ 基礎・臨床歯科学演習の定期試験、追試験、再試験は、公益社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構が実施する共用試験をもって行うものとする。なお、共用試験の実施に係る詳細については、別に定める。

【合格要件】

- ① 定期試験を実施する授業科目における合格要件は、次のとおりとする。
 - ア. 定期試験において70点以上を取得
 - イ. 追試験又は再試験において80点以上を取得
- ② 実習科目及び平常の学修成果をもって評価することで定期試験を課さない科目における合格要件は、100点満点で算出した成績において60点以上を取得することとする。

【評価】

- ① 定期試験において合格した場合の授業科目の成績評価については、定期試験の結果（素点）とする。
- ② 追試験又は再試験において合格した場合の授業科目の成績評価については、一律60点とする。

7 進級

- (1) 各学年の進級は、在学する当該学年のすべての必修科目の単位を修得することとする。なお、授業時間制をとる授業科目については、「単位を修得すること」とあるのは、「修了の認定を受けること」とする。
- (2) 進級又は卒業できない者は、当該学年で開設するすべての授業科目を再履修しなければならない。

8 共用試験（臨床実習前）

- (1) 共用試験は、全国歯学部および歯科大学において行われる統一試験で、臨床実習前に施行される試験である。共用試験には、CBTとOSCEがある。
- (2) 共用試験は、診療参加型臨床実習に必要な不可欠とされる基本的な臨床能力（態度・技能・知識・問題解決能力等）を厳密、かつ、適性に評価するものと位置づける。
- (3) CBTは、臨床実習に必要な知識の総合的な理解の程度をコンピュータを用いて評価する試験である。

- (4) OSCEは、臨床実習を開始するにあたって具備すべき必須の臨床能力について、標準的な共通評価方法と基準に基づき、内部評価者に必要に応じて外部評価者を加えて評価する試験である。

9 臨床実習

5学年に臨床実習Ⅰ、6学年に臨床実習Ⅱを開講する。臨床実習においては、患者を通じて歯科医学を修得し、医療担当者にふさわしい専門技術と教養を涵養する。

臨床実習は、大学病院、医科歯科医療センター及びPDI岐阜歯科診療所において実施する。

※ 臨床実習に関する細則については、臨床実習学生必携に定める。

10 診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験（臨床実習後）

診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験（Post-CC PX）は、診療参加型臨床実習を通じて身につけた臨床能力を測り、歯科医師としての資質を備えていることを確認するために施行される試験である。Post-CC PXには、臨床実地試験（CPX）および一斉技能試験（CSX）がある。

- (1) CPX は、診療参加型臨床実習の現場において、所定の項目に関する評価を行い、学生が歯科医師に求められる標準的かつ必要十分な資質を備えていることを確認する試験である。
- (2) CSX は、複数の疾患を再現した統合型共通模型に対して行った4課題の結果を評価することにより、診療参加型臨床実習を通じて、基本的な歯科治療に関する技能を身につけていることを確認する試験である。

11 卒業

6年間以上在学し、所定の授業科目を履修し、その単位を修得しなければならない。

12 休学・復学・退学・除籍・復籍

(1) 休学

- ① 病気その他やむを得ない事由により、休学を希望する者は、その事実を証明する書類を添え、保証人連署の上、学長に休学願を提出して、その許可を得なければならない。
- ② 休学期間は当該年度の終わりまでとする。ただし、特別の理由がある場合は、1年を限度として休学期間の延長を認めることがある。
- ③ 休学を許可した場合は、学費の年額の12分の1に相当する額に、休学を許可された期間の月数を乗じて得た額の納付を免除する。
- ④ 休学を許可された者の納付済みの学費は返還しない。ただし、前学期分学費の納付の際、後学期分を併せて納付した者が、後学期分の納付時期前に休学した場合には、後学期分の学費に相当する額を免除す

るものとし、これを返還する。

- ⑤ 休学期間にあつては、別に定めるところにより在籍料を納付するものとする。ただし、休学期間が学期の途中から開始する場合には、在籍料の年額の12分の1に相当する額（円未満切り捨て）に、休学により学費の免除を受けた期間（既に納付済の学費がある場合には、その対象となる期間を除く）の月数を乗じて得た額とする。（2018年度以降入学者）

(2) 復学

- ① 休学の事由が解消した者は、保証人連署の上、学長に復学願を提出して、その許可を得なければならない。この場合、復学する年次は休学時の年次とする。
- ② 疾病によって休学した者は、復学願に医療機関の医師が作成した診断書を添付しなければならない。

(3) 退学

修学を継続することが困難であるため、退学を希望する者は、保証人連署の上、学長に退学願を提出して、その許可を得なければならない。

(4) 除籍

授業料等の納付を怠り、督促を受けてもなお納付しない者があるときは、学長は除籍することがある。

(5) 復籍

上記に該当し除籍になった者から、除籍の日の翌日から起算して2年以内に、当該除籍の事由となった未納の学費を納付して復籍の希望があったときは、欠員のある場合に限り、学長は相当年次への復籍を許可することがある。

※ 休学又は退学を希望する者は、学年指導教授へ申し出ること。休学願又は退学願については、学年指導教授との面談後、配付する。また、復学を希望する者は、歯学部事務課へ申し出ること。

13 在学期間

- (1) 在学期間は、12年を超えることができない。在学期間を超えた者は除籍する。また、在学期間を超えない者でも、卒業までに超えることとなる者は、除籍することがある。
- (2) 各学年の在学年数は、入学年度により次のとおり異なるので、確認すること。

2020年度以降入学者

各学年の在学年数は、次に定める年数を超えることができない。当該学年に次に定める年数を超えて在学することになる場合は、学長が学則第45条第2号に規定する学力劣等で成業の見込みがない者と認定し、退学の処分とする。

1 学年	2 年	
2 学年	2 年	
3 学年から 4 学年		通算 4 年
5 学年から 6 学年		通算 4 年

2019年度以前入学者

各学年の在学年数は、3年を超えることはできない。同一学年に3年を超えて在学することになる場合は、学長が学則第45条第2号に規定する学力劣等で成業の見込みがない者と認定し、退学の処分とする。

14 賞罰

(1) 表彰

学業が優秀な者、または善行のあった者があるときは、学長は表彰することがある。

(2) 懲戒

学生の本分にふさわしくない行為を行った者があるときは、学長は懲戒する。懲戒には、戒告、停学および退学の処分がある。

(3) 退学命令

次の各号の一に該当する者があるときは、学長は退学を命ずることがある。

- ① 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- ② 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- ③ 正当の理由がなくて出席が常でない者
- ④ 学内の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

15 伝達方法

伝達事項等は、原則として掲示による。掲示を見落すことにより思わぬ不利益を被らないよう、常に掲示には注意すること。なお掲示期間は、原則として1週間とする。

掲示設置場所は次のとおりである。

1 学年	6 号館 1 階
2 学年～4 学年・6 学年	1 号館 3 階
5 学年	病院棟 1 階
共通事項	1 号館 1 階（病院への通路）

(注) 掲示を見なかったことを理由にその責任を免れることはできない。

16 ロッカーの使用方法

学生（1 学年学生は除く）は、ロッカー1台を借用することができる。

① 貸出方法

- ・ (株)ヨシダ窓口にて、学生証を提示し、ロッカー使用の希望を申し出る。
- ・ (株)ヨシダから申込用紙を受け取る。

- ・ 申込用紙に必要項目を記入の上、申込用紙及び学生証を提示し、保証料5,000円を支払う。
- ・ (株)ヨシダからロッカーキーを受取する。
- ・ 卒業前にロッカーキーを返還し、保証料を受け取る。

② 保証料

保証料（5,000円）は、ロッカーキーを紛失又は破損させた場合の代償として預かり、紛失又は破損していないときは、ロッカーキーと交換に返金される。

③ ロッカーの管理

ロッカーの管理は、(株)ヨシダが行っており、定期的に使用ロッカー内を点検することがある。

④ ロッカーの使用

ロッカーの使用に際しては、使用上の注意を守り、施錠の徹底や貴重品を置かないなど盗難防止に心掛けること。

17 岐阜歯科学会

本学の研究発表機関として岐阜歯科学会があり、希望する者は、学生会員として加入することができる。

なお、会費は、学生年会費2,500円で学費支弁者(父母等)宛に請求している。

本学会は、学術例会、内外学者などの来学を機会に臨時に講演会や特別講義を開催するほか、現在、年3回機関誌「岐阜歯科学会雑誌」を発行している。

会費を納入した会員である学生諸君は、自由に学会に参加、発表することもできる。

18 注意事項

(1) 遺失物・拾得物取扱

学内での落とし物、忘れ物あるいは拾い物をしたときは、すみやかに学事一課（3号館[南棟]1階）に届け出ること。

(2) 盗難防止

貴重品など自分の所持品に対する管理は、十分に注意すること。特に、講義室やチューデント・ラウンジ等自学自修スペース及び図書館等で自分の所持品を置いたまま席を空けることのないよう十分気を付けること。

(3) 車両等の学内乗入禁止

本学では、構内における学生相互の安全確保のため車両（自動車・オートバイ）の構内への乗り入れを禁止している。

(4) 講義室等

① 講義室に私物を放置しないこと。

② 17時（土曜日は13時）以降は、無断で使用しないこと。

(5) 自動車通学

自動車で通学する場合は、必ず「自動車通学届出書」を学事一課（学生生活支援室）に届け出なければならない。また、安全運転に留意するとともに、各自で学外の民間駐車場を借用のこと。

(6) 喫煙

大学構内及び周辺は原則として全面禁煙である。

(7) 携帯電話

携帯電話は、講義中及び試験中、教員の指示がある時以外は必ず電源を切ること。

(8) 身上の異動に関する届出

身上に異動が発生したときは、すみやかに所定の様式により歯学部事務課に届け出なければならない。なお、本人については、併せて学生証の訂正が必要となる。

① 住所等の変更

本人・学費支弁者・保証人の住所、住居表示及び電話番号等に変更があったとき。

② 保証人・学費支弁者の変更があったとき。

③ 戸籍の改姓（改名）があったとき。

個人情報の取扱いについて

本学では、学生等に関する個人情報の適正な取扱いを確保する観点から、以下のとおり個人情報を取扱うこととします。

「個人情報」

現在及び過去の学生並びに入学予定者に関する情報であって、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができ、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む。）をいいます。

「個人情報データベース等」

学生の個人情報を含む情報の集合物であり、特定の個人情報をコンピュータを用いて検索することができるように体系的に構成したものをいいます。

「個人データ」

学生の個人情報のうち、データベースに管理された情報及びデータベースから引き出された情報をいいます。

「利用目的の特定」

学生の個人情報は、本学の教育研究及び学生支援に必要な業務を遂行するために利用します。

「適正な個人情報取得」

学生の個人情報を取得するときは、適正な手段により取得します。なお、思想、信条及び宗教に関する学生個人情報は、いかなる理由があろうともこれを取得しません。

「利用目的の通知等」

学生本人から直接書面（電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録を含む。）に記載された当該本人の個人情報を取得する場合は、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示します。利用目的を変更した場合は、変更された利用目的について、本人に通知又は公表します。

「データ内容の正確性の確保」

学生の個人データは、利用目的の達成に必要な範囲において、正確かつ最新の内容に保ちます。

「安全管理措置」

学生の個人データの漏洩、滅失又は毀損の防止その他の個人データの安全管理のために必要かつ適切な措置を講じています。教職員が学生の個人データを取扱うにあたっては、当該個人データの安全管理が図られるよう、当該教職員に対する必要かつ適切な指導監督を行っています。学生の個人データの取扱いの全部又は一部を外部委託する場合は、その取扱いを委託された個人データの安全管理が図られるよう、委託先に対する必要かつ適切な監督を行っています。

「第三者提供の制限」

学生の個人データは、あらかじめ本人の同意を得ないで第三者に提供しません。ただし、次の場合には、あらかじめ学生本人の同意を得ないで当該学生本人の個人情報を取扱うことが認められています。

- (1) 法令に基づく場合
- (2) 人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、学生本人の同意を得ることが困難であるとき。
- (3) 公衆衛生の向上又は学生の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、学生本人の同意を得ることが困難であるとき。
- (4) 国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、学生本人の同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。

なお、本学では、教育研究及び学生支援に必要な情報提供として、次の9つの事項に関しては、第三者提供を行います。ただし、提供先において、個人情報の保護が守られるよう十分指導します。

- (1) 同窓会から、学生の氏名、住所、顔写真、進学先や就職先の情報提供の求めがあった場合は、情報提供を行います。
- (2) 教育後援会から、学生の氏名、学年、親権者又は学費支弁者の氏名、住所に関する情報提供の求めがあった場合は、情報提供を行います。
- (3) 岐阜歯科学会から、学生の氏名、学年、親権者又は学費支弁者の氏名、住所に関する情報提供の求めがあった場合は、情報提供を行います。
- (4) 奨学団体から、当該団体が支援する奨学生の成績に関する情報提供があった場合は、情報提供を行います。
- (5) 親権者又は学費支弁者若しくは保証人から、当該学生の出席状況及び成績に関する情報提供の求めがあった場合は、情報提供を行います。
- (6) 教育学の研究者から、学術研究のために、本学の卒業生又は在学生の個人情報が含まれる本学所蔵の資料提供の求めがあった場合は、情報提供を行います。
- (7) 教育懇談会においては、親権者に対して当該学生の出席状況及び成績に関する情報提供を行います。
- (8) 親権者又は学費支弁者に対して、当該学生の出席状況及び成績結果を通知します。
- (9) 学生の呼び出し、授業運営上必要な連絡事項（クラス分け名簿、選択科目履修者一覧、定期試験受験資格の喪失者など）、賞罰に関する事項等については、当該学生の学籍番号を使用して掲示を行います。

「開示」

学生本人から当該本人が識別される個人データの開示を求められたときは、本人に対し遅滞なく当該個人データを開示します。ただし、開示しないことが相当であるときは、個人データの全部又は一部について開示しないことがあります。その際、本人に対して遅滞なく理由を付してその旨を通知します。

「訂正等について」

学生本人から、当該本人が識別される個人データの内容が事実でないという理由によって、当該個人データの訂正、追加又は削除を求められたときには、利用目的の達成に必要な範囲内において、遅滞なく必要な調査を行い、その結果に基づき、当該個人データの訂正等を行います。なお、個人データの内容の全部又は一部について訂正等を行ったとき、又は訂正等を行わない旨の決定をしたときは、本人に対し、遅滞なく理由を付してその旨（訂正等を行ったときは、その内容を含む。）を通知します。

「個人情報の利用目的について」

学生（現在及び過去の学生並びに入学予定者）及び親権者又は学費支弁者（父母等）の個人情報は、次頁のとおり、本学の教育研究及び学生支援に必要な業務を遂行するために利用します。なお、利用目的を変更した場合は、変更された利用目的について本人に通知又は公表します。

「個人情報に関する問い合わせ先」

歯学部事務課 ☎058-329-1075

歯学部における個人情報の取扱い状況について

○データ収集・利用関係

内容	項目	収集方法	入手先	利用目的	
学籍関係	学籍番号	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・学籍番号作成 ・学籍簿作成 ・学生証作成 ・成績通知書作成 ・成績証明書作成 ・在学証明書作成 ・卒業証明書作成 ・卒業見込証明書作成 ・掲示及び郵送等による各種連絡通知 ・各種事務手続上の本人確認 	
	氏名(フリガナ)	住民票	入試広報課		
	生年月日				
	性別				
	出身校	朝日大学入学志願票			
	入試区分				
	本籍地	住民票			
	入学等学籍異動(日付)	—	—		
	現住所	学生カード 個人連絡調査票	歯学部事務課 学事一課		
	現住所電話番号				
	写真	出願時	入試広報課		
		学生証更新時	歯学部事務課		
	学費支弁者 (親権者)	氏名	親権者・学費支弁者 届出書		歯学部事務課
		続柄			
職業					
住所					
電話番号					
保証人	氏名	誓約書・身元保証書	入試広報課		
	続柄				
	職業				
	住所				
	電話番号				
家族構成	氏名	学生カード	歯学部事務課 学事一課		
	続柄				
	歯科医籍番号	歯科医師免許証(写)	歯学部事務課		
成績関係	出席状況	学籍番号	携帯電話等通信機器	歯学部事務課 (各授業担当者)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業出欠席状況表 ・受験資格喪失者一覧 ・懇談会・三者面談用資料
		学籍番号	受験資格喪失者一覧		
		氏名			
	記述式試験 実技・実習試験 口頭試問	学籍番号	定期・追・再試験成績表 学力強化試験成績表 卒業試験成績表 共用試験成績表 その他試験	歯学部事務課 (各授業担当者)	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業・進級判定 ・試験成績通知書作成 ・成績通知書作成 ・成績証明書作成 ・進級・留年通知書作成 ・歯学部教育支援システム ・その他教務資料(留年者一覧、試験合格状況一覧、海外研修派遣学生選考資料等、懇談会・三者面談用資料)
		氏名			
		試験成績(点数)			
	学籍番号				
	マーク式試験	学籍番号			
試験成績(点数)					

○データ提供関係

供与先	対象学生	データ内容	利用目的	提供方法
学 事 一 課 (学 生 支 援)	新 入 生	学籍番号、学生氏名、性別、生年月日、学年、入学年度、入学年月日、入試区分名、出身高校、高校卒業年月、現住所(郵便番号、電話番号を含む)、親権者(氏名、続柄、職業、住所(郵便番号、電話番号を含む))	学生への指導、学生保証制度への加入	データファイル
経 理 課		学籍番号、学生氏名、親権者氏名、親権者住所(郵便番号、電話番号を含む)	学費・諸納付金の請求	データファイル
図 書 館 事 務 課		学籍番号、学生氏名、性別、現住所(郵便番号、電話番号を含む)、親権者氏名、親権者住所(郵便番号、電話番号を含む)	図書閲覧貸出証の作成、利用統計資料の作成	データファイル
歯 学 部 会 教 育 後 援 会		学生氏名、親権者氏名、親権者職業、親権者住所(郵便番号、電話番号を含む)	名簿の作成、配付	データファイル 宛名シール
歯 学 部 同 窓 会	6 学 年	学籍番号、氏名、顔写真(修了認定者名簿)	歯学部同窓生の登録、同窓会名簿への登録、同窓会員への配付	文書
学 事 一 課 (学 生 支 援)		学籍番号、氏名(修了認定者名簿)	学位記授与式の挙行、各種奨学金の事務処理	文書
経 理 課		学籍番号、氏名(修了認定者名簿)	学費・諸納付金の請求	文書
図 書 館 事 務 課		学籍番号、氏名(修了認定者名簿)	図書閲覧貸出証返却の連絡、延滞者への督促通知	文書
学 事 一 課 (学 生 支 援)	全 学 年	日本学生支援機構奨学生希望者学業成績結果	日本学生支援機構等への報告 奨学生の推薦に係る選考資料及び奨学生の指導のため	文書
入 試 広 報 課		学籍番号、親権者(学費支弁者)氏名、親権者(学費支弁者)住所(郵便番号、電話番号を含む)	アサヒニュースレターの送付	宛名シール
歯 学 部 会 教 育 後 援 会		学生氏名、親権者氏名、親権者職業、親権者住所(郵便番号、電話番号を含む)	総会の案内及び諸出版物の送付	データファイル 宛名シール
岐 阜 歯 科 学 会		学生氏名、学年、親権者(学費支弁者)氏名、親権者(学費支弁者)住所(郵便番号、電話番号を含む)	諸出版物の送付	宛名シール
親 権 者		学生氏名、学年、学業成績、欠席回数、成績結果	授業出欠席状況表、前学期試験成績通知書、後学期試験成績通知書及び成績通知書の送付	文書

第2章 朝日大学歯学部教育の指針

朝日大学歯学部の教育目標は、**本学の建学の精神「国際未来社会を切り開く社会性と創造性、そして、人類普遍の人的知性に富む人間の育成」**にのっとり、高い倫理観と人間に対する深い洞察力を身に付けつつ、専門知識および専門技術を習得することによって、地域に留まらず、国際的社会にも通用する歯科医師を育む所に置かれている。

この目標を達成するために、歯学部教育は、基礎教育系と専門教育系によって構成されている。基礎教育系では、人間科学および歯科医療基礎科学に分けられており、専門教育系への基礎を成すものである。

専門教育系では、口腔生命科学、口腔生体材料学、口腔疾患病態学、硬組織疾患・機能回復学、口腔疾患治療学、発育・加齢・障害者治療学、社会口腔保健学、総合医科学、地域歯科医療学、基礎歯科学、総合歯科学、臨床実習が行われる。

1 基礎教育系

基礎教育系科目は、幅広い知識と豊かな教養、歯科医師として必要な倫理観や人間性・国際性を身に着けるためことを目的とする。また、広い視野、確かな視点でますます複雑化して行く社会及び歯科医療の事象を的確に捕らえ、判断する上で、必要不可欠である。

1) 人間科学

心理学では将来歯科医師として理解しておくべき人の行動と心理に関する基礎的な知識と考え方を学び、法学では法の役割と医学の関わり方について、医療倫理学では歯科医師として学ぶべき道徳観を養う。医療統計学では、歯科医学に不可欠な統計学の基礎と、パソコンを利用した具体的な統計手法の取り扱いを学ぶ。医療人として必要になるマナー、コミュニケーション能力を目指す、対話型授業を重視した基礎ゼミ、国際社会への対応を視野に入れた英会話教育を充実するために英語基礎、英語、英会話を開設している。

健康スポーツでは、運動生理、健康知識とそれに基づく管理及び保健衛生について学び、その中でスポーツの実践も行う。

なお、英語・英会話は3年次まで継続的に行う。

2) 歯科医療基礎科学

歯科医学の基礎となる自然科学に関する講義科目として数学、情報処理、物理学、化学、生物学について実習を交え開設している。

2 専門教育系

専門教育系は、歯科医学の基礎となる人体や口の構造・機能などの他、歯科治療に用いる材料、病気のメカニズムや薬剤の効能について学ぶ。また、検査と診断、治療、治療後（予後）について、診療室で遭遇する状態と近接するように疾患の状態、治療方法などを系統的に学ぶ。さらに、社会と歯学の関わりについて、全身管理の中での歯科医学を実践的に学び、病院において歯科医療の実践やインフォームド・コンセント、チーム医療について学ぶ臨床実習を開設している。なお、専門教育系では、教育内容、学習到達目標等に応じ学習到達度を明確にして評価を行う。

(1) 口腔生命科学

1年次に、専門教育科目の基礎となる組織学、発生学を学び、2年次では、臨床系科目の基本となる知識を習得するために、解剖学、口腔解剖学、生理学・口腔生理学、生化学・口腔生化学、微生物学・口腔微生物学について実習を交え開設している。

(2) 口腔生体材料学

2年次に、歯科領域で使用される材料の基礎知識と材料の理工学的性質の理解を深めるため、歯科理工学について実習を交え開設している。

(3) 口腔疾患病態学

2年次に、疾患発生理論の基礎知識を知るために病理学総論を開設し、3年次では、その知識をさらに深めるために病理学・口腔病理学について実習を交え開設している。

2年次に、疾患の治療に用いられる薬の作用の基本的知識を得るために薬理学総論を開設し、3年次では、その知識をさらに深めるために歯科薬理学及び実習を交え開設している。

(4) 硬組織疾患・機能回復学

歯の一部崩壊、歯髄感染、歯冠崩壊、歯の欠損と変化する疾患に対しての治療方法として、2年次より歯冠修復学Ⅰを学び、3年次では歯冠修復学Ⅱ、歯内療法学、咬合学、部分床義歯学、全部床義歯学について実習を交え開設している。さらに、4年次では、クラウンブリッジ補綴学、口腔インプラント学、歯科臨床材料学について実習を交え開設している。

(5) 口腔疾患治療学

3年次より歯科疾患の診断に欠かすことのできない歯科放射線学や歯周組織疾患治療学として歯周病学について実習を交えて学び、口腔内にできる腫瘍や骨折などの基本的知識に加え、全身管理を含めた口腔の内科学知識を学ぶ口腔外科学Ⅰを開設している。4年次では、その知識をさらに深めるために口腔外科学Ⅱと手術時に必要な麻酔について、麻酔学・歯科麻酔学で学ぶ。

(6) 発育・加齢・障害者治療学

4年次より顎、顔面の発育に応じた治療学として、小児歯科学、歯科矯正学、また障害者や高齢者のように全身的なリスクを持つ者に対する治療学として障害者歯科学、高齢者・有病者歯科学について実習を交え開設している。

(7) 社会口腔保健学

2年次より、人口、生活環境、感染症や母子、学校、産業保健について公衆衛生学を学ぶ。3年次では、歯科疾患の個人的、公衆衛生的な予防に関する知識を口腔衛生学で実習を交え学ぶ。4年次では社会における歯科医師としての役割について社会歯科学、また、死亡後に医科や歯科から見える診断学として、歯科法医学を学ぶ。

(8) 総合医科学

歯科疾患だけの知識だけでは解決できない領域として、4年次より内科学、外科学、隣接医科学を学ぶ。

(9) 地域歯科医療学

地域医療ニーズを考慮し、訪問歯科診療や摂食嚥下リハビリテーションについて学ぶ地域歯科医療学を開設し、地域医療に関して1～4年次まで系統的に学ぶ、統合型スパイラル教育科目として地域社会と歯科医療を開設している。

(10) 基礎歯科学

歯科医学の全体像を理解することを目的に、1年次に建学の精神と社会生活、基礎歯科学入門Ⅰ・Ⅱを開設し、臨床系歯科専門科目の概要を学ぶとともに歯科医療の基本について学ぶ。

3年次には、歯科医学研究入門として学生が歯学部各研究室に出向き、歯科医学研究の一端を経験することで、歯科医師として備えなければならない研究者としての気質を養う。

(11) 総合歯科学

2年次の基礎・臨床歯科学Ⅰ、3年次の基礎・臨床歯科学Ⅱ、4年次の基礎・臨床歯科学演習にて、「歯学教育モデル・コア・カリキュラム」に準拠した授業内容の理解を促進させ、修得すべき知識等を教授することを目的とする。

また、1年次から4年次までの知識を歯科医師として必要な知識として統合できるように、5年次では基礎歯科学知識の統合を目的に総合歯科学Ⅰ、6年次では臨床歯科学知識の統合を目的に総合歯科学Ⅱを開設している。

(12) 臨床実習

医療の倫理と法の原則に則り、患者中心の歯科医療を実践し、患者との対話を通して、インフォームド・コンセントを得る能力を養うとともに、歯科技工士、衛生士などの医療スタッフとのチームワークの重要性を学ぶ。また、安全管理や危機管理能力を備え、医療事故の防止や的確な感染対策の知識を体得する。

第3章 各学年で開講される科目の教授要綱と内容

1. 基礎教育系科目

区分	授業科目の名称	単位数		授業を行う学年	履修方法
		必修	選択		
人間科学	心理学	1		1	授業を行う学年ごとに、必修科目の単位を次のとおり修得することとする。 1 1学年において22単位 2 2学年において1単位 3 3学年において1単位
	法学	1		1	
	医療倫理学	1		1	
	データサイエンス	1		1	
	英語基礎	1		1	
	英語	1		1	
	英会話Ⅰ	1		1	
	英会話Ⅱ	1		2	
	英会話Ⅲ	1		3	
	健康スポーツ	1		1	
	基礎ゼミ	2		1	
歯科医療基礎科学	数理基礎	2		1	
	情報処理演習	2		1	
	歯科基礎物理学	2		1	
	歯科基礎化学	2		1	
	歯科基礎生物学	2		1	
	歯科基礎科学実習	2		1	

2. 専門教育系科目

区分	授業科目の名称	授業時間数		授業を行う学年	履修方法
		必修	選択		
口腔生命科学	組織学Ⅰ	30		1	授業を行う学年ごとに、各授業科目の時間数を次のとおり履修し、修了の認定を受けることとする。 1 必修科目 (1) 1学年において390時間 (2) 2学年において1,066時間 (3) 3学年において1,122時間 (4) 4学年において1,118時間 (5) 5学年において1,800時間 (6) 6学年において1,260時間 2 選択科目 5学年において行う選択科目の履修及び修了の認定にあつては、卒業要件とする時間数に算入しない。
	組織学Ⅱ	30		2	
	発生学	30		1	
	解剖学	78		2	
	解剖学実習	100		2	
	口腔解剖学	90		2	
	口腔解剖学実習	60		2	
	生理学・口腔生理学	90		2	
	生理学・口腔生理学実習	32		2	
	生命と物質	30		2	
	生化学・口腔生化学	60		2	
	生化学・口腔生化学実習	32		2	
	微生物学・口腔微生物学	90		2	
	微生物学・口腔微生物学実習	32		2	

2020年度以降入学者

区分	授業科目の名称	授業時間数		授業を行う学年	履修方法
		必修	選択		
口腔生体材料学	歯科理工学	60		2	
	歯科理工学実習	32		2	
口腔疾患病態学	病理学総論	30		2	
	口腔病理学Ⅰ	30		3	
	口腔病理学Ⅱ	30		3	
	口腔病理学実習	60		3	
	薬理学総論	30		2	
	歯科薬理学	60		3	
	薬理学・歯科薬理学実習	30		3	
硬組織疾患・機能回復学	歯冠修復学Ⅰ	30		2	
	歯冠修復学Ⅱ	46		3	
	歯冠修復学実習	46		3	
	歯内療法学	76		3	
	歯内療法学実習	40		3	
	咬合学	30		3	
	クラウンブリッジ補綴学	60		4	
	クラウンブリッジ補綴学実習	60		4	
	部分床義歯学	60		3	
	部分床義歯学実習	60		3	
	全部床義歯学	60		3	
	全部床義歯学実習	46		3	
	口腔インプラント学	30		4	
	口腔インプラント学実習	20		4	
	歯科臨床材料学	30		4	
口腔疾患治療学	歯科放射線学	90		3	
	歯科放射線学実習	16		3	
	歯周病学	60		3	
	歯周病学実習	24		3	
	口腔外科学Ⅰ	60		3	
	口腔外科学Ⅱ	90		4	
	麻酔学・歯科麻酔学	40		4	
発育・加齢・障害者治療学	小児歯科学	60		4	
	小児歯科学実習	40		4	
	歯科矯正学	60		4	
	歯科矯正学実習	40		4	
	障害者歯科学	16		4	
	高齢者・有病者歯科学	30		4	

2020年度以降入学者

区分	授業科目の名称	授業時間数		授業を行う学年	履修方法
		必修	選択		
社会 口腔 保健学	公衆衛生学	40		2	
	口腔衛生学	46		3	
	口腔衛生学実習	16		3	
	社会歯科学	30		4	
	歯科法医学	30		4	
総合 医科学	内科学	60		4	
	外科学	30		4	
	隣接医科学	30		4	
地域 歯科 医療学	地域社会と歯科医療Ⅰ	30		1	
	地域社会と歯科医療Ⅱ	30		2	
	地域社会と歯科医療Ⅲ	30		3	
	地域社会と歯科医療Ⅳ	30		4	
	摂食嚥下リハビリテーションと共生社会	32		4	
基礎 歯科学	建学の精神と社会生活	30		1	
	基礎歯科学入門Ⅰ	90		1	
	基礎歯科学入門Ⅱ	180		1	
	歯科医学研究入門	16		3	
総合 歯科学	基礎・臨床歯科学Ⅰ	90		2	
	基礎・臨床歯科学Ⅱ	90		3	
	基礎・臨床歯科学演習	300		4	
	総合歯科医学Ⅰ	180		5	
	総合歯科医学Ⅱ	1080		6	
臨床 実習	臨床実習Ⅰ	1620		5	
	臨床実習Ⅱ	180		6	
関連 科目	海外歯科医療フィールドワーク		30	5	

第3章 各学年で開講される科目の教授要綱と内容

1. 基礎教育系科目

区分	授業科目の名称	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	履修方法
人間科学	心理学	1						1. 1学年において、21単位修得しなければならない。 2. 2学年において、1単位修得しなければならない。 3. 3学年において、1単位修得しなければならない。
	法学	1						
	医療倫理学	1						
	医療統計学	1						
	英語基礎	1						
	英語	1						
	英会話Ⅰ	1						
	英会話Ⅱ		1					
	英会話Ⅲ			1				
	健康スポーツ	1						
	基礎ゼミ	1						
歯科医療基礎科学	数学	2						
	情報処理演習	2						
	歯科基礎物理学	2						
	歯科基礎化学	2						
	歯科基礎生物学	2						
	歯科基礎科学実習	2						

2. 専門教育系科目

区分	授業科目の名称	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	履修方法
口腔生命科学	組織・発生学		60					1. 1学年において、360時間履修し、修了の認定を受けなければならない。 2. 2学年において、1,156時間履修し、修了の認定を受けなければならない。 3. 3学年において、1,126時間履修し、修了の認定を受けなければならない。 4. 4学年において、1,118時間履修し、修了の認定を受けなければならない。
	解剖学		78					
	解剖学実習		100					
	口腔解剖学		80					
	口腔解剖学実習		32					
	生理学・口腔生理学		90					
	生理学・口腔生理学実習		32					
	生命と物質		40					
	生化学・口腔生化学		60					
	生化学・口腔生化学実習		32					
	微生物学・口腔微生物学		92					
	微生物学・口腔微生物学実習		32					
	口腔生体材料学	歯科理工学		98				
歯科理工学実習			32					
口腔疾患病態学	病理学総論		30					
	口腔病理学			90				
	口腔病理学実習			30				
	薬理学・歯科薬理学			102				
	薬理学・歯科薬理学実習			30				
硬組織疾患・機能回復学	歯冠修復学Ⅰ		30					
	歯冠修復学Ⅱ			46				
	歯冠修復学実習			46				
	歯内療法学			76				
	歯内療法学実習			30				
	咬合学			30				

2019年度以前入学者

区分	授業科目の名称	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	履修方法
硬組織疾患・機能回復学	クラウンブリッジ補綴学				60			5. 5 学年において、1,980時間履修し、修了の認定を受けなければならない。ただし、関連科目の履修及び修了の認定にあつては、卒業要件とする時間数には算入しない。
	クラウンブリッジ補綴学実習				60			
	部分床義歯学			60				
	部分床義歯学実習			60				
	全部床義歯学			60				
	全部床義歯学実習			46				
	口腔インプラント学				30			
	口腔インプラント学実習				20			
	歯科臨床材料学				30			
口腔疾患治療学	歯科放射線学			90				6. 6 学年において、1035時間履修し、修了の認定を受けなければならない。
	歯科放射線学実習			16				
	歯周病学			60				
	歯周病学実習			24				
	口腔外科学Ⅰ			30				
	口腔外科学Ⅱ				90			
	麻酔学・歯科麻酔学				40			
発育・加齢・障害者治療学	小児歯科学				60			
	小児歯科学実習				40			
	歯科矯正学				60			
	歯科矯正学実習				40			
	障害者歯科学				16			
	高齢者・有病者歯科学				30			
社会口腔保健学	公衆衛生学		72					
	口腔衛生学			48				
	口腔衛生学実習			16				
	社会歯科学				30			
	歯科法医学				30			
総合医科学	内科学				60			
	外科学				30			
	隣接医科学				30			
地域歯科医療学	地域社会と歯科医療Ⅰ	30						
	地域社会と歯科医療Ⅱ		30					
	地域社会と歯科医療Ⅲ			30				
	地域社会と歯科医療Ⅳ				30			
	摂食嚥下リハビリテーションと共生社会				32			
基礎歯科学	建学の精神と社会生活	30						
	患者と医療		46					
	基礎歯科学入門	300						
	歯科医学研究入門			16				
総合歯科学	基礎・臨床歯科学Ⅰ		90					
	基礎・臨床歯科学Ⅱ			90				
	基礎・臨床歯科学演習				300			
	総合歯科医学Ⅰ					180		
	総合歯科医学Ⅱ						900	
臨床実習	臨床実習Ⅰ					1800		
	臨床実習Ⅱ						135	
関連科目	海外歯科医療フィールドワーク					30		

1 英会話Ⅲ(Aクラス)

ナンバリング	LAH-3-10	実務家教員や実務家による授業
担当教員 ◎：実務家教員	柏俣正典、Nicholas Yaxley、Justin Fung	
授業概要	近年、日本社会のグローバル化に伴い、短期海外労働者や移住者が増加している。このような環境の中で、日本人の歯科医師がこれらの人々に効果的で友好的な対応ができることが求められている。この授業の目的として、8週間の授業の中で、日本語の能力が十分でない海外からの患者への歯科治療の際に必要なとされる英語を身につけられるよう内容を設定した。また、この授業では海外あるいは移住者の患者に対応する際に生じる重要な文化的な問題についても学ぶ。	
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	○地域社会や国際未来社会で活躍できるコミュニケーション能力や英語能力を有しているとともに幅広い視野とリーダーシップを有している。	
到達目標	海外から患者の歯科治療に必要な英語会話能力を身につけ、さらに文化的な側面からも海外を理解する英語力を持つことを目的とする。	
教育手法	講義、ディスカッション	
履修の条件・注意事項	特になし	
教科書	Real English for Dental Practice 実践歯科英会話 At a Dental Clinic(株式会社ステライノベーション発行)	
参考書	なし	
オフィスアワー	授業終了後～17時00分、講義室、Yaxley先生、Fung先生	
学生の意見等からの気づき	—	
評価方法	定期試験の結果(素点)により評価する。 なお、小テスト等は定期試験の受験資格要件に用いる。	
フィードバック方法	授業内で実施	

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	9/13(水)	1時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 1: Receiving a call for a booking from a new patient	→ answer the phone, check the patient's condition and take a booking.	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第2回	9/13(水)	2時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 2: Welcoming a new patient and helping them with the Health History Questionnaire	→ make a good impression and assist the patient with the health history questionnaire	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第3回	9/27(水)	1時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 3: First Consultation with the dentist	→ greet the patient, establish a rapport and trust, and assess their condition	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第4回	9/27(水)	2時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 4: Guiding a patient through the X-Ray procedure	→ guide a patient through the X-ray process	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	

第5回	10/11(水)	1時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 5: Scaling and General Toothcare	→explain the scaling procedure, discuss ways to maintain healthy teeth and encourage periodical visits.	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第6回	10/11(水)	2時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 6: Insertion of Dental Composites	→ explain a procedure step-by-step	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第7回	10/25(水)	1時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 7: Crown Restoration and Fillings	→ take a patient through each phase of the procedure, from initial consultaion through to final adjustment.	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第8回	10/25(水)	2時限	柏俣、Yaxley、Fung	MINI TEST 1 (Unit 1 ~ Unit 7)		Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第9回	11/8(水)	1時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 8: An infected root canal	→ present the results of an X-ray, justify a procedure and deal with patient pain	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第10回	11/8(水)	2時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 9: Periodontal Examination	→gain a full picture of a patient's teeth care habits and concerns.	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第11回	11/22(水)	1時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 10: Treatment of Gum Disease	→describe a scaling procedure to a patient and encourage periodical visits.	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第12回	11/22(水)	2時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 11: Extraction of a tooth	→ justify the need for a tooth extraction and explain the procedure	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第13回	12/6(水)	1時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 12: Bridges and Dental Implants	→explain the merits of bridge and implant treatments and give a step-by-step explanation of the procedures.	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第14回	12/6(水)	2時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 13: Explaining Medicines and payment	→explain what medicine the patient will receive and how to take it, discuss payment alternatives and accept payment	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第15回	12/20(水)	1時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 14: Arranging the next appointment	→discuss or recommend a date for future appointments, explain the reason for returning to the clinic and leave a positive impression	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第16回	12/20(水)	2時限	柏俣、Yaxley、Fung	MINI TEST 2 (Unit 8 ~ Unit 14)		Read the text book for preparation and review	total 1 hr	

1 英会話Ⅲ(Bクラス)

ナンバリング	LAH-3-10	実務家教員や実務家による授業
担当教員 ◎：実務家教員	柏俣正典、Nicholas Yaxley、Justin Fung	
授業概要	近年、日本社会のグローバル化に伴い、短期海外労働者や移住者が増加している。このような環境の中で、日本人の歯科医師がこれらの人々に効果的で友好的な対応ができることが求められている。この授業の目的として、8週間の授業の中で、日本語の能力が十分でない海外からの患者への歯科治療の際に必要な英語を身につけられるよう内容を設定した。また、この授業では海外あるいは移住者の患者に対応する際に生じる重要な文化的な問題についても学ぶ。	
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	○地域社会や国際未来社会で活躍できるコミュニケーション能力や英語能力を有しているとともに幅広い視野とリーダーシップを有している。	
到達目標	海外から患者の歯科治療に必要な英語会話能力を身につけ、さらに文化的な側面からも海外を理解する英語力を持つことを目的とする。	
教育手法	講義、ディスカッション	
履修の条件・注意事項	特になし	
教科書	Real English for Dental Practice 実践歯科英会話 At a Dental Clinic (株式会社ステライノベーション発行)	
参考書	なし	
オフィスアワー	授業終了後～17時00分、講義室、Yaxley先生、Fung先生	
学生の意見等からの気づき	—	
評価方法	定期試験の結果(素点)により評価する。 なお、小テスト等は定期試験の受験資格要件に用いる。	
フィードバック方法	授業内で実施	

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	9/6(水)	1時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 1: Receiving a call for a booking from a new patient	→ answer the phone, check the patient's condition and take a booking.	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第2回	9/6(水)	2時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 2: Welcoming a new patient and helping them with the Health History Questionnaire	→ make a good impression and assist the patient with the health history questionnaire	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第3回	9/20(水)	1時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 3: First Consultation with the dentist	→ greet the patient, establish a rapport and trust, and assess their condition	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第4回	9/20(水)	2時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 4: Guiding a patient through the X-Ray procedure	→ guide a patient through the X-ray process	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第5回	10/4(水)	1時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 5: Scaling and General Toothcare	→ explain the scaling procedure, discuss ways to maintain healthy teeth and encourage periodical visits.	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	

第6回	10/4(水)	2時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 6: Insertion of Dental Composites	→ explain a procedure step-by-step	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第7回	10/18(水)	1時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 7: Crown Restoration and Fillings	→ take a patient through each phase of the procedure, from initial consultaion through to final adjustment.	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第8回	10/18(水)	2時限	柏俣、Yaxley、Fung	MINI TEST 1 (Unit 1 ~ Unit 7)		Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第9回	11/1(水)	1時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 8: An infected root canal	→ present the results of an X-ray, justify a procedure and deal with patient pain	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第10回	11/1(水)	2時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 9: Periodontal Examination	→ gain a full picture of a patient's teeth care habits and concerns.	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第11回	11/15(水)	1時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 10: Treatment of Gum Disease	→ describe a scaling procedure to a patient and encourage periodical visits.	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第12回	11/15(水)	2時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 11: Extraction of a tooth	→ justify the need for a tooth extraction and explain the procedure	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第13回	11/29(水)	1時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 12: Bridges and Dental Implants	→ explain the merits of bridge and implant treatments and give a step-by-step explanation of the procedures.	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第14回	11/29(水)	2時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 13: Explaining Medicines and payment	→ explain what medicine the patient will receive and how to take it, discuss payment alternatives and accept payment	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第15回	12/13(水)	1時限	柏俣、Yaxley、Fung	Lesson 14: Arranging the next appointment	→ discuss or reconmmend a date for future appointments, explain the reason for returning to the clinic and leave a positive impression	Read the text book for preparation and review	total 1 hr	
第16回	12/13(水)	2時限	柏俣、Yaxley、Fung	MINI TEST 2 (Unit 8 ~ Unit 14)		Read the text book for preparation and review	total 1 hr	

2 口腔病理学 I

ナンバリング	POD-3-07	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	永山元彦(◎)、落合隆永(◎)、江原道子(◎)、宮崎龍彦、大野 純		
授業概要	「病理学総論(病理学・口腔病理学 I)」で学んだ全身の疾病に共通する「原因」、「発症機転」、「経過」や「転帰」の現象を踏まえて、顎顔面・口腔領域に生じる炎症性疾患、免疫異常(免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患)、硬組織疾患と歯周疾患、腫瘍の「原因」、「発症機転」、「経過」ならびに「転帰」について詳細に学ぶ。		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	○歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。 ○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。		
到達目標	口腔領域に生じる歯を含む硬組織疾患、炎症性疾患、顎骨の非歯原性腫瘍と腫瘍様病変、唾液腺疾患、発育異常(先天異常を含む)、症候群、歯原性腫瘍、嚢胞と嚢胞性疾患、口腔粘膜疾患の原因、発症機転、経過ならびに転帰について学ぶ。		
教育手法	講義とディスカッション・ディベートを取り入れた症例を用いた演習を用いたアクティブラーニングとTBL方式による演習		
履修の条件・注意事項	履修にあたっては、既に学んだ組織学や生理学の正常な構造と機能を修得しておく必要がある。指定教科書や参考書の内容項目から予め自らのロードマップを作成することが望ましい。		
教科書	『新口腔病理学(第3版)』下野正基・高田隆 他(医歯薬出版)、『口腔病理アトラス(第3版)』高木實/監(文光堂)		
参考書	『やさしい治癒のしくみとはたらき』下野正基(医歯薬出版)、『新編 治癒の病理 臨床の疑問に基礎が答える(第1版)』下野正基(医歯薬出版)、Leon Barnes et al. ed. WHO Classification of Tumours, Pathology and Genetics, Head and Neck Tumours, WHO Publications Center, IARC Press Lyon, 2017		
オフィスアワー	平日17時00分～19時00分(予めアポイントの上) 永山教授、落合准教授、江原講師(口腔病理学研究室)		
学生の意見等からの気づき	前年度の授業評価アンケートの内容や授業中のフィードバック回答等を参考に、好評・不評であった内容を検討して、活用できる部分を利用する。		
評価方法	学期途中で実施する確認テストを定期試験受験資格とし、定期試験を評価対象とする。		
フィードバック方法	学期途中で実施する確認テスト問題やSTSから内容を復習させる。		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	4/5(水)	1時限	江原	病理総論を理解する。	炎症および循環障害を説明できる。		1時間	C-5-4)-①
								C-5-4)-②
								C-5-4)-③
								C-5-4)-④
第2回	4/5(水)	2時限	江原	病理総論を理解する。	炎症および循環障害を説明できる。		1時間	C-5-4)-⑤
								C-5-4)-⑥
								C-5-5)-①
								C-5-5)-②
第3回	4/5(水)	3時限	宮崎	腫瘍総論特別講義				
第4回	4/5(水)	4時限	宮崎	腫瘍総論特別講義				
第5回	4/12(水)	1時限	江原	病理検査(組織診・細胞診)を理解する。	病理検査検体の処理と手順(固定法、標本作製工程、特殊染色、免疫染色)を説明できる。	教科書(P.323～330)	1時間	E-1-3)-②
								E-2-4)-(6)-②
								E-2-4)-(6)-③

第6回	4/12(水)	2時限	江原	病理検査(組織診・細胞診)を理解する。	病理検査検体の処理と手順(固定法、標本作製工程、特殊染色、免疫染色)を説明できる。	教科書(P.323～330)	1時間	E-1-3)-(2)
								E-2-4)-(6)-(2)
								E-2-4)-(6)-(3)
第7回	4/19(水)	1時限	永山	齶蝕を理解する。	齶蝕の定義と病態、発症機序と組織学的特徴を理解する。	教科書(P.31～47)	1時間	E-3-2)-(1)
第8回	4/19(水)	2時限	永山	齶蝕を理解する。	齶蝕の定義と病態、発症機序と組織学的特徴を理解する。		1時間	E-3-3)-(1)-(1)
第9回	4/26(水)	1時限	永山	歯髄炎を理解する。	歯髄炎の定義と病態、発症機序と組織学的特徴を理解する。	教科書(P.48～66)	1時間	E-3-3)-(2)-(2)
第10回	4/26(水)	2時限	永山	歯髄炎を理解する。	歯髄炎の定義と病態、発症機序と組織学的特徴を理解する。		1時間	E-3-3)-(2)-(4)
第11回	5/10(水)	1時限	永山	根尖性歯周炎を理解する。	根尖性歯周炎の定義と病態、発症機序と組織学的特徴を理解する。	教科書(P.67～78)	1時間	E-3-3)-(2)-(1)
								E-3-3)-(2)-(4)
第12回	5/10(水)	2時限	永山	歯周疾患を理解する。	歯周疾患の定義と病態、発症機序と組織学的特徴を理解する。	教科書(P.79～97)	1時間	E-3-3)-(3)-(1)
								E-3-3)-(3)-(2)
第13回	5/10(水)	3時限	大野	口腔癌特別講義				
第14回	5/10(水)	4時限	大野	口腔癌特別講義				
第15回	5/17(水)	1時限	江原	口腔粘膜疾患、免疫異常を理解する。 水疱、びらん、潰瘍、白斑、紅斑、色素沈着をきたす口腔粘膜疾患を理解する。	口腔粘膜疾患、免疫異常、加齢変化を列挙し、病態像を説明できる。 水疱、びらん、潰瘍をきたす口腔粘膜疾患を列挙し、病態像を説明できる。	教科書(P.143～168、P.283～291)	1時間	E-2-4)-(3)-(7)
								E-2-4)-(4)-(1)
								E-2-4)-(4)-(2)
第16回	5/17(水)	2時限	江原	口腔粘膜疾患、免疫異常を理解する。 水疱、びらん、潰瘍、白斑、紅斑、色素沈着をきたす口腔粘膜疾患を理解する。	口腔粘膜疾患、免疫異常、加齢変化を列挙し、病態像を説明できる。 水疱、びらん、潰瘍をきたす口腔粘膜疾患を列挙し、病態像を説明できる。	教科書(P.143～168、P.283～291)	1時間	E-2-4)-(3)-(7)
								E-2-4)-(4)-(1)
								E-2-4)-(4)-(2)
第17回	5/24(水)	1時限	江原	腫瘍、口腔癌を理解する。	口腔癌の診断、口腔潜在的悪性疾患と口腔上皮異形成を説明できる。	教科書(P.169～181)	1時間	C-5-6)-(1)
								C-5-6)-(2)
								C-5-6)-(3)
								C-5-6)-(4)
								C-5-6)-(5)
第18回	5/24(水)	2時限	江原	腫瘍、口腔癌を理解する。	口腔癌の診断、口腔潜在的悪性疾患と口腔上皮異形成を説明できる。	教科書(P.169～181)	1時間	E-2-4)-(6)-(1)
								E-2-4)-(6)-(2)
								E-2-4)-(6)-(3)
								E-2-4)-(6)-(4)
								E-2-4)-(6)-(5)
								E-2-4)-(6)-(6)

3 口腔病理学Ⅱ

ナンバリング	POD-3-08	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	永山元彦(◎)、落合隆永(◎)、江原道子(◎)		
授業概要	「病理学総論(病理学・口腔病理学Ⅰ)」で学んだ全身の疾病に共通する「原因」、「発症機転」、「経過」や「転帰」の現象を踏まえて、顎顔面・口腔領域に生じる炎症性疾患、免疫異常(免疫不全、アレルギー、自己免疫疾患)、硬組織疾患と歯周疾患、腫瘍の「原因」、「発症機転」、「経過」ならびに「転帰」について詳細に学ぶ。		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	○歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。 ○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。		
到達目標	口腔領域に生じる歯を含む硬組織疾患、炎症性疾患、顎骨の非歯原性腫瘍と腫瘍様病変、唾液腺疾患、発育異常(先天異常を含む)、症候群、歯原性腫瘍、嚢胞と嚢胞性疾患、口腔粘膜疾患の原因、発症機転、経過ならびに転帰について学ぶ。		
教育手法	講義とディスカッション・ディベートを取り入れた症例を用いた演習をIT技術を用いたアクティブラーニングとTBL方式による演習		
履修の条件・注意事項	履修にあたっては、既に学んだ組織学や生理学の正常な構造と機能を修得しておく必要がある。指定教科書や参考書の内容項目から予め自らのロードマップを作成することが望ましい。		
教科書	『新口腔病理学(第3版)』下野正基・高田隆 他(医歯薬出版)、『口腔病理アトラス(第3版)』高木實/監(文光堂)		
参考書	『やさしい治癒のしくみとはたらき』下野正基(医歯薬出版)、『新編 治癒の病理 臨床の疑問に基礎が答える(第1版)』下野正基(医歯薬出版)、Leon Barnes et al. ed. WHO Classification of Tumours, Pathology and Genetics, Head and Neck Tumours, WHO Publications Center, IARC Press Lyon, 2017		
オフィスアワー	平日17時00分～19時00分(予めアポイントの上) 永山教授、落合准教授、江原講師(口腔病理学研究室)		
学生の意見等からの気づき	前年度の授業評価アンケートの内容や授業中のフィードバック回答等を参考に、好評・不評であった内容を検討して、活用できる部分を利用する。		
評価方法	学期途中で実施する確認テストを定期試験受験資格とし、定期試験を評価対象とする。		
フィードバック方法	学期途中で実施する確認テスト問題やSTSから内容を復習させる。		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	5/31(水)	2時限	江原	口腔・顎顔面領域の組織・器官の発生と加齢変化を理解する。患者の症候・病態が生じる原因と、それらを伴う代表的疾患を理解する。また、医科歯科連携について理解する。	口腔・顎顔面領域の老化と歯の喪失に伴う変化を説明できる。医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。	教科書(P.292～311) 教科書(P.312～322)	1時間	E-2-3)-④
				口腔・顎顔面領域の組織・器官の発生と加齢変化を理解する。患者の症候・病態が生じる原因と、それらを伴う代表的疾患を理解する。また、医科歯科連携について理解する。「STS実施」				E-6-②
第2回	5/31(水)	3時限	永山	歯と顎の発育異常、歯の損傷および歯の沈着物と着色・変色を理解する。	歯の形、大きさ、数、構造の発育異常と顎骨の発育異常を説明できる。歯の損傷および歯の沈着物と着色・変色を説明できる。	教科書(P.2～30)	1時間	E-3-1)-③ E-3-1)-④ E-3-1)-⑤ E-3-1)-⑥ E-3-2)-① E-3-3)-(1)-①

第3回	5/31(水)	4時限	永山	歯と顎の発育異常、歯の損傷および歯の沈着物と着色・変色を理解する。	歯の形、大きさ、数、構造の発育異常と顎骨の発育異常を説明できる。歯の損傷および歯の沈着物と着色・変色を説明できる。	教科書(P.2～30)	1時間	E-3-1)-③ E-3-1)-④ E-3-1)-⑤ E-3-1)-⑥ E-3-2)-① E-3-3)-(1)-①
第4回	6/7(水)	1時限	永山	顎口腔の発育異常、症候群を理解する。	歯・顎の発育異常、全身疾患に関連する口腔病変の臨床病態を説明できる。	教科書(P.132～142、P.331～340)	1時間	C-5-1)-① C-5-1)-②
第5回	6/7(水)	2時限	永山	顎口腔の発育異常、症候群を理解する。	歯・顎の発育異常、全身疾患に関連する口腔病変の臨床病態を説明できる。	教科書(P.132～142、P.331～340)	1時間	E-2-4)-(10)-⑤ E-2-4)-(10)-⑥
第6回	6/7(水)	3時限	落合	顎骨の非歯原性腫瘍・非腫瘍性病変を理解する。	顎骨の非歯原性腫瘍(WHO分類)と非腫瘍性病変をの臨床病態、組織学的所見の特徴を説明できる。	教科書(P.212～238)	1時間	E-2-4)-(6)-① E-2-4)-(6)-②
第7回	6/7(水)	4時限	落合	顎骨の非歯原性腫瘍・非腫瘍性病変を理解する。	顎骨の非歯原性腫瘍(WHO分類)と非腫瘍性病変をの臨床病態、組織学的所見の特徴を説明できる。	教科書(P.212～238)	1時間	E-2-4)-(6)-③ E-2-4)-(10)-④
第8回	6/14(水)	1時限	永山	口腔の嚢胞と嚢胞性疾患の概念と種類を理解する。	顎骨と軟組織に発生する嚢胞の臨床病態と病理所見を説明できる。	教科書(P.182～195)	1時間	E-2-4)-(5)-①
第9回	6/14(水)	2時限	永山	口腔の嚢胞と嚢胞性疾患の概念と種類を理解する。	顎骨と軟組織に発生する嚢胞の臨床病態と病理所見を説明できる。	教科書(P.182～195)	1時間	E-2-4)-(5)-①
第10回	6/21(水)	1時限	落合	歯原性腫瘍を理解する。	歯原性腫瘍の臨床病態、組織学的所見の特徴(WHO分類)を説明できる。	教科書(P.196～211)	1時間	E-2-4)-(6)-① E-2-4)-(6)-② E-2-4)-(6)-③
第11回	6/21(水)	2時限	落合	歯原性腫瘍を理解する。	歯原性腫瘍の臨床病態、組織学的所見の特徴(WHO分類)を説明できる。	教科書(P.196～211)	1時間	E-2-4)-(6)-① E-2-4)-(6)-② E-2-4)-(6)-③
第12回	6/28(水)	1時限	江原	唾液腺腫瘍の種類と特徴を理解する	唾液腺に発生する良性腫瘍と悪性腫瘍の組織学的特徴(WHO分類)を説明できる。	教科書(P.257～270)	1時間	E-2-4)-(8)-④
第13回	6/28(水)	2時限	江原	唾液腺腫瘍の種類と特徴を理解する	唾液腺に発生する良性腫瘍と悪性腫瘍の組織学的特徴(WHO分類)を説明できる。	教科書(P.257～270)	1時間	E-2-4)-(8)-④
第14回	7/5(水)	1時限	落合	軟組織の非歯原性腫瘍と腫瘍様病変の概念と種類を理解する。	軟組織の非歯原性腫瘍と腫瘍様病変の概念と種類を説明できる。	教科書(P.239～256)	1時間	C-5-6)-④ C-5-6)-⑤ C-5-6)-⑥
第15回	7/5(水)	2時限	落合	軟組織の非歯原性腫瘍と腫瘍様病変の概念と種類を理解する。	軟組織の非歯原性腫瘍と腫瘍様病変の概念と種類を説明できる。	教科書(P.239～256)	1時間	E-2-4)-(6)-① E-2-4)-(6)-② E-2-4)-(6)-③ E-2-4)-(6)-④
第16回	7/12(水)	1時限	江原	唾液腺疾患の種類と特徴を理解する。	唾液腺疾患の種類、唾液腺炎、Sjögren syndromeとその鑑別を説明できる。	教科書(P.271～282)	1時間	E-2-4)-(8)-② E-2-4)-(8)-③ E-2-4)-(8)-④ E-2-4)-(8)-⑤

第17回	7/12(水)	2時限	江原	唾液腺疾患の種類と特徴を理解する。	唾液腺疾患の種類、唾液腺炎、Sjögren syndromeとその鑑別を説明できる。	教科書(P.271～282)	1時間	E-2-4)-(8)-⑥
								E-2-4)-(8)-⑦
第18回	7/19(水)	2時限	永山	齶蝕、歯髄炎、根尖性歯周炎、歯周疾患と歯科治療に伴う治癒を理解する。	インプラントや歯の移植・再植における治癒過程と弊害(BRONJ, MRONJ)を説明できる。	教科書(P.120～131)	1時間	E-3-3)-(2)-④

4 口腔病理学実習

ナンバリング	POD-3-03	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	永山元彦(◎)、落合隆永(◎)、江原道子(◎)、武藤晋也、足立俊行、足立正孝、柴垣華子、山田敏彦、道前利行		
授業概要	講義における病理学・口腔病理学で紹介された疾病はその病態像を形態異常として捉える必要がある。本実習では代表的な疾病にみられる形態異常(主に組織学的変化)を顕微鏡観察を通して理解する。		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	○歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。 ○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。		
到達目標	口腔領域に生じる歯を含む硬組織疾患、炎症性疾患、顎骨の非歯源性腫瘍と腫瘍様病変、唾液腺疾患、発育異常(先天異常を含む)、症候群、歯源性腫瘍、嚢胞と嚢胞性疾患、口腔粘膜疾患の原因、発症機転、経過ならびに転帰について学ぶ。		
教育手法	VSを用いた病理組織標本の観察実習を中心として、スケッチノートの提出を行う。		
履修の条件・注意事項	履修にあたっては、既に学んだ組織学や生理学の正常な構造と機能を修得しておく必要がある。指定教科書や参考書の内容項目から予め自らのロードマップを作成することが望ましい。		
教科書	『新口腔病理学(第2版)』下野正基・高田隆 他(医歯薬出版)、『口腔病理アトラス(第3版)』高木 實 / 監(文光堂)、『新編 口腔外科・病理診断アトラス(第1版)』下野正基 他(医歯薬出版)、『はじめの一步の病理学(第2版)』深山正久 / 編(羊土社)		
参考書	『わかりやすい病理学』恒吉正澄(南江堂)、Leon Barnes et al. ed. WHO Classification of Tumours, Pathology and Genetics, Head and Neck Tumours, WHO Publications Center, IARC Press Lyon,		
オフィスアワー	平日17時00分～19時00分(予めアポイントの上) 永山教授、落合准教授、江原講師(口腔病理学研究室)		
学生の意見等からの 気づき	前年度の授業評価アンケートの内容や授業中のフィードバック回答等を参考に、好評・不評であった内容を検討して、活用できる部分を利用する。		
評価方法	指定実習帳提出(50%)、実習試験(50%)		
フィードバック方法	提出した実習帳に対して教員からの指摘を加えて返却する。		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	4/12(水)	3時限	永山 江原 山田 紫垣	病理検査(組織診・細胞診)を理解する。	病理検査検体の処理と手順(固定法、標本作製工程、特殊染色、免疫染色)を説明できる。		1時間	E-1-3)-②
								E-2-4)-(6)-②
								E-2-4)-(6)-③
第2回	4/12(水)	4時限	永山 江原 山田 紫垣	病理検査(組織診・細胞診)を理解する。	病理検査検体の処理と手順(固定法、標本作製工程、特殊染色、免疫染色)を説明できる。		1時間	E-1-3)-②
								E-2-4)-(6)-②
								E-2-4)-(6)-③
第3回	4/19(水)	3時限	永山 江原 山田	病理総論を理解する。	退行性病変の病因と形態的所見、および物質代謝異常の病態を理解する。		1時間	C-5-2)-②
								C-5-2)-③
								C-5-2)-④

第4回	4/19(水)	4時限	永山 江原 山田	循環障害と代謝性病変を理解する。	鬱血、充血、出血による循環障害による組織の物質代謝以上、退行性病変(変性、萎縮、壊死)を説明できる。 標本:うっ血肝	教科書(はじめの一步の病理学)細胞傷害・再生 p25-40 循環障害 p83-97	1時間	C-5-4)-①
								C-5-4)-②
								C-5-4)-⑤
第5回	4/26(水)	3時限	永山 江原 山田	炎症反応(肉芽腫性炎)を理解する。	肉芽腫性炎(特異性炎)を分類し、説明できる。 標本:肺結核、急性化膿性炎(膿瘍)、サルコイドーシス	教科書(はじめの一步の病理学)炎症 p41-59 免疫 p60-82 感染症 p118	1時間	C-5-5)-①
								C-5-5)-②
第6回	4/26(水)	4時限	永山 江原 山田	炎症反応(肉芽腫性炎)を理解する。	肉芽腫性炎(特異性炎)を分類し、説明できる。 標本:肺結核、急性化膿性炎(膿瘍)、サルコイドーシス	教科書(はじめの一步の病理学)炎症 p41-59 免疫 p60-82 感染症 p118	1時間	C-5-5)-③
								C-5-5)-④
第7回	5/17(水)	3時限	永山 落合 江原 山田	口腔粘膜粘膜炎を理解する。	白斑、紅斑、色素沈着を来す口腔粘膜疾患を列挙し説明できる。エプーリスの分類、病理組織学的変化と経時的変化を説明できる。標本:過角化症、上皮性異形成、エプーリス	教科書(口腔病理アトラス)口腔の粘膜皮膚疾患 p129-150 教科書(口腔病理アトラス)口腔の軟組織 p231-236	1時間	E-2-4)-(3)-⑦
								E-2-4)-(4)-①
								E-2-4)-(4)-②
第8回	5/17(水)	4時限	永山 落合 江原 山田	口腔粘膜粘膜炎を理解する。	白斑、紅斑、色素沈着を来す口腔粘膜疾患を列挙し説明できる。水疱、びらん、潰瘍をきたす口腔粘膜疾患を列挙し説明できる。 標本:口腔扁平苔癬、天疱瘡	教科書(口腔病理アトラス)口腔の粘膜皮膚疾患 p129-150	1時間	E-2-4)-(3)-⑦
								E-2-4)-(4)-①
								E-2-4)-(4)-②
第9回	5/24(水)	3時限	永山 落合 江原 山田 紫垣	口腔粘膜疾患の病理組織像の特徴を説明できる。口腔癌の病理組織像の特徴を理解する。	前癌病変の特徴と(微小)浸潤増殖像を説明できる。良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。 標本:乳頭腫、上皮性異形成	教科書(口腔病理アトラス)口腔粘膜上皮の腫瘍 p221-224	1時間	C-5-6)-①
								C-5-6)-②
								C-5-6)-③
								C-5-6)-④
								C-5-6)-⑤
								C-5-6)-⑥
								E-2-4)-(6)-①
								E-2-4)-(6)-②
								E-2-4)-(6)-③
E-2-4)-(6)-④								
E-2-4)-(6)-⑤								
E-2-4)-(6)-⑥								
第10回	5/24(水)	4時限	永山 落合 江原 山田 紫垣	口腔癌の病理組織像の特徴を理解する。	扁平上皮癌の臨床診断方法を説明できる。扁平上皮癌の病理組織像の特徴を説明できる。 標本:扁平上皮癌	教科書(口腔病理アトラス)口腔粘膜上皮の腫瘍 p225-229	1時間	C-5-6)-①
								C-5-6)-②
								C-5-6)-③
								C-5-6)-④
								C-5-6)-⑤
								C-5-6)-⑥
								E-2-4)-(6)-①
								E-2-4)-(6)-②
								E-2-4)-(6)-③
E-2-4)-(6)-④								
E-2-4)-(6)-⑤								
E-2-4)-(6)-⑥								
第11回	5/31(水)	1時限	永山 落合 江原	確認テスト1				

第12回	6/14(水)	3時限	永山 落合 江原 山田	口腔の嚢胞と嚢胞性疾患を理解する。 嚢胞の発生機序を理解する。	嚢胞の定義 顎骨と軟組織に発生する嚢胞の臨床病態と病理所見を説明できる。 標本: 歯根嚢胞	教科書(口腔病理アトラス) 歯原性嚢胞 p65-68	1時間	E-2-4)-(5)-①
第13回	6/14(水)	4時限	永山 落合 江原 山田	口腔の嚢胞と嚢胞性疾患を理解する。 歯原性・非歯原性嚢胞を理解する。	歯原性嚢胞と非歯原性嚢胞の病理組織学的所見を説明できる。 標本: 粘液嚢胞、歯原性角化嚢胞(鰓嚢胞/リンパ上皮性嚢胞、石灰化歯原性嚢胞)	教科書(口腔病理アトラス) 歯原性・非歯原性嚢胞 p175-193	1時間	E-2-4)-(5)-①
第14回	6/21(水)	3時限	永山 落合 江原 山田	歯原性腫瘍(良性)の組織学的分類と病理組織像の特徴を理解する。	WHOによる組織学的分類を説明できる。臨床病態と組織学的所見の特徴を説明できる。 標本: エナメル上皮腫(濾胞型・叢状型)、腺腫様歯原性腫瘍	教科書(口腔病理アトラス)歯原性腫瘍 p195-207	1時間	E-2-4)-(6)-①
								E-2-4)-(6)-②
								E-2-4)-(6)-③
第15回	6/21(水)	4時限	永山 落合 江原 山田	歯原性腫瘍(良性)の組織学的分類と病理組織像の特徴を理解する。	WHOによる組織学的分類を説明できる。臨床病態と組織学的所見の特徴を説明できる。 標本: 歯原性粘液腫	教科書(口腔病理アトラス) 歯原性腫瘍 p208-219	1時間	E-2-4)-(6)-①
								E-2-4)-(6)-②
								E-2-4)-(6)-③
第16回	6/22(木)	1時限	足立	特別講義				
第17回	6/22(木)	2時限	足立	特別講義				
第18回	6/28(水)	3時限	永山 落合 江原 山田	唾液腺腫瘍(良性)の組織学的分類と病理組織像の特徴を理解する。	Warthin 腫瘍の組織学的特徴を説明できる。多形腺腫の組織学的特徴を説明できる。 標本: Warthin 腫瘍、多形腺腫	教科書(口腔病理アトラス) 唾液腺腫瘍 p307-313	1時間	E-2-4)-(8)-④
第19回	6/28(水)	4時限	永山 落合 江原 山田	唾液腺腫瘍(良性)の組織学的分類と病理組織像の特徴を理解する。	腺様嚢胞癌の組織学的特徴を説明できる。粘表皮癌の組織学的特徴を説明できる。 標本: 腺様嚢胞癌、粘表皮癌	教科書(口腔病理アトラス) 唾液腺腫瘍 p297-306	1時間	E-2-4)-(8)-④
第20回	7/5(水)	3時限	永山 落合 江原 山田	非上皮性腫瘍(骨軟部腫瘍)の病理組織像の特徴を理解する。	上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍の違いを説明できる。 口腔にみられる非上皮性腫瘍の特徴と病理組織像を説明できる。 標本: 血管腫、神経鞘腫、骨肉腫	教科書(口腔病理アトラス) 口腔軟組織の腫瘍 p23-272	1時間	C-5-6)-④
								C-5-6)-⑤
								C-5-6)-⑥
第21回	7/5(水)	4時限	永山 落合 江原 山田	非上皮性腫瘍(骨軟部腫瘍)の病理組織像の特徴を理解する。	上皮性腫瘍と非上皮性腫瘍の違いを説明できる。 口腔にみられる非上皮性腫瘍の特徴と病理組織像を説明できる。 標本: 血管腫、神経鞘腫、骨肉腫	教科書(口腔病理アトラス) 口腔軟組織の腫瘍 p23-272	1時間	E-2-4)-(6)-②
								E-2-4)-(6)-③
								E-2-4)-(6)-④
第22回	7/12(水)	3時限	落合	顎・顎関節の非腫瘍性病変の概念と種類を理解する。	顎骨病変の概要を説明できる。 顎骨骨髓炎を説明できる。			E-2-4)-(10)-⑥
								E-2-4)-(10)-⑦
第23回	7/12(水)	4時限	落合	顎・顎関節の非腫瘍性病変の概念と種類を理解する。	顎関節の病変を説明できる。			E-2-4)-(7)-①
								E-2-4)-(7)-②

第24回	7/19(水)	1時限	永山 落合 江原	確認テスト2				
第25回	7/19(水)	3時限	永山 落合 江原 山田	実習試験				
第26回	7/19(水)	4時限	永山 落合 江原 山田	まとめ、復習、検印確認				
第27回	7/20(木)	1時限	永山 落合 江原	まとめ、復習、検印確認				
第28回	7/20(木)	2時限	永山 落合 江原	まとめ、復習、検印確認				
第29回	7/20(木)	3時限	永山 落合 江原	まとめ、復習、検印確認				
第30回	7/20(木)	4時限	永山 落合 江原	まとめ、復習、検印確認				

5 歯科薬理学

ナンバリング	POD-3-10	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	柏保正典、設楽彰子、大野雄太、長瀬春奈、佐藤慶太郎、坂上宏、大内基司(◎)、小山典子(◎)、今井健一		
授業概要	薬理学・歯科薬理学とは、適正な薬物療法の基礎となる科学である。薬物を正しく使用するためには、疾患成因の概略、薬物の化学的特性、作用機序および薬物によっておこる生体変化などを含め、投与した薬物が体内で吸収され作用を分布し、そして代謝排泄されていく全過程を理解しなければならない。これらを理解するために、生命現象系科目で学んだ知識をもとに、薬物療法の基本原理と臨床応用を総合的に学ぶための講義を行う。		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	<ul style="list-style-type: none"> ○歯科医師として必要な倫理観や人間性を身につけるとともに、幅広い知識と豊かな教養そして社会性を有している。 ○歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。 ○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。 ○研究心と論理的思考能力を持って日々進歩する歯科医学・歯科医療を常に研鑽し、歯科医療の発展のために生涯にわたり自らの歯科医療の知識と技術の向上を図ることができる。 		
到達目標	薬物に対する一般的な知識(薬物療法、薬理作用の機序、薬物動態、薬物の副作用と相互作用、医薬品関連法規など)のほか、歯科臨床で用いる薬物について必要な知識とその応用力を身につけることを目標とする。		
教育手法	講義、ディスカッション(薬理学関連用語について学生-教員間で話し合う)、フィールドワーク(簡単なテーマについて事前学習を促す)などを実施する。		
履修の条件・注意事項	生理学、生化学、微生物学に関する知識を備えておくことが望ましい。		
教科書	『現代歯科薬理学 第6版』(医歯薬出版)		
参考書	『薬が見える』(メディックメディア)、『目で見る薬理学入門』(医学映像教育センター:朝日大学図書館に蔵書)、『エース薬理学』(南山堂)、『疾病の成り立ち及び回復過程の促進3薬理学』(医歯薬出版)、『NEW 薬理学』(南江堂)、『カラー図解 これならわかる薬理学』(メディカル・サイエンス・インターナショナル)、『歯科におけるくすりの使い方』(デンタルダイヤモンド社)、		
オフィスアワー	月曜日、木曜日および金曜日 16:00～17:00 柏保教授室(1号館3階) 柏保教授 月曜日、木曜日および金曜日 16:00～17:00 歯科薬理学研究室(1号館4階) 設楽准教授、大野助教、長瀬助教		
学生の意見等からの気づき	前年度の授業評価アンケートの内容を参考にして授業を進めたい。		
評価方法	定期試験の成績を100%として評価の判定に用いる。(別途案内在り)		
フィードバック方法	STSの実施結果を解析して、理解の不十分な箇所をmoodleで解説する。		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	4/3(月)	1時限	設楽	末梢神経の分類、ニューロン間の情報伝達と薬物について理解し、交感神経に作用する薬物について理解する。	末梢神経の分類、ニューロン間の情報伝達と薬物、及び交感神経に作用する薬物を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-②
第2回	4/3(月)	2時限	設楽	副交感神経、自律神経節及び神経筋接合部に作用する薬物について理解する。	副交感神経、自律神経節及び神経筋接合部に作用する薬物を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-②
第3回	4/7(金)	1時限	設楽	全身麻酔薬およびアルコールの中枢神経作用を理解する。	全身麻酔の分類、吸入麻酔薬の吸収と排泄及び麻酔深度、静脈麻酔薬、麻酔前投薬、アルコールの中枢作用を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-②

第4回	4/7(金)	2時限	設楽	麻薬性鎮痛薬、催眠薬および鎮静薬を理解する。	麻薬性鎮痛薬の薬理作用および作用機序、耐性と依存性、非麻薬性鎮痛薬および催眠薬の分類、有害作用を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-4)-①
第5回	4/10(月)	1時限	設楽	向精神薬および抗てんかん薬を理解する。「講義フィードバックアンケート実施」	向精神薬・抗てんかん薬の分類、薬理作用、作用機序および有害作用を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-②
第6回	4/10(月)	2時限	長瀬	ビタミンについて理解する。重金属拮抗薬について理解する。	脂溶性ビタミンおよび水溶性ビタミン、重金属拮抗薬を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-②
第7回	4/14(金)	1時限	設楽	局所麻酔薬の一般的性質および作用機序を理解する。	局所麻酔薬の作用機序、化学構造に基づいて分類し、代表薬、適用方を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-②
第8回	4/14(金)	2時限	設楽	局所麻酔薬と血管収縮薬の併用を理解する。「講義フィードバックアンケート実施」	局所麻酔薬の効果に影響を与える因子、血管収縮薬を添加する目的を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-②
第9回	4/17(月)	1時限	佐藤	循環系に作用する薬物について理解する。	血圧の調節機能、高血圧治療薬・心不全治療薬の分類・作用機序・副作用および相互作用を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-②
					不整脈治療薬・狭心症治療薬の分類・作用機序・副作用および相互作用を説明できる。			C-6-2)-⑤
第10回	4/17(月)	2時限	佐藤	循環系に作用する薬物について理解する。	不整脈治療薬・狭心症治療薬の分類・作用機序・副作用および相互作用を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-4)-①
第11回	4/21(金)	1時限	坂上	抗腫瘍薬について理解する。	腫瘍とその治療法を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-②
								C-6-2)-⑤
第12回	4/21(金)	2時限	坂上	抗腫瘍薬について理解する。	腫瘍とその治療法を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-4)-①
								C-6-2)-②
第13回	4/24(月)	1時限	柏俣	抗腫瘍薬について理解する。	腫瘍とその治療法を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-⑤
								C-6-4)-①
第14回	4/24(月)	2時限	全員	小テスト(各論①)	各論①(前半)の内容について、小テストを行う。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	
第15回	4/28(金)	1時限	柏俣	炎症の基本を理解する。	炎症の五大徴候、アラキドン酸カスケード、炎症のケミカルメディエーター及び痛覚伝導路を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-②
第16回	4/28(金)	2時限	柏俣	抗炎症薬について理解する。	非ステロイド性抗炎症薬およびステロイド性抗炎症薬の代表的な作用機序と薬物、薬理作用と副作用を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-4)-①

第17回	5/12(金)	1時限	柏俣	解熱性鎮痛薬と神経障害性疼痛治療薬について理解する。	解熱性鎮痛薬およびの神経障害性疼痛治療薬の代表的な薬物、薬理作用と副作用を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-②
第18回	5/12(金)	2時限	柏俣	免疫機能に影響する薬物について理解する。	免疫抑制薬・賦活薬及び抗ヒスタミン薬・抗アレルギー薬を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-4)-①
第19回	6/5(月)	1時限	大内	ホルモンおよびホルモン拮抗薬・代謝性疾患治療薬について理解する。	ホルモンおよびホルモン拮抗薬および代謝性疾患治療薬を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-②
								C-6-2)-⑤
第20回	6/5(月)	2時限	大内	ホルモンおよびホルモン拮抗薬・代謝性疾患治療薬について理解する。	ホルモンおよびホルモン拮抗薬および代謝性疾患治療薬を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-4)-①
第21回	6/12(月)	1時限	柏俣	呼吸器系及び消化器系に作用する薬物について理解する。	呼吸器系疾患・気管支喘息治療薬及び消化性潰瘍治療薬・消化管機能改善薬について説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-②
第22回	6/12(月)	2時限	柏俣	腎臓に作用する薬物について理解する。「STS実施」、「講義フィードバックアンケート実施」	利尿薬・抗利尿薬の分類・作用機序・副作用を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-②
								C-6-2)-⑤
								C-6-4)-①
第23回	6/19(月)	1時限	小山	抗感染症治療薬について理解する。	抗菌薬の基礎的事項および作用機序を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-②
第24回	6/19(月)	2時限	小山	抗感染症治療薬について理解する。	抗菌薬の耐性獲得の機序を説明できる。 抗菌薬の副作用・副現象およびPK/PD理論を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-4)-②
								C-4-1)-⑤
第25回	6/26(月)	1時限	小山	抗感染症治療薬について理解する。	抗菌薬、抗真菌薬および抗ウイルス薬の作用機序・代表的な薬物名・副作用・相互作用を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。 1.5時間	1.5時間	C-6-2)-②
								C-4-1)-⑤
第26回	6/26(月)	2時限	小山	抗感染症治療薬について理解する。	抗菌薬、抗真菌薬および抗ウイルス薬の作用機序・代表的な薬物名・副作用・相互作用を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。 1.5時間	1.5時間	C-6-2)-② C-4-1)-⑤
第27回	7/3(月)	1時限	柏俣	抗凝固薬、止血薬について理解する。	抗凝固薬、止血薬および貧血に用いられる薬を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-②
第28回	7/3(月)	2時限	柏俣	抗凝固薬、止血薬について理解する。	抗凝固薬、止血薬および貧血に用いられる薬を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-②
第29回	7/10(月)	1時限	今井	歯科治療に用いられる薬物について理解する。	歯内療法、歯周治療に用いられる薬物の種類と適用および齶歯予防薬の種類と適用、歯科における再生治療と薬物を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-②
第30回	7/10(月)	2時限	全員	小テスト(各論②)	各論②(後半)の内容について、小テストを行う。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	

6 歯科薬理学実習

ナンバリング	POD-3-05	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	柏俣正典、設楽彰子、大野雄太、長瀬春奈、佐藤慶太郎、野原正勝、森田貴雄、林徹、水越堅詞(◎)、赤井崇浩(◎)、足立圭亮(◎)		
授業概要	歯科薬理学実習では、歯科臨床各科で使用される代表的薬物を実際に使い、薬物の性質や作用機序などについて基礎知識を体験的に学ぶ。		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	<p>○歯科医師として必要な倫理観や人間性を身につけるとともに、幅広い知識と豊かな教養そして社会性を有している。</p> <p>○歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。</p> <p>○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。</p> <p>○研究心と論理的思考能力を持って日々進歩する歯科医学・歯科医療を常に研鑽し、歯科医療の発展のために生涯にわたり自らの歯科医療の知識と技術の向上を図ることができる。</p>		
到達目標	薬物を安全に使用するための知識を習得することを目標とする。歯科臨床で頻繁に用いる薬物や特に注意を要する薬物について重点的に学習して理解を深める。		
教育手法	実習、演習、講義、ディスカッション、レポート		
履修の条件・注意事項	薬理学に関する知識を備えておくことが望ましい。		
教科書	『現代歯科薬理学 第6版』(医歯薬出版)		
参考書	『薬がみえる vol.1, 2, 3』(メディックメディア)、『目で見える薬理学入門』(医学映像教育センター:朝日大学図書館に蔵書)、『疾病の成り立ち及び回復過程の促進3薬理学』(医歯薬出版)、『NEW 薬理学』(南江堂)、、『歯科におけるくすりの使い方』(デンタルダイヤモンド社)、		
オフィスアワー	月曜日、木曜日および金曜日 16:00～17:00 柏俣教授室(1号館3階) 柏俣教授 月曜日、木曜日および金曜日 16:00～17:00 歯科薬理学研究室(1号館4階) 設楽准教授、大野講師、長瀬助教		
学生の意見等からの気づき	前年度の授業評価アンケートの内容を参考にして授業を進めたい。		
評価方法	平常点(レポート、実習態度)30%と実習試験70%として評価する。		
フィードバック方法	レポートの修正箇所を再提出することによってフィードバックを行なう。		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	5/19(金)	3時限	全員	オリエンテーション	実習に関する注意事項、実習レポートの書き方について理解できる。	事後に復習を行う(30分)。	0.5時間	
第2回	5/19(金)	4時限	野原	オリエンテーション	動物実験等の理念である3Rについて理解できる	事後に復習を行う(30分)。	0.5時間	
第3回	6/2(金)	3時限	佐藤	心筋に作用する薬物(八木式灌流法)について理解する。	強心薬、抗不整脈薬、抗カリウム血症の病態について説明できる。	授業前に教科書の必要箇所を予習する(30分)。事後に確認を行う(1時間)。	1.5時間	C-3-4)-(4)-①
第4回	6/2(金)	4時限	佐藤	心筋に作用する薬物(八木式灌流法)について理解する。	強心薬、抗不整脈薬、抗カリウム血症の病態について説明できる。	授業前に教科書の必要箇所を予習する(30分)。事後に確認を行う(1時間)。	1.5時間	C-3-4)-(5)-③ C-6-2)-②
第5回	6/9(金)	3時限	設楽	局所麻酔薬の作用と血管収縮薬の効果について理解する。	局所麻酔薬の副作用、有害作用、適用法および歯科領域で使用される局所麻酔薬を説明できる。	授業前に教科書の必要箇所を予習する(30分)。事後に確認を行う(1時間)。	1.5時間	C-6-2)-② C-6-2)-⑤

第6回	6/9(金)	4時限	設楽	局所麻酔薬の作用と血管収縮薬の効果について理解する。	局所麻酔薬の副作用、有害作用、適用法および歯科領域で使用される局所麻酔薬を説明できる。	授業前に教科書の必要箇所を予習する(30分)。事後に確認を行う(1時間)。	1.5時間	C-6-4)-①
								E-1-4)-(3)-④
第7回	6/16(金)	3時限	設楽	自律神経作用薬 (Magnus法)について理解する。	交感神経、副交感神経、自律神経節に作用する薬物を説明できる。	授業前に教科書の必要箇所を予習する(30分)。事後に確認を行う(1時間)。	1.5時間	C-3-4)-(5)-③
								C-3-4)-(5)-⑨
第8回	6/16(金)	4時限	設楽	自律神経作用薬 (Magnus法)について理解する。	交感神経、副交感神経、自律神経節に作用する薬物を説明できる。	授業前に教科書の必要箇所を予習する(30分)。事後に確認を行う(1時間)。	1.5時間	C-6-2)-②
								C-6-2)-⑤
第9回	6/23(金)	3時限	長瀬	吸入麻酔薬の作用機序について理解する。	全身麻酔の分類、吸入麻酔薬の吸収と排泄、麻酔深度および麻酔強度を説明できる。	授業前に教科書の必要箇所を予習する(30分)。事後に確認を行う(1時間)。	1.5時間	C-6-2)-②
								C-6-2)-③
第10回	6/23(金)	4時限	長瀬	吸入麻酔薬の作用機序について理解する。	全身麻酔の分類、吸入麻酔薬の吸収と排泄、麻酔深度および麻酔強度を説明できる。	授業前に教科書の必要箇所を予習する(30分)。事後に確認を行う(1時間)。	1.5時間	C-6-2)-⑤
								E-1-4)-(4)-①
第11回	6/30(金)	3時限	大野	麻薬性鎮痛薬と解熱性鎮痛薬の作用機序について理解する。	炎症のケミカルメディエーターおよび非ステロイド性抗炎症薬、解熱性鎮痛薬、麻薬性鎮痛薬の薬理作用および作用機序を説明できる。	授業前に教科書の必要箇所を予習する(30分)。事後に確認を行う(1時間)。	1.5時間	C-6-2)-②
第12回	6/30(金)	4時限	大野	麻薬性鎮痛薬と解熱性鎮痛薬の作用機序について理解する。	炎症のケミカルメディエーターおよび非ステロイド性抗炎症薬、解熱性鎮痛薬、麻薬性鎮痛薬の薬理作用および作用機序を説明できる。	授業前に教科書の必要箇所を予習する(30分)。事後に確認を行う(1時間)。	1.5時間	C-6-4)-①
第13回	7/7(金)	3時限	全員	解説講義	各実習の結果とその解釈の解説を聞いた上で、理解し説明できる。	授業前に教科書の必要箇所を予習する(30分)。事後に確認を行う(1時間)。	1.5時間	C-6-2)-②
第14回	7/7(金)	4時限	全員	解説講義	各実習の結果とその解釈の解説を聞いた上で、理解し説明できる。	授業前に教科書の必要箇所を予習する(30分)。事後に確認を行う(1時間)。	1.5時間	C-6-2)-②
第15回	7/14(金)	3時限	全員	実習試験	実習で学んだ項目を説明できる。	授業前に実習で学んだ項目を復習する(1.5時間)	1.5時間	
第16回	7/14(金)	4時限	全員	実習試験	実習で学んだ項目を説明できる。	授業前に実習で学んだ項目を復習する(1.5時間)	1.5時間	

7 歯冠修復学Ⅱ

ナンバリング	HAO-3-02	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	二階堂徹(◎)、日下部修介(◎)、田上順次、須崎明		
授業概要	歯冠修復学の各論の基本的項目の理解と他の基礎医学との関連に基づく必要な知識と応用力を身につけ、共用試験と国家試験にも対応できるようにすることを目標とする。		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	○歯科医師として必要な倫理観や人間性を身につけるとともに、幅広い知識と豊かな教養そして社会性を有している。 ○歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。		
到達目標	①う蝕や他の硬組織疾患について理解する。 ②う蝕の検査と診断法について理解し、説明できる。 ③診断に基づいた修復方法について理解し、説明できる。 ④歯の漂白などについて理解し、説明できる。 ⑤高齢者に対する修復治療の特徴について理解し、説明できる。		
教育手法	講義		
教科書	保存修復学21(第五版、永末書店)		
参考書	保存修復学第7版(医歯薬出版)、接着歯学第2版(医歯薬出版)		
オフィスアワー	月曜日～金曜日 16:30～19:00、1号館3階 二階堂教授室(二階堂教授)、1号館1階 歯科保存学分野歯冠修復学研究室(高垣准教授、日下部講師)		
評価方法	定期試験の結果で評価する。小テストと確認テストの成績を定期試験の受験資格要件とする。		
フィードバック方法	小テストと確認テストの終了直後に解説を行う。		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	4/3(月)	3時限	二階堂	コンポジットレジン修復を理解する。	1)マトリックスレジンについて記述できる。 2)ファイラーについて記述できる。 3)コンポジットレジンの分類について記述できる。 4)フロアブルコンポジットレジンについて記述できる。 5)光照射器について記述できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P149-202	1時間	D-2-①
第2回	4/3(月)	4時限	二階堂	コンポジットレジン修復を理解する。	1)開発の流れについて記述できる。 2)接着性レジンの構成について記述できる。 3)接着のメカニズムについて記述できる。 4)臨床使用上の注意点について記述できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P149-202	2時間	D-2-①
第3回	4/6(木)	1時限	二階堂	コンポジットレジン修復を理解する。	1)適応症について記述できる。 2)修復の手順について記述できる。 3)各種修復症例について記述できる。 4)問題点ならびに対処法について記述できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P149-202	1時間	D-2-①

回数	実施日	時限	担当者	学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第4回	4/6(木)	2時限	二階堂	コンポジットレジン修復を理解する。 STS実施(範囲:第1回~第6回) フィードバックアンケート実施	1) 口腔内修復物の寿命にかかわる因子について記述できる。 2) 修復物の信頼性について記述できる。 3) 保全について記述できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P149-202	2時間	D-2-①
第5回	4/13(木)	1時限	田上	特別講義 接着を活用した歯質保存的な修復方法を理解する。	1) MIについて説明できる。 2) ボンディング材の特徴と使用方法について説明できる。 3) CR修復法の適応症について説明できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P149-202 P307-308	1時間	D-2-①
第6回	4/13(木)	2時限	田上	特別講義 接着を活用した歯質保存的な修復方法を理解する。	1) MIについて説明できる。 2) ボンディング材の特徴と使用方法について説明できる。 3) CR修復法の適応症について説明できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P149-202 P307-308	2時間	D-2-①
第7回	4/20(木)	1時限	二階堂	グラスアイオノマーセメント修復を理解する。	1) 種類・成分・硬化機構について記述できる。 2) 物理・機械的性質について記述できる。 3) 接着性について記述できる。 4) 歯髄刺激性について記述できる。 5) 審美性について記述できる。 6) 感水性について記述できる。 7) フッ化物徐放性について記述できる。 8) フッ化物イオンの取り込みについて記述できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P203-214	1時間	D-2-①
第8回	4/20(木)	2時限	二階堂	グラスアイオノマーセメント修復を理解する。	1) 適応症について記述できる。 2) 色調の選択について記述できる。 3) 窩洞について記述できる。 4) 歯面の酸処理について記述できる。 5) 填塞について記述できる。 6) 光照射について記述できる。 7) バーニッシュ塗布について記述できる。 8) 仕上げ・研磨について記述できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P203-214	2時間	D-2-①
第9回	4/27(木)	1時限	二階堂	アマルガム修復を理解する。	1) 材料学について記述できる。 2) 術後の変化・経過について記述できる。 3) 水銀汚染と環境汚染問題について記述できる。 4) アマルガム除去法について記述できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P215-218	1時間	D-2-①
第10回	4/27(木)	2時限	二階堂	確認テスト(多肢選択問題形式) 範囲:第3回~第6回	8.~10.の各論のまとめ		2時間	

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第11回	5/11(木)	1時限	二階堂	コンポジットレジンインレー修復を理解する。	1) 窩洞の特徴について記述できる。 2) 適応症について記述できる。 3) 禁忌症について記述できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P219-234	1時間	D-2-①
第12回	5/11(木)	2時限	二階堂	コンポジットレジンインレー修復を理解する。 STS実施(範囲:第7回~第12回)	1) 臨床手順(チェアサイドと技工サイド)について記述できる。 2) 臨床経過について記述できる。 3) 問題点について記述できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P219-234	2時間	D-2-①
第13回	5/18(木)	1時限	二階堂	セラミックインレー修復を理解する。	1) 材料(焼成用、キャストブル、CAD/CAM用、加熱加圧成形用)について記述できる。 2) 適応症と禁忌症について記述できる。 3) 窩洞の特徴について記述できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P235-246	1時間	D-2-①
第14回	5/18(木)	2時限	二階堂	セラミックインレー修復を理解する。 フィードバックアンケート実施	1) 製作手順と特徴(焼成法、鋳造法、ミリング用、加熱加圧成形法)について記述できる。 2) 試適・接着・咬合調整・仕上げ研磨について記述できる。 3) 問題点・留意点について記述できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P235-246	2時間	D-2-①
第15回	5/25(木)	1時限	日下部	メタルインレー修復を理解する。	1) 各種鋳造用合金について記述できる。 2) 適応症、窩洞、形成法、裏層について記述できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P247-274	1時間	D-2-①
第16回	5/25(木)	2時限	日下部	メタルインレー修復を理解する。	1) 印象材と印象採得の術式について記述できる。 2) 間接法模型(作業模型)と調整法について記述できる。 3) インレーワックスとろう型の調整法について記述できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P247-274	2時間	D-2-①
第17回	6/1(木)	1時限	二階堂	合着・接着を理解する。	1) 合着用、接着用セメントの種類について記述できる。 2) 各種セメントの組成・用法・注意点について記述できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P275-286	1時間	D-2-①
第18回	6/1(木)	2時限	二階堂	確認テスト(多肢選択問題形式) 範囲:第11回~第14回	11.~14.の各論のまとめ		2時間	D-2-①

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第19回	6/8(木)	1時限	二階堂	ラミネートベニア修復を理解する。	1)分類と特色について記述できる。 2)材料(コンポジットレジン、セラミック)について記述できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P287-296	1時間	D-2-①
第20回	6/8(木)	2時限	二階堂	ラミネートベニア修復を理解する。	1)修復の手順について記述できる。 2)術後の変化・経過について記述できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P286-296	2時間	D-2-①
第21回	6/15(木)	1時限	二階堂	歯の漂白を理解する。	1)歯の着色・変色の原因について記述できる。 2)変色歯の漂白について記述できる。 3)漂白のメカニズムについて記述できる。 4)漂白処置の安全性について記述できる。 5)漂白処置を行う前に考慮すべきことについて記述できる。 6)無髄歯の漂白(適応症と禁忌症、漂白術式)について記述できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P297-306	1時間	E-3-3)-(1)-①
第22回	6/15(木)	2時限	二階堂	歯の漂白を理解する。	1)有髄歯の漂白(適応症と禁忌症、漂白術式)について記述できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P297-306	2時間	E-3-3)-(1)-①
第23回	7/18(火)	1時限	日下部	補修修復について理解する。	1)補修の考え方について記述できる。 2)術前検査について記述できる。 3)接着の術式について記述できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P307-308	1時間	E-3-3)-(1)-②
第24回	7/18(火)	2時限	日下部	高齢者の保存修復を理解する(STS実施(範囲:第19回~第24回))	1)高齢者の身体的・心理的特徴について記述できる。 2)高齢者の口腔内の特徴について記述できる。 3)高齢者の保存修復治療について記述できる。	教科書(第五版保存修復学21) : P309-315	2時間	E-2-3)-④

8 歯冠修復学実習

ナンバリング	HAO-3-03	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	二階堂徹(◎)、大橋静江(◎)、日下部修介(◎)、村瀬由起(◎)清水翔二郎(◎)、鶴田はねみ(◎)、新谷耕平(◎)、鶴田はねみ(◎)、石樽大嗣(◎)、高垣智博、成瀬由己 他		
授業概要	歯冠修復学は歯科臨床科目であり、臨床の場で正しく実践されて始めて達成される学問である。したがって、歯冠修復学実習は臨床実習に入る前の学生の態度・技能・知識が臨床実習に適切に反映されるかどうかを評価するのが目的である。そこで、ファントムによる模型実習とOSCE(Objective Structured Clinical Examination:客観的臨床能力試験)に対応した実習により、歯冠修復の基本的技能と態度を習得する必要がある。具体的に本実習で行う内容は日常臨床で最も利用頻度の高い成形修復(直接修復)のコンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセメント修復、間接修復のメタルインレー修復とコンポジットレジンインレー修復である。		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	<ul style="list-style-type: none"> ○歯科医師として必要な倫理観や人間性を身につけるとともに、幅広い知識と豊かな教養そして社会性を有している。 ○地域社会や国際未来社会で活躍できるコミュニケーション能力や英語能力を有しているとともに幅広い視野とリーダーシップを有している。 ○歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。 ○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。 ○多様化する地域社会の歯科医療ニーズにきめ細やかに対応し、口腔ケア、在宅歯科診療や、地域包括ケアシステムなど多職種連携チーム医療をもとに、地域社会に貢献する歯科医療を実践できる高い臨床能力を身につけている。 ○研究心と論理的思考能力を持って日々進歩する歯科医学・歯科医療を常に研鑽し、歯科医療の発展のために生涯にわたり自らの歯科医療の知識と技術の向上を図ることができる。 		
到達目標	正しい診療姿勢を身につける。歯冠修復に必要な器具・器材の正しい操作ができる。適切なう蝕の除去、窩洞形成ができる。成型修復、間接修復の基本術式を理解し、実施できる。		
教育手法	実習、講義		
履修の条件・注意事項	—		
教科書	『実習書:[Manual of Operative Dentistry]』 二階堂 徹 他		
参考書	『保存修復クリニカルガイド 第2版』 千田 彰 他(医歯薬出版) 『保存修復学21 第6版』 田上順次他(永末書店)		
オフィスアワー	月～金曜日 16:30～19:00 二階堂教授室(二階堂教授)、歯冠修復学研究室(大橋講師:月水のみ、日下部講師、村瀬助教、清水助教、鶴田助教)		
学生の意見等からの気づき	前年度の実習アンケートの内容を参考にして授業を進めていく予定である。		
評価方法	実習製作物(80%)、実習試験・レポート(10%)、態度(10%)		
フィードバック方法	実習製作物:評価シートを学生に返却して口頭でフィードバックする。レポート:コメントをつけて返却する。		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	4/10(月)	3時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	診療設備(ファントム)・器具・器械の使用法を習得する。	1)実習に使用する器具、材料を選ぶ。 2)実習台(診療設備・ファントム)の使用法を理解し、実施する。 3)実習器具を使用する。 4)診療姿勢を取る。	実習書:器材検査(P3-9)診療姿勢(11-13)	0.5時間	D-1-①、③ E-3-3)-(1)-④、⑥
第2回	4/10(月)	4時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	診療設備(ファントム)・器具・器械の使用法を習得する。	1)実習に使用する器具、材料を選ぶ。 2)実習台(診療設備・ファントム)の使用法を理解し、実施する。 3)実習器具を使用する。 4)診療姿勢を取る。	実習書:器材検査(P3-9)診療姿勢(P11-13)	0.5時間	D-1-①、③ E-3-3)-(1)-④、⑥

第3回	4/17(月)	3時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	診療設備(ファントム)・器具・器械の使用法を習得する。 エアータービンによる切削法を理解する。	1) 実習に使用する器具、材料を選ぶ。 2) 実習台(診療設備・ファントム)の使用法を理解し、実施する。 3) 実習器具を使用する。 4) 診療姿勢を取る。 5) 直達法、鏡視法により十字窩洞を切削する。	実習書: 診療姿勢(P11-13) 十字窩洞形成(P15-17)	0.5時間	D-1-①、③ E-3-3)-(1)-④、⑥
第4回	4/17(月)	4時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	ガラスアイオノマーセメント修復を習得する。	1) 根面齲蝕における窩洞の形成を実施する。 2) 回転切削器具を用いてう蝕除去を実施する。 3) グラスアイオノマーセメント充填(接着システムを含む)を実施する。 4) 仕上げ研磨を実施する。	実習書: 根面う蝕に対するガラスアイオノマーセメント修復(P19-27)	0.5時間	E-3-3)-(1)-①、②、③、⑥ F-3-3)-①
第5回	4/24(月)	3時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	5級コンポジットレジン修復の窩洞形成を習得する。	1) 5級コンポジット・レジン修復窩洞を形成する。 2) 回転切削器具を用いてう蝕除去を実施する。 2) 適切な窩縁形態を付与する。	実習書: 5級コンポジットレジン修復(P29-39)	0.5時間	E-3-3)-(1)-①、②、③、⑥ F-3-3)-①
第6回	4/24(月)	4時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	5級コンポジットレジン修復を習得する。	1) 簡易防湿を実施する。 2) 接着システムを理解し、適切な歯面処理を実施する。 3) 窩洞にコンポジットレジンを緊密に充填する。 4) 光照射器を用い適切な光照射を実施する。 5) 形態修正、仕上げ研磨を実施する。	実習書: 5級コンポジットレジン修復(P29-39)	0.5時間	E-3-3)-(1)-①、②、③、⑧ F-3-3)-①
第7回	5/1(月)	3時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	1級コンポジットレジン修復の窩洞形成を習得する。	1) 1級コンポジット・レジン修復窩洞を形成する。 2) う蝕検知液を用いてう蝕除去を実施する。 2) 回転切削器具を用いてう蝕除去を実施する。 3) 適切な窩縁形態を付与する。	実習書: 1級コンポジットレジン修復(P35-43)	0.5時間	E-3-3)-(1)-①、②、③、⑧ F-3-3)-①
第8回	5/1(月)	4時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	1級コンポジットレジン修復を習得する。	1) ラバーダム防湿を実施する。 2) 接着システムを理解し、適切な歯面処理を実施する。 3) 窩洞にコンポジットレジンを緊密に充填する。 4) 光照射器を用い適切な光照射を実施する。 5) 咬合調整、形態修正、仕上げ研磨を実施する。	実習書: 1級コンポジットレジン修復(P35-43)	0.5時間	E-3-3)-(1)-①、②、③、⑧ F-3-3)-①
第9回	5/8(月)	3時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	3級コンポジットレジン修復の窩洞形成を習得する。	1) 3級コンポジット・レジン修復窩洞を形成する。 2) シェードガイドを用いてシェードテイキングを実施する。 3) 回転切削器具を用いてう蝕除去を実施する。 4) 適切な窩縁形態を付与する。	実習書: 3級コンポジットレジン修復(P51-63)	0.5時間	E-3-3)-(1)-①、③、⑤、⑥ F-3-3)-①
第10回	5/8(月)	4時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	3級コンポジットレジン修復を習得する。	1) 簡易防湿を実施する。 2) プラスチックストリップスを用いて隔壁、歯間分離を実施する。 3) 接着システムを理解し、適切な歯面処理を実施する。 4) 窩洞にコンポジットレジンを緊密に充填する。 5) 咬合調整、形態修正、仕上げ研磨を実施する。	実習書: 3級コンポジットレジン修復(P51-63)	0.5時間	E-3-3)-(1)-①、③、④、⑤、⑥ F-3-3)-①

第11回	5/15(月)	3時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	2級コンポジットレジン修復の窩洞形成を習得する。	1)2級コンポジット・レジン修復窩洞を形成する。 2)回転切削器具を用いてう蝕除去を実施する。 3)適切な窩縁形態を付与する。	実習書:2級コンポジットレジン修復(P65-72)	0.5時間	E-3-3)-(1)-①、 ③、⑤、⑥ F-3-3)-①
第12回	5/15(月)	4時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	2級コンポジットレジン修復を習得する。	1)簡易防湿を実施する。 2)マトリックスシステムを用いた隔壁、歯間分離を実施する。 3)接着システムを理解し、適切な歯面処理を実施する。 4)窩洞にコンポジットレジンを緊密に充填する。 5)咬合調整、形態修正、仕上げ研磨を実施する。	実習書:2級コンポジットレジン修復(P65-72)	0.5時間	E-3-3)-(1)-①、 ③、④、⑦ F-3-4)-⑥
第13回	5/22(月)	3時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	Tofflemire式リテーナーを用いた隔壁法を理解する。	1)Tofflemire式リテーナーの操作・使用方法を理解し、実施する。 2)指定された歯に装着する。 3)ウェッジ挿入を実施する。 4)装着状態を確認する。	実習書:隔壁法(P73-75)	0.5時間	E-3-3)-(1)-④ D-1-③、D-2- ①、②
第14回	5/22(月)	4時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	ファントム実習における直接修復実習製作物を評価する。	1)ガラスイオノマーセメント修復を完了する。 2)コンポジットレジン修復を完了する。		0.5時間	E-3-3)-(1)-①、 ②、③、④、⑥、 ⑧ F-3-3)-①
第15回	5/29(月)	3時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	メタルインレー修復の窩洞形成を習得する。	1)メタルインレー窩洞(Black2級)の形成を実施する。 2)裏層法を実施する。	実習書:2級メタルインレー修復(P77-95)	0.5時間	E-3-3)-(1)-①、 ③、④、⑤、⑥ F-3-3)-①
第16回	5/29(月)	4時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	メタルインレー修復の印象採得、仮封操作を習得する。	1)インレー体を模型歯に試適する。 2)コンタクトの調整を実施する。 3)咬合調整を実施する。 4)セメント合着を実施する。	実習書:2級メタルインレー修復(P77-95)	0.5時間	E-3-3)-(1)-⑧ F-3-3)-①
第17回	6/5(月)	3時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	メタルインレー修復の印象採得、仮封操作を習得する。	1)インレー体を模型歯に試適する。 2)コンタクトの調整を実施する。 3)咬合調整を実施する。 4)セメント合着を実施する。	実習書:2級メタルインレー修復(P77-95)	0.5時間	E-3-3)-(1)-⑧ F-3-3)-①
第18回	6/5(月)	4時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	メタルインレー修復における技工指示書の書き方を習得する。	1)コンポジットレジンインレー窩洞(Black2級)の形成を実施する。	実習書:2級メタルインレー修復(P77-95)	0.5時間	E-3-3)-(1)-①、 ②、③、⑥

第19回	6/12(月)	3時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	コンポジットレジンインレー修復における窩洞形成を習得する。	1)コンポジットレジンインレー窩洞(Black2級)の形成を実施する。 2)接着システムを用いて、レジンコーティング法を実施する。	実習書:2級CRインレー修復(P97-109)	0.5時間	E-3-3)-(1)-①、 ②、③、⑥
第20回	6/12(月)	4時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	コンポジットインレー修復におけるインレー体の接着性レジセメントを用いた装着を理解する。	1)インレー体の試適を実施する。 2)隣接面の調整を実施する。 3)レジンインレーの内面処理を適切実施する。 4)歯面処理を適切に実施する。 5)接着性レジセメントを用いてインレー体を装着する。 6)咬合調整、研磨を実施する。	実習書:2級CRインレー修復(P97-109)	0.5時間	E-3-3)-(1)-①、 ②、③、④、⑥、 ⑧ F-3-3)-①
第21回	6/19(月)	3時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	口腔内状態の記録を習得する。各種レポート課題の項目を理解する。	1)患者にこれから行うことを伝える。 2)口腔内状態を診療録に記載する。 3)清潔に配慮した操作を実施する。 4)患者の痛みや不快感に配慮した操作を実施する。 5)安全性に配慮した操作を実施する。	教科書:検査・診断・治療方針(P12-22)	0.5時間	E-1-1)-① F-2-1)-①
第22回	6/19(月)	4時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	口腔内状態の記録を習得する。各種レポート課題の項目を理解する。	1)患者にこれから行うことを伝える。 2)口腔内状態を診療録に記載する。 3)清潔に配慮した操作を実施する。 4)患者の痛みや不快感に配慮した操作を実施する。 5)安全性に配慮した操作を実施する。	教科書:検査・診断・治療方針(P12-22)	0.5時間	E-1-1)-① F-2-1)-①
第23回	6/26(月)	3時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	ファントム実習における直接修復、間接修復を習得し、実習製作物を評価する。	1)ガラスイオノマーセメント修復を完了する。 2)コンポジットレジン修復を完了する。 3)メタルインレー修復を完了する。 4)コンポジットレジンインレー窩洞の形成を完了する。		0.5時間	E-3-3)-(1)-①、 ②、③、④、⑥、 ⑧ F-3-3)-①
第24回	6/26(月)	4時限	二階堂 大橋 日下部 村瀬 清水 鶴田 新谷 他	ファントム実習における直接修復、間接修復を習得し、実習製作物を評価する。	1)ガラスイオノマーセメント修復を完了する。 2)コンポジットレジン修復を完了する。 3)メタルインレー修復を完了する。 4)コンポジットレジンインレー窩洞の形成を完了する。		0.5時間	E-3-3)-(1)-①、 ②、③、④、⑥、 ⑧ F-3-3)-①

9 歯内療法学

ナンバリング	HAO-3-04	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	河野 哲(◎)、瀧谷佳晃(◎)、田中雅士(◎)、長谷川智哉(◎)、木方一貴(◎)		
授業概要	歯内療法学は、歯の硬組織疾患をはじめ、歯髄・根尖性歯周組織疾患の診査・診断、臨床症状や治療法を理解し実践することである。そのためには、基礎となる歯と歯髄の構造と機能を習得し、歯髄疾患と根尖性歯周組織疾患の診断と治療を行うために必要な、診査・検査および病因・病態に関する知識を習得する。また、一連の根管治療や根管充填の意義や必要性、術式を理解するとともに、根未完成歯に対する治療法、歯根吸収、歯の外傷や外科的歯内療法、変色歯の漂白や歯内療法を行う上での安全対策、歯内-歯周疾患を理解する。		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	○歯科医師として必要な倫理観や人間性を身につけるとともに、幅広い知識と豊かな教養そして社会性を有している。 ○歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。 ○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。 ○研究心と論理的思考能力を持って日々進歩する歯科医学・歯科医療を常に研鑽し、歯科医療の発展のために生涯にわたり自らの歯科医療の知識と技術の向上を図ることができる。		
到達目標	① 歯髄疾患および根尖性歯周疾患について理解する。 ② 歯髄疾患および根尖性歯周疾患の検査と診断法について理解し、説明できる。 ③ 診断に基づいた治療方針および処置方法について理解し、説明できる。 ④ 歯根の病的吸収、外傷歯、変色歯の漂白、歯内-歯周疾患および歯内療法における安全対策について理解し、説明できる。 ⑤ 若年者および高齢者に対する歯内療法の特徴について理解し、説明できる。		
教育手法	講義、Moodle		
履修の条件・注意事項	講義1週前にMoodleにおいて講義資料を掲載するので、事前学修に役立てるとともに、履修範囲の教科書精読が望ましい。		
教科書	『歯内治療学 第5版』(医歯薬出版)		
参考書	『新歯内療法学サイドリーダー 第3版』(学建書院) 『エンドドンティクス 第6版』(永末書店)		
オフィスアワー	月曜日～金曜日 16時30分～19時 河野教授室(河野教授)、研究室(瀧谷准教授、田中講師、長谷川助教、木方助教、堺助教、赤堀助教、加藤助教) ただし、会議や出張時は除く。		
学生の意見等からの気づき	意見・疑問等は直接担当教員まで連絡、またはMoodleメッセージ機能を利用するよう指示。また、気づきなどは次回講義またはMoodleに反映し、漏れがないようにする。また、講義担当者による講義スタイルの違いが無いよう、様々な工夫を凝らしつつ、歯内療法学の講義運営方針を明確にする。		
評価方法	3回実施する小テストの平均が70%以上で、定期試験の資格を与える。		
フィードバック方法	講義の最後に、確認テストをMoodleにて実施。小テストの結果次第でフォローアップ講義実施予定。		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	9/7(木)	3時限	河野	歯内療法学の目的と意義、歴史を理解する。	歯内療法学の定義、目的と意義を説明できる。	事前:教科書p1 事後:ノート確認	10分	
				歯・歯周組織の構造と機能を理解する。	歯の硬組織の構造と発生を説明できる。	事前:教科書p1～4 事後:ノート確認	20分	E-3-1)-② E-3-1)-④

第2回	9/7(木)	4時限	河野	歯・歯周組織の構造と機能を理解する。	歯髄の構造と機能を説明できる。	事前:教科書p7～8 事後:ノート確認	30分	E-3-1)-⑤
				歯周組織の構造と機能を説明できる。	事前:教科書p9～10 事後:ノート確認		E-3-1)-⑥	
				歯根と歯髄腔の形態と変化を説明できる。	事前:教科書p10～14 事後:ノート確認		C-3-3)-②	
							E-2-3)-④	
E-3-1)-②								
E-3-1)-④								
第3回	9/8(金)	1時限	田中	歯の硬組織疾患を理解する。	歯と歯髄腔の形態異常を説明できる。	事前:教科書p15～20 事後:ノート確認	30分	E-3-1)-②
				歯の形成不全を説明できる。	事前:教科書p20～21 事後:ノート確認		E-3-1)-③	
				歯の損傷を説明できる。	事前:教科書p21～22 事後:ノート確認		E-3-2)-①	
				齲蝕症を説明できる。	事前:教科書p22～23 事後:ノート確認		E-3-2)-①	
				外傷を説明できる。	事前:教科書p23 事後:ノート確認		E-2-4)-(2)-①	
第4回	9/8(金)	2時限	田中	歯の硬組織疾患を理解する。	象牙質知覚過敏症を説明できる。	事前:教科書p23～26 事後:ノート確認	20分	E-3-2)-①
								E-3-3)-(1)-①
第5回	9/14(木)	3時限	田中	歯内治療における基本術式の概要を理解する。	診査・検査を説明できる。	事前:教科書p27～39 事後:ノート確認	30分	A-3-①
								A-3-②
								A-3-③
								E-1-1)-①
								E-1-1)-②
								E-1-1)-③
								E-1-1)-④
								E-1-1)-⑤
								E-1-1)-⑥
								E-1-1)-⑦
								E-1-2)-⑦
E-3-3)-(2)-①								
第6回	9/14(木)	4時限	田中	歯内治療における基本術式の概要を理解する。	無菌的処置法を説明できる。	事前:教科書p39～46 事後:ノート確認	30分	C-4-1)-④
								E-1-5)-⑥
								E-1-5)-⑦
								E-1-5)-⑧

第7回	9/15(金)	1時限	河野	歯内治療における基本術式の概要を理解する。	麻酔法(除痛法)を説明できる。	事前:教科書p46～49 事後:ノート確認	20分	E-1-4)-(3)-①
第8回	9/15(金)	2時限	河野	歯髄疾患を理解する。	歯髄疾患の概要を説明する。	事前:教科書p51～52 事後:ノート確認	30分	E-3-2)-(2)-②
					歯髄疾患の原因を説明する。	事前:教科書p52～54 事後:ノート確認		E-3-2)-(2)-②
第9回	9/21(木)	3時限	河野	歯髄疾患を理解する。	歯髄疾患の分類と臨床症状を説明する。	事前:教科書p54～61 事後:ノート確認	30分	E-3-3)-(2)-①
第10回	9/21(木)	4時限	河野	歯髄疾患を理解する。	歯髄疾患の特徴と経過を説明する。	事前:教科書p61～62 事後:ノート確認	30分	E-3-2)-(2)-②
					歯髄疾患の診断を説明する。	事前:教科書p62～67 事後:ノート確認		E-3-3)-(2)-①
					歯髄疾患の治療方針を説明する。	事前:教科書p67～71 事後:ノート確認		E-3-3)-(2)-①
第11回	9/22(金)	1時限	河野	歯髄疾患を理解する。	歯髄疾患の治療法を説明する。	事前:教科書p71～84 事後:ノート確認	30分	E-3-3)-(2)-①
第12回	9/22(金)	2時限	河野	歯髄疾患を理解する。	歯髄疾患の治療法を説明する。	事前:教科書p71～84 事後:ノート確認	30分	E-3-3)-(2)-①
第13回	9/28(木)	3時限		小テスト①				
第14回	9/28(木)	4時限	田中	根尖性歯周組織疾患を理解する。	根尖性歯周疾患の概要を説明する。	事前:教科書p85～88 事後:ノート確認	30分	E-3-2)-(2)-②
					根尖性歯周疾患の原因を説明する。	事前:教科書p89～92 事後:ノート確認		E-3-2)-(2)-②
第15回	9/29(金)	1時限	田中	根尖性歯周組織疾患を理解する。	根尖性歯周疾患の分類と臨床症状を説明する。	事前:教科書p93～99 事後:ノート確認	30分	E-3-3)-(2)-①
第16回	9/29(金)	2時限	田中	根尖性歯周組織疾患を理解する。	根尖性歯周疾患の特徴と経過を説明する。	事前:教科書p99～100 事後:ノート確認	30分	E-3-3)-(2)-①
第17回	10/5(木)	3時限	田中	根尖性歯周組織疾患を理解する。	根尖性歯周疾患の診査・診断を説明する。	事前:教科書p100～107 事後:ノート確認	30分	E-3-3)-(2)-①
					根尖性歯周疾患の治療方針を説明する。	事前:教科書p107～114 事後:ノート確認		E-3-3)-(2)-①
第18回	10/5(木)	4時限	河野	根管処置を理解する。	髄室開拓を説明する。	事前:教科書p115～121 事後:ノート確認	30分	E-3-3)-(2)-①
第19回	10/6(金)	1時限	河野	根管処置を理解する。	根管長測定法と作業長の決定を説明できる。	事前:教科書p121～123 事後:ノート確認	15分	E-3-3)-(2)-①

第20回	10/6(金)	2時限	河野	根管処置を理解する。	根管形成を説明できる。	事前:教科書p124 ~134 事後:ノート確認	30分	E-3-3)-(2)-①
第21回	10/12(木)	1時限	河野	根管処置を理解する。	根管形成を説明できる。	事前:教科書p124 ~134 事後:ノート確認	30分	E-3-3)-(2)-①
第22回	10/12(木)	2時限	河野	根管処置を理解する。	根管の化学的清掃を説明できる。	事前:教科書p135 ~138 事後:ノート確認	40分	E-3-3)-(2)-①
				根管の消毒(根管貼薬)を説明できる。	事前:教科書p138 ~142 事後:ノート確認	E-3-3)-(2)-①		
第23回	10/13(金)	1時限	河野	根管処置を理解する。	根管内容物の検査を説明できる。	事前:教科書p143 ~144 事後:ノート確認	30分	E-3-3)-(2)-①
				根管治療の補助療法を説明できる。	事前:教科書p144 ~145 事後:ノート確認	E-3-3)-(2)-①		
				再根管治療を説明できる。	事前:教科書p145 ~150 事後:ノート確認	E-3-3)-(2)-①		
第24回	10/13(金)	2時限	木方	根管充填を理解する。	根管充填の目的と意義を説明できる。	事前:教科書p151 事後:ノート確認	20分	E-3-3)-(2)-②
				根管充填の時期を説明できる。	事前:教科書p151 ~152 事後:ノート確認	E-3-3)-(2)-②		
				根管充填材の所要性質を説明できる。	事前:教科書p152 事後:ノート確認	D-2-⑥ E-3-3)-(2)-②		
第25回	10/13(金)	3時限	木方	根管充填を理解する。	根管充填材の種類を説明できる。	事前:教科書p153 ~160 事後:ノート確認	40分	D-2-⑥ E-3-3)-(2)-②
				根管充填の術式を説明できる。	事前:教科書p160 ~170 事後:ノート確認	E-3-3)-(2)-②		
第26回	10/13(金)	4時限	木方	根管充填を理解する。	即時根管充填法を説明できる。	事前:教科書p170 ~171 事後:ノート確認	30分	E-3-3)-(2)-②
				根管充填後の治癒経過を説明できる。	事前:教科書p171 ~176 事後:ノート確認	E-3-3)-(2)-④		
第27回	10/27(金)	1時限		小テスト②				
第28回	10/27(金)	2時限	田中	緊急処置を理解する。	疼痛に対する緊急処置を説明できる。	事前:教科書p177 事後:ノート確認	30分	E-3-3)-(2)-①
				急性歯髄炎の緊急処置を説明できる。	事前:教科書p178 ~179 事後:ノート確認	E-3-3)-(2)-①		
				急性根尖性歯周炎の緊急処置を説明できる。	事前:教科書p180 ~182 事後:ノート確認	E-3-3)-(2)-①		
第29回	11/17(金)	1時限	河野	根未完成歯の治療を理解する。	アペキソゲネーシスを説明できる。	事前:教科書p183 ~184 事後:ノート確認	30分	E-4-2)-④ E-4-2)-⑤
				アペキシフィケーションを説明できる。	事前:教科書p184 ~186 事後:ノート確認	E-4-2)-④ E-4-2)-⑤		
				アペキソゲネーシスとアペキシフィケーションの適応症例を説明できる。	事前:教科書p187 ~188 事後:ノート確認	E-4-2)-④ E-4-2)-⑤		
				歯根の病的吸収を理解する。	内部吸収を説明できる。	事前:教科書p191 ~192 事後:ノート確認 事前:教科書p192 ~198 事後:ノート確認		E-3-3)-(2)-⑦ E-3-3)-(2)-⑦

第30回	11/17(金)	2時限	河野	歯内-歯周疾患を理解する。	歯内疾患と歯周疾患の関連性を説明する。	事前:教科書p239~240 事後:ノート確認	30分	E-3-3)-(2)-①
					歯内-歯周疾患の分類を臨床症状を説明する。	事前:教科書p240~242 事後:ノート確認		E-3-3)-(2)-①
					歯内-歯周疾患の診断と治療を説明する。	事前:教科書p242~247 事後:ノート確認		E-3-3)-(2)-①
第31回	11/24(金)	1時限	木方	外傷歯の診断と処置を理解する。	外傷歯の分類を説明できる。	事前:教科書p199~201 事後:ノート確認	30分	E-2-4)-(2)-①
					外傷歯の診査・検査を説明できる。	事前:教科書p201~203 事後:ノート確認		E-2-4)-(2)-② E-2-4)-(2)-③
					外傷歯の治療を説明できる。	事前:教科書p203~209 事後:ノート確認		E-2-4)-(2)-② E-2-4)-(2)-③
第32回	11/24(金)	2時限	長谷川	外科的歯内治療を理解する。	外科的歯内治療の適応症と種類を説明できる。	事前:教科書p211~212 事後:ノート確認	15分	E-3-3)-(2)-⑤
第33回	12/1(金)	1時限	長谷川	外科的歯内治療を理解する。	外科的歯内治療の適応症と種類を説明できる。	事前:教科書p211~212 事後:ノート確認	30分	E-3-3)-(2)-⑤
第34回	12/1(金)	2時限	長谷川	外科的歯内治療を理解する。	外科的歯内治療の術式および治癒機転と予後を説明できる。	事前:教科書p212~223 事後:ノート確認	30分	E-3-3)-(2)-⑤
第35回	12/8(金)	1時限	長谷川	歯科用実体顕微鏡を応用した歯内療法を理解する。	歯科用実体顕微鏡による検査を説明できる。	事前:教科書p225~227 事後:ノート確認	30分	E-3-3)-(2)-⑤
					歯科用実体顕微鏡による処置の特徴を説明できる。	事前:教科書p227~228 事後:ノート確認		E-3-3)-(2)-⑤
					診療ポジションを説明できる。	事前:教科書p228~229 事後:ノート確認		E-3-3)-(2)-⑤
					適応症を説明できる。	事前:教科書p229~234 事後:ノート確認		E-3-3)-(2)-⑤
				変色歯の漂白を理解する。	変色歯の漂白を説明できる。	事前:教科書p235~238 事後:ノート確認	30分	E-3-3)-(2)-⑥
第36回	12/8(金)	2時限	瀧谷	高齢者の歯内治療を理解する。	高齢者の心身における特徴を説明できる。	事前:教科書p249~250 事後:ノート確認	30分	E-5-1)-①
					全身疾患と歯内治療を説明できる。	事前:教科書p250~252 事後:ノート確認		E-5-1)-①
					高齢者・有病者と成人健常者との歯内治療の違いを説明できる。	事前:教科書p253 事後:ノート確認		E-5-1)-①
					高齢者の歯・歯髄・歯周組織と歯内治療を説明できる。	事前:教科書p253~257 事後:ノート確認		C-3-3)-② E-2-3)-④ E-3-3)-(2)-①
					根管処置後の歯冠修復を理解する。	コロナルリーケージを説明できる。		事前:教科書p259~260 事後:ノート確認
				支台築造を説明できる。	事前:教科書p260~264 事後:ノート確認	20分	E-3-4)-(1)-③	
第37回	12/15(金)	1時限		小テスト③				

第38回	12/15(金)	2時限	河野	歯内治療における安全対策を理解する。	髓室壁・根管壁の穿孔を説明できる。	事前:教科書p265～269 事後:ノート確認	40分	E-3-3)-(2)-③
					治療用小器具の根管内破折を説明できる。	事前:教科書p269～272 事後:ノート確認		E-3-3)-(2)-③
					治療用器具の誤飲と気管内吸引を説明できる。	事前:教科書p272～273 事後:ノート確認		E-3-3)-(2)-③
					皮下気腫を説明できる。	事前:教科書p273～274 事後:ノート確認		E-3-3)-(2)-③
第39回	12/22(金)	3時限	河野	歯内治療における安全対策を理解する。	根管処置後の根尖性歯周炎を説明できる。	事前:教科書p274～275 事後:ノート確認	20分	E-3-3)-(2)-③
					歯性上顎洞炎を説明できる。	事前:教科書p275～276 事後:ノート確認		E-3-3)-(2)-③
					抜髄・根管処置時の全身管理を説明できる。	事前:教科書p276～278 事後:ノート確認		E-3-3)-(2)-③
					根管充填材の溢出を説明できる。	事前:教科書p278 事後:ノート確認		E-3-3)-(2)-③
					根管治療薬剤による化学的損傷を説明できる。	事前:教科書p278～279 事後:ノート確認		E-3-3)-(2)-③
					使用器具による組織損傷を説明できる。	事後:ノート確認		

10 歯内療法学実習

ナンバリング	HAO-3-05	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	河野 哲(◎)、瀧谷佳晃(◎)、田中雅士(◎)、長谷川智哉(◎)、木方一貴(◎)、堺ちなみ(◎)、赤堀裕樹(◎)、加藤友也(◎)		
授業概要	歯内療法学実習では、歯内療法学で習得した知識をもとに、マネキンシミュレーターの顎模型に装着した人工歯を使って、基本的治療技術を習得し、共用試験実技試験や臨床実習での患者への対応を身につけることを目的とする。		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	○歯科医師として必要な倫理観や人間性を身につけるとともに、幅広い知識と豊かな教養そして社会性を有している。 ○歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。 ○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。		
到達目標	① ラバーダム防湿について理解し、実践できる。 ② 髄室開拓について理解し、実践できる。 ③ 根管長測定について理解し、実践できる。 ④ 根管拡大・形成について理解し、実践できる。 ⑤ 根管清掃、根管貼薬および仮封について理解し、実践できる。 ⑥ 根管充填について理解し、実践できる。		
教育手法	事前に実習帳と教科書を読み、実習日までにレポートを作成してくるよう課題を出している。実習毎に、その日に行う内容をスライドと動画で説明を行う。小テストを行う。ステップ毎にインストラクターにチェックを受け検印を受ける。		
履修の条件・注意事項	実習書履修範囲の精読の上、事前レポートを作成し、次回実習時の口頭試問に備える。		
教科書	『NOTES FOR ENDODONTIC PRACTICE』(実習帳)		
参考書	『歯内治療学 第5版』(医歯薬出版) 『エンドドンティクス 第6版』(永末書店) 『新歯内療法学サイドリーダー 第3版』(学建書院)		
オフィスアワー	月曜日～金曜日 16時30分～19時 河野教授室(河野教授)、研究室(瀧谷准教授、田中助教、長谷川助教、木方助教、堺助教、赤堀助教、加藤助教) ただし、会議や出張時は除く。		
学生の意見等からの気づき	意見・疑問等は直接担当教員まで連絡、またはMoodleメッセージ機能を利用するよう指示。術式、操作法を含め、個人個人指導できる工夫を行う。		
評価方法	実習スリップ、Moodle小テスト、OSCE形式の実技試験を総合判断し評価を行う。		
フィードバック方法	Moodle小テストによる復習、および口頭試問による知識の確認を行う。		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回 第2回	10/12(木)	3時限 4時限	長谷川	医療面接を理解する。	適切な身だしなみ、言葉づかい、礼儀正しい態度で患者に接することができる。	実習帳	2時間	F-2-1)-①
					医療面接における基本的なコミュニケーションができる。			F-2-1)-②
					患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。			F-2-1)-③
				ラバーダム防湿を理解する。	ラバーダム防湿用器具の選択ができる			F-3-1)-③
					ラバーダム防湿ができる。			F-3-1)-③
					治療内容が説明できる。			F-2-1)-⑦
					患者への配慮ができる。			F-2-1)-④
	清潔不潔の区別ができる。	F-1-2)-②						

第3回 第4回	10/19(木)	3時限 4時限	長谷川	髓室開拡を理解する。	髓室開拡の外形線が設定できる。	実習帳	2時間	F-3-3)-③
					髓室開拡器具が選択できる。			F-3-3)-③
					髓室開拡ができる			F-3-3)-③
					治療内容が説明できる。			F-2-1)-⑦
					患者への配慮ができる。			F-2-1)-④
					清潔不潔の区別ができる。			F-1-2)-②
第5回 第6回	10/26(木)	3時限 4時限	長谷川	髓室開拡を理解する。	髓室開拡の外形線が設定できる。	実習帳	2時間	F-3-3)-③
					髓室開拡器具が選択できる。			F-3-3)-③
					髓室開拡ができる。			F-3-3)-③
					治療内容が説明できる。			F-2-1)-⑦
					患者への配慮ができる。			F-2-1)-④
					清潔不潔の区別ができる。			F-1-2)-②
				根管拡大・形成を理解する。	根管拡大・形成に必要な器具が選択できる。			F-3-3)-③
					根管拡大・形成ができる。			F-3-3)-③
					治療内容が説明できる。			F-2-1)-⑦
					患者への配慮ができる。			F-2-1)-④
					清潔不潔の区別ができる。			F-1-2)-②
				根管清掃を理解する。	根管清掃剤が選択できる。			F-3-3)-③
					根管清掃操作ができる。			F-3-3)-③
					治療内容が説明できる。			F-2-1)-⑦
					患者への配慮ができる。			F-2-1)-④
					清潔不潔の区別ができる。			F-1-2)-②
				根管乾燥を理解する。	根管の乾燥ができる。			F-3-3)-③
					治療内容が説明できる。			F-2-1)-⑦
					患者への配慮ができる。			F-2-1)-④
					清潔不潔の区別ができる。			F-1-2)-②
				根管内貼薬を理解する。	根管消毒剤が選択できる。			F-3-3)-③
					治療内容が説明できる。			F-2-1)-⑦
					患者への配慮ができる。			F-2-1)-④
					清潔不潔の区別ができる。			F-1-2)-②

第7回 第8回	11/2(木)	3時限 4時限	長谷川	髓室開拓を理解する。	髓室開拓の外形線が設定できる。	実習帳	2時間	F-3-3)-③			
					髓室開拓器具が選択できる。			F-3-3)-③			
					髓室開拓ができる。			F-3-3)-③			
					治療内容が説明できる。			F-2-1)-⑦			
					患者への配慮ができる。			F-2-1)-④			
				清潔不潔の区別ができる。	F-1-2)-②						
				根管拡大・形成を理解する。	根管拡大・形成に必要な器具が選択できる。	実習帳		2時間	F-3-3)-③		
					根管拡大・形成ができる。				F-3-3)-③		
					治療内容が説明できる。				F-2-1)-⑦		
					患者への配慮ができる。				F-2-1)-④		
					清潔不潔の区別ができる。				F-1-2)-②		
				根管清掃を理解する。	根管清掃剤が選択できる。	実習帳			2時間	F-3-3)-③	
					根管清掃操作ができる。					F-3-3)-③	
					治療内容が説明できる。					F-2-1)-⑦	
					患者への配慮ができる。					F-2-1)-④	
					清潔不潔の区別ができる。					F-1-2)-②	
				根管乾燥を理解する。	根管の乾燥ができる。	実習帳				2時間	F-3-3)-③
					治療内容が説明できる。						F-2-1)-⑦
					患者への配慮ができる。						F-2-1)-④
					清潔不潔の区別ができる。						F-1-2)-②
根管内貼薬を理解する。	根管消毒剤が選択できる。	実習帳	2時間		F-3-3)-③						
	治療内容が説明できる。			F-2-1)-⑦							
	患者への配慮ができる。			F-2-1)-④							
	清潔不潔の区別ができる。			F-1-2)-②							

第9回 第10回	11/9(木)	3時限 4時限	長谷川	髓室開拓を理解する。	髓室開拓の外形線が設定できる。	実習帳	2時間	F-3-3)-③
					髓室開拓器具が選択できる。			F-3-3)-③
					髓室開拓ができる。			F-3-3)-③
					治療内容が説明できる。			F-2-1)-⑦
					患者への配慮ができる。			F-2-1)-④
				清潔不潔の区別ができる。	F-1-2)-②			
				根管拡大・形成を理解する。	根管拡大・形成に必要な器具が選択できる。			F-3-3)-③
					根管拡大・形成ができる。			F-3-3)-③
					治療内容が説明できる。			F-2-1)-⑦
					患者への配慮ができる。			F-2-1)-④
					清潔不潔の区別ができる。			F-1-2)-②
				根管清掃を理解する。	根管清掃剤が選択できる。			F-3-3)-③
					根管清掃操作ができる。			F-3-3)-③
					治療内容が説明できる。			F-2-1)-⑦
					患者への配慮ができる。			F-2-1)-④
					清潔不潔の区別ができる。			F-1-2)-②
				根管乾燥を理解する。	根管の乾燥ができる。			F-3-3)-③
					治療内容が説明できる。			F-2-1)-⑦
					患者への配慮ができる。			F-2-1)-④
					清潔不潔の区別ができる。			F-1-2)-②
根管内貼薬を理解する。	根管消毒剤が選択できる。	F-3-3)-③						
	治療内容が説明できる。	F-2-1)-⑦						
	患者への配慮ができる。	F-2-1)-④						
	清潔不潔の区別ができる。	F-1-2)-②						
第11回 第12回	11/16(木)	3時限 4時限	長谷川	根管充填を理解する。	根管充填用器具が準備できる。	実習帳	2時間	F-3-3)-③
					根管充填操作ができる。			F-3-3)-③
					側方加圧根管充填ができる。			F-3-3)-③
					治療内容が説明できる。			F-2-1)-⑦
					患者への配慮ができる。			F-2-1)-④
					清潔不潔の区別ができる。			F-1-2)-②

第13回 第14回	11/30(木)	3時限 4時限	長谷川	仮封を理解する。	仮封操作ができる。	実習帳	2時間	F-3-3)-③	
					治療内容が説明できる。			F-2-1)-⑦	
					患者への配慮ができる。			F-2-1)-④	
					清潔不潔の区別ができる。			F-1-2)-②	
				根管内細菌培養検査を理解する。	根管内細菌培養検査ができる。			F-2-2)-⑧	
第15回 第16回	12/7(木)	3時限 4時限	長谷川	根管充填を理解する。	根管充填用器具が準備できる。	実習帳	2時間	F-3-3)-③	
					根管充填操作ができる。			F-3-3)-③	
					側方加圧根管充填ができる。			F-3-3)-③	
					治療内容が説明できる。			F-2-1)-⑦	
					患者への配慮ができる。			F-2-1)-④	
					清潔不潔の区別ができる。			F-1-2)-②	
第17回 第18回	12/14(木)	3時限 4時限	長谷川	髓室開拡を理解する。	髓室開拡の外形線が設定できる。	実習帳	2時間	F-3-3)-③	
					髓室開拡器具が選択できる。			F-3-3)-③	
					髓室開拡ができる			F-3-3)-③	
					治療内容が説明できる。			F-2-1)-⑦	
					患者への配慮ができる。			F-2-1)-④	
					清潔不潔の区別ができる。			F-1-2)-②	
					髓室開拡の外形線が設定できる。			F-3-3)-③	
					髓室開拡器具が選択できる。			F-3-3)-③	
					髓室開拡ができる。			F-3-3)-③	
					治療内容が説明できる。			F-2-1)-⑦	
					患者への配慮ができる。			F-2-1)-④	
					清潔不潔の区別ができる。			F-1-2)-②	
					根管拡大・形成を理解する。			根管拡大・形成に必要な器具が選択できる。	F-3-3)-③
					根管拡大・形成ができる。			F-3-3)-③	
	治療内容が説明できる。	F-2-1)-⑦							
	患者への配慮ができる。	F-2-1)-④							
	清潔不潔の区別ができる。	F-1-2)-②							
第19回 第20回	12/21(木)	3時限 4時限	長谷川	実習試験 講評・表彰			2時間		

11 咬合学

ナンバリング	HAO-3-14	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	江尻貞一, 碓 哲崇, 藤原 周(◎), 都尾元宣(◎), 北井則行(◎), 石神 元(◎)		
授業概要	咀嚼、嚥下、構音に代表される顎口腔系の機能は、系を構成する歯・歯周組織、顎骨・顎関節およびこれらに付着する筋などの軟組織と、これらの器官に関与する神経系の機能統合によって営まれている。また、こうした顎口腔系諸組織の保全と機能回復が歯科治療の目的の一つともいえる。咬合学では、2年次までに修得した口腔解剖学、口腔生理学の中から顎口腔系構成要素についての知識を再確認、整理し、4年次にかけて修得する歯科補綴学、歯科矯正学分野から機能回復について必要となる基本的事項を選択して教示し、総論的に理解を深める。		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。 ○ 全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。 ○ 多様化する地域社会の歯科医療ニーズにきめ細やかに対応し、口腔ケア、在宅歯科診療や、地域包括ケアシステムなど多職種連携チーム医療をもとに、地域社会に貢献する歯科医療を実践できる高い臨床能力を身につけている。 ○ 研究心と論理的思考能力を持って日々進歩する歯科医学・歯科医療を常に研鑽し、歯科医療の発展のために生涯にわたり自らの歯科医療の知識と技術の向上を図ることができる。 		
到達目標	口腔解剖学ならびに口腔生理学で修得した顎口腔系に関する知識を再確認し、4年次にかけて修得する歯科補綴学、歯科矯正学分野の中から顎口腔系の機能回復に関連した知識と問題解決に対する応用力が身につくことを目標とする。		
教育手法	講義		
履修の条件・注意事項	3年生前期までに開講されていた咬合学に関する教科(口腔解剖学、口腔生理学、全部床義歯学)の知識は備えておくことが望ましい。		
教科書	『補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識』藍 稔 学建書院		
参考書	『分担解剖学1・2・3』金原出版 『基礎歯科生理学』医歯薬出版 『無歯顎補綴治療学』医歯薬出版 『歯学生のパーソナルデンチャー』医歯薬出版 『クラウンブリッジ補綴学』医歯薬出版 『歯科矯正学』医歯薬出版		
オフィスアワー	17:00～19:00 3号館2F 江尻教授室(江尻教授), 1号館3F 碓 教授室(碓教授), 都尾教授室(都尾教授), 石神教授室(石神教授), 北井教授室(北井教授) 8:00～19:00 月、火、水 1号館2F 藤原教授室(藤原教授)		
学生の意見等からの気づき	—		
評価方法	各教科20点(部分床義歯学と歯科矯正学は10点ずつ)計100点満点で、多肢選択または記述方式の試験を行い、その合計点で評価する。		
フィードバック方法	掲示		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	9/4(月)	1時限	碓	摂食機能に関わる咬合と咀嚼およびそれらに付随する生理学的事項を再確認し理解を深める。	咀嚼筋の機能を説明できる。	2年時に学習した咬合・咀嚼・顎運動の項目を復習しておくこと。	1時間	E-2-1)-③
					顎関節の構造と機能が説明できる。【各種顎位における顎関節の位置を含む。】	2年時に学習した咬合・咀嚼・顎運動の項目を復習しておくこと。		E-2-1)-⑥
					下顎の随意運動を説明できる。	2年時に学習した咬合・咀嚼・顎運動の項目を復習しておくこと。		E-2-1)-⑦
					咀嚼周期、咀嚼値と咀嚼能率、咬合力と咀嚼力を説明できる。	2年時に学習した咬合・咀嚼・顎運動の項目を復習しておくこと。		E-2-1)-⑧
					歯列と咬合を説明できる。【咬合接触、咬合様式を含む。】	2年時に学習した咬合・咀嚼・顎運動の項目を復習しておくこと。		E-2-2)-④

第2回	9/4(月)	2時限	裕	摂食機能に関わる咬合と咀嚼およびそれらに付随する生理学的事項を再確認し理解を深める。	咀嚼過程を説明できる。	2年時に学習した咀嚼・顎反射・舌の機能・嚥下・嘔吐の項目を復習しておくこと。	1時間	E-2-1)-⑧	
					咀嚼の制御機構(特に神経性調節)を説明できる。			E-2-1)-⑧	
					下顎反射を説明できる。			E-2-1)-⑦	
					顎舌反射を説明できる。			E-2-2)-③	
					嚥下の機序と生理学的特徴を説明できる。			E-2-1)-⑨	
					嚥下の機序と生理学的特徴を説明できる。			E-2-1)-⑨	
					嘔吐の機序と生理学的特徴を説明できる。			E-2-1)-⑩	
第3回	9/11(月)	1時限	江尻	咬合に関与する顎口腔系の骨を理解する。	咬合に関与する顎口腔系の骨を説明できる。	補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識 p10-13	1時間	E-2-1)-②	
				咀嚼筋と関連筋群を理解する。	咀嚼筋と関連筋群を説明できる。			補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識 p14-16	E-2-1)-③
				下顎運動と筋の関係を理解する。	下顎運動と筋の関係を説明できる。			補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識 p18	E-2-1)-③
第4回	9/11(月)	2時限	江尻	顎口腔系に関係する主な神経を理解する。	顎口腔系に関係する主な神経を説明できる。	補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識 p20-22	1時間	E-2-1)-⑤	
					顎口腔系.の神経筋機構を説明できる。			補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識 p23-25	E-2-1)-⑤
				顎関節の構造と運動を理解する。	顎関節の構造と運動を説明できる。	補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識 p26-27		E-2-1)-⑥	
				顎口腔系に関する動脈・静脈について理解する。	顎口腔系に関する動脈・静脈について説明できる。	補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識 p28-29		E-2-1)-④	
第5回	9/25(月)	1時限	藤原	補綴治療のための、顔、頭の形態について理解する。	頭蓋、上顎部、下顎部の骨を述べる。	補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識:p1~p9	1時間	E-2-1)-②	
					顔貌について述べる。			補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識:p1~p45	E-2-1)-②
					咀嚼筋、関連筋群および口腔に関連する筋について述べる。			E-1-1)-④	
					口腔の名称を述べる。			E-2-1)-③	
					顔面区分、顔と歯の形態を述べる。	補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識:p14~p21		E-2-2)-①	
					基準点、基準線、基準平面を述べる。			E-1-1)-①	
					補綴治療のための、口腔組織の形態と機能を理解する。	ニュートラルゾーンについて説明できる		補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識:p39~p45	E-3-4)-③
第6回	9/25(月)	2時限	藤原	発音と補綴学的応用について理解する。	発音について説明できる。	補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識:p56~p61	1時間	E-2-2)-⑧	
					発音障害について説明できる。				
					語音の分析法を理解する。				
					発音障害への補綴学対応を理解する。				
					発音の補綴学活用を説明できる。				
				補綴治療のための、下顎運動、下顎位および咬合を理解する。	下顎の基本運動および下顎の運動範囲および機能運動を述べる。	補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識:p64~p83		E-2-1)-⑧	
					下顎位について述べる。				
					咬頭嵌合位、中心位および下顎安静位について述べる。				
					咬合採得にかかわる下顎運動と下顎位について述べる。				
				補綴治療のための、咬合および咬合器を理解する。	義歯の咬合様式を述べる。	補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識:p88~p91			E-3-4)-(2)-⑩
	偏心咬合における咬合関係を述べる。	補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識:p84~p104	E-3-4)-(2)-⑩						

第7回	10/2(月)	2時限	藤原	全部床義歯による口腔機能回復を行うための顎口腔系の形態と機能の変化を理解する。	老化による顎口腔系の変化を述べる。	補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識:p105～p116	1時間	E-2-3)-④
					高齢者の特徴と補綴診療における問題を述べる。			E-5-1)-①
					歯の欠損に伴う顎口腔系の変化を述べる。			E-5-1)-①
第8回	10/16(月)	2時限	石神	顎間関係の記録(咬合採得)の基本を理解する。	顎間関係の記録法(咬合採得)を説明できる。	補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識:P64～P83ならびにMoodle提示資料	1時間	E-3-4)-(1)-⑤
								E-2-2)-④
第9回	11/20(月)	2時限	石神	咬合器の種類と特徴を理解する。	平均値咬合器と調節性咬合器の特徴を説明できる。下顎運動の観察時の基準を説明できる。	補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識:P92～P104ならびにMoodle提示資料	1時間	E-3-4)-(1)-⑩
第10回	12/4(月)	1時限	都尾	歯列の一部欠損による咬合異常を理解する。	歯列の一部欠損による咬合異常を説明できる。	歯学生のパーシャルデンチャーP13～P19	1時間	E-3-4)-(2)-①
				部分床義歯による咬合の回復について理解する。	歯の欠損に継発する障害について説明できる。			E-3-4)-(2)-⑩
					部分床義歯の咬合様式について説明できる。			歯学生のパーシャルデンチャーP45～P58
第11回	12/4(月)	2時限	北井	機能性不正咬合の診断を理解する。	機能性不正咬合の診断を説明できる。	配布講義資料による復習	30分	E-4-1)-③
				機能性反対咬合の矯正歯科治療を理解する。	機能性反対咬合の矯正歯科治療を説明できる。			E-4-1)-③
					機能性交叉咬合の矯正歯科治療を説明できる。			E-4-1)-③
第12回	1/11(水)	1時限	石神	咬合器の種類と特徴を理解する。	フェイスボウトランスファー、チェックバイト法と観察項目を説明できる。	補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識:P92～P104ならびにMoodle提示資料	1時間	E-3-4)-(1)-⑩ E-3-4)-(2)-⑧
第13回	1/11(水)	2時限	石神	補綴学的三大理想咬合を理解する。	理想咬合を説明できる。	補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識:P84～P91ならびにMoodle提示資料	1時間	E-2-2)-④
					有歯顎者の咬合様式を説明できる。			E-2-2)-④
第14回	1/11(水)	3時限	石神	上下顎大臼歯の咬頭対向関係を理解する。	上下顎大臼歯の咬頭対向関係を説明できる。	補綴臨床に必要な顎口腔の基礎知識:P84～P91ならびにMoodle提示資料	1時間	E-2-2)-④
					クラウンの製作方法、ワックスアップの実際を理解する。			クラウンの製作方法、ワックスアップの実際を説明できる。
第15回	1/11(水)	4時限	石神	まとめ講義、小テスト				

12 部分床義歯学

ナンバリング	HAO-3-08	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	都尾 元宣		
授業概要	<p>歯科医療は患者中心の医療システムへ、そして、QOL,EBM,多職種連携、インフォームド・コンセント、セカンドオピニオンなどに象徴される新しい医療の流れと、超高齢化社会を迎え人口構成が変化し歯科補綴への需要が高まる中、多様化した患者に対応した歯科補綴処置が望まれる。</p> <p>部分床義歯(局部床義歯、パーシャルデンチャー、Removable Partial Denture,R.P.D.)補綴の特徴および目的は「歯列の部分欠損とそれに伴って生じた歯周組織や歯槽突起の実質欠損を人工物で補うことを目的として、残存歯やインプラントを支台とする可撤性有床義歯を装着し術後管理する事」である。1欠損から13歯欠損にいたる多様な欠損の症例に適用され、口腔機能の賦活・回復・、審美性の回復・改善などに寄与し、患者の持つ歯の欠損から生じる困難な問題を解決し、「食べる喜び」や「生きる喜び」を提供できる歯科医師になることを希望している。</p>		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	<p>○歯科医師として必要な倫理観や人間性を身につけるとともに、幅広い知識と豊かな教養そして社会性を有している。</p> <p>○歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。</p> <p>○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。</p> <p>○多様化する地域社会の歯科医療ニーズにきめ細やかに対応し、口腔ケア、在宅歯科診療や、地域包括ケアシステムなど多職種連携チーム医療をもとに、地域社会に貢献する歯科医療を実践できる高い臨床能力を身につけている。</p>		
到達目標	<p>本講義では、部分床義歯の概念から義歯設計の理論および製作方法の根拠について解説し装着後の管理についても解説する。基本的に専門用語は「歯科補綴学専門用語集第4版」に準拠し、共用試験(CBT・OSCE)や国家試験の基礎を形成する。</p>		
教育手法	講義		
履修の条件・注意事項	講義前の予習と講義後の復習		
教科書	歯学生のパーシャルデンチャー(第6版)		
参考書	『パーシャルデンチャーテクニック 第5版』、『歯科補綴学専門用語集 第4版』、『症例に応じたパーシャルデンチャーの設計マニュアル』、『スタンダードパーシャルデンチャー補綴学』、『有床義歯補綴学』		
オフィスアワー	月曜日～金曜日 16:30～17:00、1号館3階 都尾教授室(都尾教授)		
学生の意見等からの気づき	—		
評価方法	—		
フィードバック方法	—		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	9/5(火)	1時限	都尾	歯科補綴と部分床義歯を理解する。	歯科補綴学・部分床義歯学を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP8～P12 復習 Moodle資料		E-3-4)-(2)-①
第2回	9/5(火)	2時限	都尾	部分床義歯の目的・臨床的意義を理解する。	歯や周囲組織の欠損により引き起こされる問題を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP13～P19 復習 Moodle資料		E-3-4)-(2)-①
第3回	9/12(火)	1時限	都尾	部分床義歯の選択を理解する。	補綴装置(部分床義歯)の選択にかかる諸因子を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP20～P25 復習 Moodle資料		E-3-4)-(2)-③

第4回	9/12(火)	2時限	都尾	部分床義歯の特徴と構成要素を理解する。	部分床義歯の特徴と構成要素を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP66～P69 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-③
第5回	9/19(火)	1時限	都尾	構成要素の基本的考え方を理解する。	構成要素の目的と要件を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP70～P76 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-④
第6回	9/19(火)	2時限	都尾	部分床義歯の設計に有用な症型分類を理解する。	部分床義歯の設計に当たり症型分類の有効性を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP77～P82 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-⑤
第7回	9/26(火)	1時限	都尾	部分床義歯の動きを理解する。	義歯の動きを理解する。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP83～P86 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-⑤
第8回	9/26(火)	2時限	都尾	部分床義歯の支持の考え方を理解する。	部分床義歯における支持の意義を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP87～P91 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-④
第9回	10/3(火)	1時限	都尾	部分床義歯の把持、維持の考え方を理解する。	部分床義歯における把持・維持の意義を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP92～P105 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-④
第10回	10/3(火)	2時限	都尾	部分床義歯用材料を理解する。	部分床義歯製作に用いる印象材などの種類と特徴を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP106～P119 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-⑪
第11回	10/10(火)	1時限	都尾	部分床義歯治療の臨床ステップを理解する。	部分床義歯治療の臨床ステップとその術式を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP122～P127 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-⑫
第12回	10/10(火)	2時限	都尾	診察と診断を理解する。	医療面接のあり方とコミュニケーションスキルについて説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP128～P142 復習 Moodle資料	E-1-1)-⑤
第13回	10/17(火)	1時限	都尾	研究模型のサベイング(仮設計)と治療計画を理解する。	サベイングの目的を理解し、サバイヤの各部の名称と使用法を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP143～P150 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-⑪
第14回	10/17(火)	2時限	都尾	口腔内前処置を理解する。	咬合調整・咬合平面の修整方法が説明でき、口腔内前処置の目的・順序を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP151～P163 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-⑪
第15回	10/24(火)	1時限	都尾	印象採得と模型製作を理解する。	部分床義歯における印象の考え方を理解できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP164～P173 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-⑥
第16回	10/24(火)	2時限	都尾	咬合採得、人工歯の選択ならびに咬合器装着を理解する。	咬合採得の意義と方法を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP174～P191 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-⑦
第17回	10/31(火)	1時限	都尾	作業用模型のサベイングと義歯の設計(本設計)を理解する。	作業用模型のサベイング(本設計)の目的を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP192～P205 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-⑪
第18回	10/31(火)	2時限	都尾	支台装置を理解する。	クラスプの分類を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP206～P218 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-④
第19回	11/14(火)	1時限	都尾	各支台装置(クラスプ・アタッチメント)の形態と適応症を理解する。	各クラスプ・アタッチメントの形態と適応症を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP206～P218 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-④

第20回	11/14(火)	2時限	都尾	連結子を理解する。	大連結子と小連結子の目的を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP219～P227 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-④
第21回	11/14(火)	3時限	都尾	フレームワークの製作を理解する。	金属床義歯とレジン床義歯の特徴およびフレームワーク製作方法を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP228～P234 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-⑫
第22回	11/14(火)	4時限	都尾	人工歯の排列、歯肉形成、ならびにろう義歯の試適を理解する。	前歯部人工歯の排列基準を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP235～P242 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-⑩
第23回	11/21(火)	1時限	都尾	埋没から義歯完成までの製作手順を理解する。	部分床義歯の埋没と重合および咬合器再装着を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP243～P250 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-⑫
第24回	11/21(火)	2時限	都尾	義歯装着、調整ならびに指導を理解する。	部分床義歯の装着の術式と術後指導について説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP251～P258 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-⑬
第25回	11/28(火)	1時限	都尾	義歯装着後に生じる生体と義歯の変化を理解する。義歯装着後の管理を理解する。	部分床義歯装着後に生じる生体の変化を説明できる。部分床義歯装着後のリコールを説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP259～P273 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-⑭
第26回	11/28(火)	2時限	都尾	義歯装着後の管理を理解する。	修理とライン・リベースを説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP263～P273 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-⑭
第27回	12/5(火)	1時限	都尾	暫間義歯、即時義歯、移行義歯、診断用義歯ならびに治療用義歯を理解する。	広義の暫間義歯について、その種類と特徴を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP274～P283 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-②
第28回	12/5(火)	2時限	都尾	オーバーデンチャーを理解する。	オーバーデンチャーの利点欠点を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP284～P290 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-②
第29回	12/19(火)	1時限	都尾	顎顔面補綴を理解する。	口腔・顎顔面欠損の病態と治療方針を説明できる。	予習 歯学生のパーシャルデンチャーP298～P306 復習 Moodle資料	E-3-4)-(2)-②
第30回	12/19(火)	2時限	都尾	まとめ講義 講義フィードバックアンケート実施 全学FDアンケート			

13 部分床義歯学実習

ナンバリング	HAO-3-09	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	都尾元宣、岩堀正俊、山本寛明、渡邊 諒、榊原 溪		
授業概要	<p>本実習の目的は、講義にて習得した理論を、R.P.D(Removable Partial Denture＝可撤性部分床義歯)の製作を通じて再認識すると共にその製作方法を習熟することにある。</p> <p>しかし、本実習では時間的制約があり、製作過程の一部分しか行えない。そのため指定図書および参考書等の熟読を行い、完成までに至る理論的背景をよく理解し、製作過程を忘れないようにする。また、実習室での作業・行動を通して将来歯科医師となるための訓練も本実習の目的に含まれる。</p>		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	<p>○歯科医師として必要な倫理観や人間性を身につけるとともに、幅広い知識と豊かな教養そして社会性を有している。</p> <p>○歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。</p> <p>○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。</p> <p>○多様化する地域社会の歯科医療ニーズにきめ細やかに対応し、口腔ケア、在宅歯科診療や、地域包括ケアシステムなど職種連携チーム医療をもとに、地域社会に貢献する歯科医療を実践できる高い臨床能力を身につけている。</p>		
到達目標	講義で習得した理論と部分床義歯製作を通して知識の再確認するとともにその製作法を習熟する。		
教育手法	実習		
履修の条件・注意事項	実習帳を読み教科書や参考書で操作の目的を予習する		
教科書	部分床義歯学実習帳、歯学性のパーシャルデンチャー		
参考書	パーシャルデンチャーテクニック、部分床義歯学		
オフィスアワー	部分床義歯学と同様		
学生の意見等からの気づき	—		
評価方法	完成義歯70%、態度・レポート30%		
フィードバック方法	担当者による採点、指導および評価		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	9/5(火)	3時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な検査を修得する。	スタディー模型を製作できる。	部分床義歯実習帳 1st STEP	1時間	E-3-4)-(2)-①
第2回	9/5(火)	4時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な検査を修得する。	模型診査ができる。	部分床義歯実習帳 1st STEP		E-3-4)-(2)-⑫
第3回	9/12(火)	3時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な平行測定検査を修得する。	サバイヤーが使用できる。	部分床義歯実習帳 2nd STEP	1時間	E-3-4)-(2)-⑤

第4回	9/12(火)	4時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な平行測定検査を修得する。	予備平行測定ができる。	部分床義歯実習帳 2nd STEP		E-3-4)-(2)-⑪
第5回	9/19(火)	3時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な診断と治療計画と個人トレーの目的を修得する。	治療計画の立案ができる	部分床義歯実習帳 3rd STEP	1時間	E-3-4)-(2)-⑥
第6回	9/19(火)	4時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な診断と治療計画と個人トレーの目的を修得する。	個人トレーを製作できる。	部分床義歯実習帳 3rd STEP		E-3-4)-(2)-⑫
第7回	9/26(火)	3時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な前処置・印象採得を修得する。	口腔内前処置ができる。	部分床義歯実習帳 4th STEP		E-3-4)-(2)-⑫
第8回	9/26(火)	4時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な前処置・印象採得を修得する。	印象採得の準備ができる。	部分床義歯実習帳 4th STEP		E-3-4)-(2)-⑥
					印象採得(精密印象)ができる。			E-3-4)-(2)-⑥
第9回	10/3(火)	3時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な咬合採得を修得する。	咬合床が製作できる。	部分床義歯実習帳 5th STEP	1時間	E-3-4)-(2)-⑫
					咬合採得の準備ができる。			E-3-4)-(2)-⑧
第10回	10/3(火)	4時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な咬合採得を修得する。	中心咬合位を採得できる。	部分床義歯実習帳 6th STEP		E-3-4)-(2)-⑧
第11回	10/10(火)	3時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な作業用模型の修整を修得する。	本平行測定が出来る。	部分床義歯実習帳 7th STEP		E-3-4)-(2)-⑫
第12回	10/10(火)	4時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な作業用模型の修整を修得する。	本平行測定が出来る。	部分床義歯実習帳 7th STEP		E-3-4)-(2)-⑫
第13回	10/17(火)	3時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な作業用模型の修整を修得する。	ブロックアウトができる。	部分床義歯実習帳 7th STEP		E-3-4)-(2)-⑪
第14回	10/17(火)	4時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な作業用模型の修整を修得する。	リリーフができる。	部分床義歯実習帳 7th STEP	1時間	E-3-4)-(2)-⑪

第15回	10/24(火)	3時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な作業用模型の修整を修得する。	複印象・複模型の目的を説明できる。	部分床義歯実習帳 7th STEP	1時間	E-3-4)-(2)-⑪
第16回	10/24(火)	4時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要なクラスプの製作法を修得する。	クラスプのワックスアップが製作できる。	部分床義歯実習帳 8th STEP		E-3-4)-(2)-⑪
第17回	10/31(火)	3時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要なクラスプの製作法を修得する。	クラスプの構造を説明できる。	部分床義歯実習帳 8th STEP	1時間	E-3-4)-(2)-⑫
第18回	10/31(火)	4時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な人工歯排列と歯肉形成を修得する	人工歯排列ができる。	部分床義歯実習帳 9th STEP		E-3-4)-(2)-①
第19回	11/7(火)	1時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な人工歯排列と歯肉形成を修得する	咬合様式が説明できる。	部分床義歯実習帳 9th STEP		E-3-4)-(2)-⑩
第20回	11/7(火)	2時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な人工歯排列と歯肉形成を修得する。	咬合様式が説明できる。	部分床義歯実習帳 10th STEP		E-3-4)-(2)-⑩
第21回	11/7(火)	3時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な人工歯排列と歯肉形成を修得する。	歯肉形成ができる。	部分床義歯実習帳 10th STEP	1時間	E-3-4)-(2)-⑪
第22回	11/7(火)	4時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な蠟義歯の目的と試適を修得する。	蠟義歯試適ができる。	部分床義歯実習帳 11th STEP		E-3-4)-(2)-⑪
第23回	11/21(火)	3時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な蠟義歯の目的と試適を修得する。	蠟義歯試適の診査事項が説明できる。	部分床義歯実習帳 11th STEP	1時間	E-3-4)-(2)-⑫
第24回	11/21(火)	4時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な埋没・重合を修得する。	常温重合レンジによる埋没(コア法)が出来る。	部分床義歯実習帳 12th STEP		E-3-4)-(2)-⑪
第25回	11/28(火)	3時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な埋没・重合を修得する。	常温重合レンジによる埋没(コア法)が出来る。	部分床義歯実習帳 12th STEP	1時間	E-3-4)-(2)-⑫

第26回	11/28(火)	4時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な研磨を修得する。	咬合調整(咬合器再装着)が出来る。	部分床義歯実習帳 13th STEP		E-3-4)-(2)-⑫
第27回	12/5(火)	3時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な研磨を修得する。	人工歯の研磨ができる。	部分床義歯実習帳 13th STEP	1時間	E-3-4)-(2)-⑪
第28回	12/5(火)	4時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な研磨を修得する。	レジン床の研磨が出来る。	部分床義歯実習帳 13th STEP		E-3-4)-(2)-⑪
第29回	12/12(火)	1時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な研磨を修得する。	連結子、維持装置の研磨ができる。	部分床義歯実習帳 13th STEP	1時間	E-3-4)-(2)-⑪
第30回	12/12(火)	2時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	部分床義歯製作のために必要な患者指導を修得する。	装着時の患者指導ができる。	部分床義歯実習帳 14th STEP		E-3-4)-(2)-⑬
第31回	12/12(火)	3時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	まとめ 実習				
第32回	12/12(火)	4時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	まとめ 実習				
第33回	12/19(火)	3時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	まとめ 実習				
第34回	12/19(火)	4時限	都尾 岩堀 山本 渡邊 榊原 他	まとめ 実習 講義フィードバックアンケート実施 全学FDアンケート				

第1回	4/4(火)	1時限	藤原	全部床義歯による口腔機能回復のために、その製作の手順について理解する。	前処置について説明できる。	教科書:第2章～第12章の目次をとその内容を確認すること、参考書	E-3-4)-(2)-⑫	
				印象採得について説明できる。	E-3-4)-(2)-⑥			
				顎間関係の記録について説明できる。	E-3-4)-(2)-⑦			
				ろう義歯試適について説明できる。	E-3-4)-(2)-⑫			
				装着について説明できる。	E-3-4)-(2)-⑫			
				個人トレーの製作について説明できる。	E-3-4)-(2)-⑫			
				作業用模型の製作について説明できる。	E-3-4)-(2)-⑬			
				咬合器の装着・調整について説明できる。	E-4-2)-⑫			
				人工歯の選択・削合について説明できる。	E-5-2)-⑥			
				歯肉形成について説明できる。	E-3-4)-(2)-⑨			
				埋没、重合について説明できる。	E-3-4)-(2)-⑫			
				咬合調整(削合)と仕上げについて説明できる。	E-3-4)-(2)-⑬			
第2回	4/4(火)	2時限	藤原	①無歯顎患者のQOLに果たす補綴治療の役割と全部床義歯のあり方を理解する。②全部床義歯による機能回復を行うために無歯顎の病因と病態を理解する。	QOLについて説明できる。	教科書:p1～p56 読んでおくこと	2時間	C-3-3)-①
					顎口腔機能について説明できる。		E-2-1)-③	
					無歯顎補綴治療の特徴を説明できる。		E-3-4)-(2)-①	
					機能的咬合系について説明できる。		E-2-2)-④	
				⑤全部床義歯の特徴と構成要素を説明できる。	E-3-4)-(2)-④			
					咬合について説明できる。		E-2-2)-④	
					顎関節と加齢にともなうその変化が説明できる。		E-2-3)-④	
					①健常有歯学者とその加齢変化について理解する。②補綴装置としての全部床義歯の構造と機能の概略を理解する。③全部床義歯装着者の主要症候を理解する。		②代表的な下顎位を説明できる。	教科書:p1～p56
唾液のと加齢に伴うその変化について説明できる。	E-2-3)-④							
全部床義歯の構成要素の名称を列記できる。	E-3-4)-(2)-④							
全部床義歯の維持・支持・安定に関与する因子を説明できる。	E-3-4)-(2)-④							

第4回	4/11(火)	2時限	羽田	①無歯顎患者の補綴治療に先立ち、必要な医療面接を行うことができる。②無歯顎患者の治療に先立ち必要な診察、検査をおこない、患者の病態と障害度を評価できる。③無歯学患者の補綴治療に先立ち種々の診察と検査を行い、これに基づいて評価を行ったのち、診断治療計画を立案できるように知識を深める。	局所的な診察と検査について必要事項を説明できる。	教科書:p57～p85	2時間	E-3-4)-(2)-①
				顎堤、筋、顎関節、咀嚼機構、発語機能などについての評価と診断内容が説明できる。	無歯顎補綴治療の診断内容を説明できる。			E-3-4)-(2)-①
				治療計画案の内容を列挙し、説明できる。	無歯顎補綴治療の効果とその到達目標を説明できる。			E-3-4)-(2)-①
								E-3-4)-(2)-①
								E-3-4)-(2)-①
第5回	4/18(火)	1時限	羽田	無歯顎患者の印象採得をおこなうために、印象域、印象材、印象術式、模型の製作およびその調整法について理解する	前処置について説明できる。	教科書:p93～p125	1時間	E-3-4)-(2)-⑫
				上顎・下顎の印象域を説明できる。	概形印象・精密印象に用いる印象材を列挙できる。			E-3-4)-(2)-⑥
				無歯顎患者の印象採得の特徴を説明できる。	④上顎・下顎の辺縁形成に有効な口腔の機能運動とそれに係わる筋を説明できる。			E-3-4)-(2)-⑥
				無歯顎患者の印象法を粘膜への圧力分類、印象材別分類で説明できる。	無歯顎患者の印象法を粘膜への圧力分類、印象材別分類で説明できる。			E-3-4)-(2)-⑥
				義歯維持筋、義歯脱離筋について説明できる。	デンチャースペースについて説明できる。			E-3-4)-(2)-⑥
				デンチャースペースについて説明できる。	ボクシング、リリース、ポストダムの意義を説明できる。			E-3-4)-(2)-⑥
				ボクシング、リリース、ポストダムの意義を説明できる。	アンダーカットとブロックアウトの意義を説明できる。			E-3-4)-(2)-⑥
				アンダーカットとブロックアウトの意義を説明できる。				E-3-4)-(2)-⑥
								E-3-4)-(2)-⑥
								E-3-4)-(2)-⑥
第6回	4/18(火)	2時限	藤原羽田	無歯顎患者の咬合採得のために仮想咬合平面、咬合採得の術式、垂直的顎間関係、水平的顎間関係について理解する。	咬合床の製作方法について説明できる。	教科書:p126～p164読んでおくこと	1時間	E-3-4)-(2)-⑦
				無歯顎における一般的な顎間関係の記録法を説明できる。	仮想咬合平面の決定法について説明できる。			E-3-4)-(2)-⑦
				仮想咬合平面の決定法について説明できる。	垂直的顎間関係の決定法を列挙できる。			E-4-2)-⑦
				垂直的顎間関係の決定法を列挙できる。	水平的顎間関係の決定の問題点を列挙できる。			E-3-4)-(2)-⑦
				水平的顎間関係の決定の問題点を列挙できる。	ゴシックアーチ描記法について列挙できる。			E-3-4)-(2)-⑦
				ゴシックアーチ描記法について列挙できる。	クリステンセン現象について説明できる。			E-3-4)-(2)-⑦
				クリステンセン現象について説明できる。	咬合高径が高すぎる場合の問題点を列挙できる。			E-3-4)-(2)-⑦
				咬合高径が高すぎる場合の問題点を列挙できる。	咬合高径が低すぎる場合の問題点を列挙できる。			E-3-4)-(2)-⑦
				咬合高径が低すぎる場合の問題点を列挙できる。	各標示線について説明できる。			E-3-4)-(2)-⑦
				各標示線について説明できる。	無歯顎患者の咬合採得のために仮想咬合平面、咬合採得の術式、垂直的顎間関係、水平的顎間関係について理解する。STS実施(第1～6)			E-3-4)-(2)-⑦

第7回	4/25(火)	1時限	藤原	補綴治療のための、顔、頭の形態について理解する。	②顔面区分、顔と歯の形態を述べる。	顎口腔機能基礎知識:p1~p45 読んでおくこと	1時間	E-2-1)-②	
					③基準点、基準線、基準平面を述べる。			C-3-1)-①	
					④頭蓋、上顎部、下顎部の骨を述べる。			E-2-1)-②	
					⑤咀嚼筋、関連筋群および口腔に関連する筋について述べる。			E-2-1)-③	
					⑦顎関節の構造および運動を述べる。			E-2-1)-⑥	
				補綴治療のための、口腔組織の形態と機能を理解する。	①歯の形態、色調を述べる。			E-3-1)-②	
	②歯列の形態、下顎骨との位置関係を述べる。	E-3-1)-②							
	⑤顎堤、床下粘膜およびその他の口腔難組織について述べる。	E-3-1)-②							
第8回	4/25(火)	2時限	藤原	補綴治療のための、下顎運動、下顎位および咬合を理解する。	①下顎の基本運動および限界運動について述べる。	顎口腔機能基礎知識:p64~p83 読んでおくこと	1時間	E-2-1)-⑥	
					②下顎の運動範囲および機能運動を述べる。			E-2-1)-⑥	
					③下顎位について述べる。			E-2-1)-⑥	
					④咬頭嵌合位、中心位および下顎安静位について述べる。			E-2-1)-⑥	
					⑤咬合採得にかかわる下顎運動と下顎位について述べる。			E-2-1)-⑥	
					補綴治療のための、咬合および咬合器を理解する。	③偏心咬合における咬合関係を述べる。		顎口腔機能基礎知識:p84~p104	E-2-2)-④
					④義歯の咬合様式を述べる。	E-3-4)-(2)-⑩			
					⑤咬合器の基本的な機構について述べる。	E-3-4)-(2)-⑧			
					⑥咬合器の種類述べる。	E-4-2)-⑨			
第9回	5/2(火)	1時限	藤原	補綴治療のための、咬合および咬合器を理解する。	③偏心咬合における咬合関係を述べる。	顎口腔機能基礎知識:p84~p104		E-2-2)-④	
					④義歯の咬合様式を述べる。			E-3-4)-(2)-⑩	
					⑤咬合器の基本的な機構について述べる。			E-3-4)-(2)-⑧	
					⑥咬合器の種類述べる。			E-4-2)-⑨	
第10回	5/2(火)	2時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	全部床義歯による口腔機能回復を行うための講義内容と全部床義歯実習の関連性を理解する。全部床義歯製作における技能を習得する。	全部床義歯製作実習の理論的背景 (注)実習室にてトレーの外形、義歯設計を行い、知識の整理と技能を実践する。	実習書、教科書 p86~123、コンプレイトデンチャークリニック 読んでおくこと	1時間	E-3-4)-(2)-⑤	
								E-3-4)-(2)-⑫	
第11回	5/9(火)	1時限	藤原	全部床義歯による口腔機能回復を行うための顎口腔系の形態と機能の変化を理解する。	歯の欠損に伴う顎口腔系の変化を述べる。	顎口腔機能基礎知識:p105~p116		E-2-3)-④	
								E-2-3)-④	

第12回	5/9(火)	2時限	藤原	全部床義歯による口腔機能回復のために、その製作の手順について理解する。		教科書:第2章～第12章の目次をとその内容を確認すること、参考書読んでおくこと ムードルから過去問をダウンロードして予習をする	5時間	E-3-4)-(2)-⑫
第13回	5/16(火)	1時限	藤原	全部床義歯による口腔機能回復のために、その製作の手順について理解する。		教科書:第2章～第12章の目次をとその内容を確認すること、参考書読んでおくこと ムードルから過去問をダウンロードして予習をする	5時間	E-3-4)-(2)-⑫
第14回	5/16(火)	2時限	藤原	全部床義歯による口腔機能回復のために、その製作の手順について理解する。	マルチ対応講義	教科書:第2章～第12章の目次をとその内容を確認すること、参考書読んでおくこと ムードルから過去問をダウンロードして予習をする	5時間	E-3-4)-(2)-⑫
第15回	5/23(火)	1時限	藤原	全部床義歯による口腔機能回復のために、その製作の手順について理解する。		教科書:第2章～第12章の目次をとその内容を確認すること、参考書読んでおくこと ムードルから過去問をダウンロードして予習をする	5時間	E-3-4)-(2)-⑫
第16回	5/23(火)	2時限	藤原	受験資格試験		教科書:第2章～第12章の目次をとその内容を確認すること、参考書読んでおくこと ムードルから過去問をダウンロードして予習をする	5時間	E-3-4)-(2)-⑫
第17回	5/30(火)	1時限	亀川	全部床義歯義歯の咬合面形態を顎機能に調和させるために、下顎運動記録法を理解するとともに、その運動を再現刷る咬合器の知識を深める。	①下顎運動記録の概要を説明できる。	教科書:p165～p180	1時間	E-2-1)-⑦
					②ゴシックアーチの意義と描記を説明できる。			E-3-4)-(2)-⑧
					③アルコン型、コンダイラー型咬合器を説明できる。			E-3-4)-(2)-⑧
					④顆路型咬合器と生体の解剖との関係を説明できる。			E-3-4)-(2)-⑧
					⑤咬合器への模型の装着法が説明できる。			E-3-4)-(2)-⑧
					⑥フェイスボウの役割を説明できる。			E-3-4)-(2)-⑥
					⑦クリエステンセン現象の成り立ちを説明できる。			E-3-4)-(2)-⑧
					⑧チックバイト法による顆路の調節法が説明できる。			E-3-4)-(2)-⑧
					③アルコン型、コンダイラー型咬合器を説明できる。			E-3-4)-(2)-⑧
					④顆路型咬合器と生体の解剖との関係を説明できる。			E-3-4)-(2)-⑧
					⑤咬合器への模型の装着法が説明できる。			E-3-4)-(2)-⑧
					⑥フェイスボウの役割を説明できる。			E-3-4)-(2)-⑥
					⑦クリエステンセン現象の成り立ちを説明できる。			E-3-4)-(2)-⑧
					⑧チックバイト法による顆路の調節法が説明できる。			E-3-4)-(2)-⑧
					①下顎運動記録の概要を説明できる。			E-2-1)-⑦
					②ゴシックアーチの意義と描記を説明できる。			E-3-4)-(2)-⑧
					③アルコン型、コンダイラー型咬合器を説明できる。			E-3-4)-(2)-⑧
④顆路型咬合器と生体の解剖との関係を説明できる。	E-3-4)-(2)-⑧							
⑤咬合器への模型の装着法が説明できる。	E-3-4)-(2)-⑧							
⑥フェイスボウの役割を説明できる。	E-3-4)-(2)-⑧							
⑦クリエステンセン現象の成り立ちを説明できる。	E-3-4)-(2)-⑧							
⑧チックバイト法による顆路の調節法が説明できる。	E-3-4)-(2)-⑧							
小テスト						読んでおくこと ムードルから過去問をダウンロードして準備すること	10時間	

第23回	6/20(火)	1時限	服部 景太	無歯顎患者に対する在宅歯科診療の意義と実際について理解する。	①要介護高齢者の歯科訪問診療の意義を説明できる。	教科書:p277～p306読んでおくこと	1時間	E-5-1)-⑦
					②要介護高齢者の口腔状況について説明できる。STS実施(12回から23回)			E-5-1)-⑦
					③無歯顎者の歯科訪問診療で診られる所見を列挙できる。			E-5-1)-⑦
					④在宅・訪問診療の実際について理解する。			E-5-1)-⑦
第24回	6/20(火)	2時限	藤原	全部床義歯による口腔機能回復のために、その製作の手順について理解する。	⑫咬合調整(削合)と仕上げについて説明できる。	教科書:第2章～第12章の目次をとその内容を確認すること、参考書	4時間	E-3-4)-(2)-⑬
				歯列の全部欠損に対する修復の意義を理解する。(マルチ・CBT・OSCE対策)(定期試験マルチ対策)	印象採得について説明できる。			教科書、実習書、ノート、コンプリートデンチャークリニック読んでおくこと ムードルから過去問をダウンロードして予習
第25回	6/27(火)	1時限	藤原、 羽田、 大森、 小嶋、 亀川	全部床義歯の基礎知識と義歯製作をリンクする。全部床義歯による臨床と知識を整理する。全部床義歯製作における技能を習得する。	人工歯の選択・削合について説明できる。	教科書、実習書、ノート、コンプリートデンチャークリニック		E-3-4)-(2)-⑨
第26回	6/27(火)	2時限	藤原、 羽田、 大森、 小嶋、 亀川	全部床義歯の基礎知識と義歯製作をリンクする。全部床義歯による臨床と知識を整理する。全部床義歯製作における技能を習得する。	人工歯の選択・削合について説明できる。	教科書、実習書、ノート、コンプリートデンチャークリニック		E-3-4)-(2)-⑨
第27回	7/4(火)	1時限	藤原	歯列の全部欠損に対する修復の意義を理解する。(定期試験マルチ対策) 歯列の全部欠損に対する修復の意義を理解する。(定期試験マルチ対策)	過去の国家試験(91-111回)に対応する。CBT,定期試験に対応する。 ①前処置について説明できる。	講義、教科書および講義で配布したミニマムリクワイメント、ノートを学習する ムードルから過去問をダウンロードして予習	4時間	E-3-4)-(2)-⑫
第28回	7/4(火)	2時限	藤原	歯列の全部欠損に対する修復の意義を理解する。(定期試験マルチ対策) 歯列の全部欠損に対する修復の意義を理解する。(定期試験マルチ対策)	過去の国家試験(91-111回)に対応する。CBT,定期試験に対応する。 ①前処置について説明できる。	講義、教科書および講義で配布したミニマムリクワイメント、ノートを学習する ムードルから過去問をダウンロードして予習	4時間	E-3-4)-(2)-⑫
第29回	7/11(火)	1時限	藤原	歯列の全部欠損に対する修復の意義を理解する。(定期試験マルチ対策) 歯列の全部欠損に対する修復の意義を理解する。(定期試験マルチ対策)	過去の国家試験(91-111回)に対応する。CBT,定期試験に対応する。 ①前処置について説明できる。	講義、教科書および講義で配布したミニマムリクワイメント、ノートを学習する ムードルから過去問をダウンロードして予習	4時間	E-3-4)-(2)-⑫
第30回	7/11(火)	2時限	藤原	受験資格試験		教科書:第2章～第12章の目次をとその内容を確認すること、参考書 読んでおくこと ムードルから過去問をダウンロードして予習をする	5時間	E-3-4)-(2)-⑫

15 全部床義歯学実習

ナンバリング	HAO-3-11	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	藤原 周、羽田 詩子、大森 俊和、小嶋 千栄子、亀川 義己		
授業概要	全部床義歯製作の過程に準じて、模擬患者の口腔内模型を用いて実習を行う。		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	○歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。 ○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。 ○多様化する地域社会の歯科医療ニーズにきめ細やかに対応し、口腔ケア、在宅歯科診療や、地域包括ケアシステムなど多職種連携チーム医療をもとに、地域社会に貢献する歯科医療を実践できる高い臨床能力を身につけている。		
到達目標	講義で習得した理論と全部床義歯製作を通して、知識の再確認をするとともにその製作方法を習熟する。		
教育手法	実習		
履修の条件・注意事項	臨床系の実習である事を自覚する事。詳細は実習帳に掲載。		
教科書	無歯顎補綴治療学 第3版		
参考書	コンプリートデンチャークリニック *オリジナル動画(moodleにup)		
オフィスアワー	羽田、小嶋、亀川:月～金 16時～18時 研究室		
学生の意見等からの気づき	より理解し易い進行に努める。		
評価方法	実習70点、レポート30点		
フィードバック方法	各インストラクターによるフィードバック、レポート課題		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	5/11(木)	3時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	概形印象と研究用模型の目的、模型診査する、個人トレーの意義、筋圧形成	①既製トレーにて概形印象ができる②研究用模型で診査できる③個人トレーの外形線が書ける④個人トレーの製作ができる⑤筋圧形成の意味を理解する	無歯学補綴治療学 P93～P123	1時間	E-3-4)-(2)-⑥
第2回	5/11(木)	4時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	印象方法、選択的加圧印象法、作業用模型と設計、基準線、面、顎間関係の記録、方法	①印象材の種類を知る②印象方法を知る③精密印象ができる④作業用模型が製作できる⑤床外形線が書ける⑥基準線、面が書ける⑦咬合採得ができる	無歯学補綴治療学 P100～P156	1時間	E-3-4)-(2)-⑦
第3回	5/18(木)	3時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	咬合器の構造、種類、装着	①咬合器の構造を知る②咬合器の種類を知る③咬合器装着ができる	無歯学補綴治療学 P165～P180	1時間	E-3-4)-(2)-⑧
第4回	5/18(木)	4時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	人工歯の種類、排列	①人工歯の種類を知る②適正な排列ができる	無歯学補綴治療学 P181～P200	1時間	E-3-4)-(2)-⑨

第5回	5/25(木)	3時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	人工歯排列、調節彎曲	①前歯部被蓋関係を知る ②調節彎曲を知る	無歯学補綴治療学 P181～P200	1時間	E-3-4)-(2)-⑨
第6回	5/25(木)	4時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	人工歯排列、調節彎曲	①前歯部被蓋関係を知る ②調節彎曲を知る	無歯学補綴治療学 P181～P200	1時間	E-3-4)-(2)-⑩
第7回	6/1(木)	3時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	人工歯排列、調節彎曲	人工歯排列、調節彎曲	無歯学補綴治療学 P181～P200	1時間	E-3-4)-(2)-⑪
第8回	6/1(木)	4時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	歯肉形成、蝟義歯完成 蝟義歯試適	①審美的、機能的な形態の歯肉 形成ができる ②蝟義歯試適の要点を把握す る	無歯学補綴治療学 P211～P216	1時間	E-3-4)-(2)-⑪
第9回	6/8(木)	3時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	歯肉形成、蝟義歯完成 蝟義歯試適	①審美的、機能的な形態の歯肉 形成ができる ②蝟義歯試適の要点を把握す る	無歯学補綴治療学 P211～P216	1時間	E-3-4)-(2)-⑪
第10回	6/8(木)	4時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	歯肉形成、蝟義歯完成 蝟義歯試適	①審美的、機能的な形態の歯肉 形成ができる ②蝟義歯試適の要点を把握す る	無歯学補綴治療学 P211～P216	1時間	E-3-4)-(2)-⑫
第11回	6/15(木)	3時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	埋没前準備、埋没、流蝟	①咬合器再装着の方法、目的を 知る ②埋没方法、材料を知る③適正 な流蝟を知る	無歯学補綴治療学 P217～P222	1時間	E-3-4)-(2)-⑪
第12回	6/15(木)	4時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	埋没前準備、埋没、流蝟	①咬合器再装着の方法、目的を 知る ②埋没方法、材料を知る③適正 な流蝟を知る	無歯学補綴治療学 P217～P222	1時間	E-3-4)-(2)-⑪
第13回	6/22(木)	3時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	填入、重合	①レジン填入の方法を知る ②重合の種類、方法を知る	無歯学補綴治療学 P222～P225	1時間	E-3-4)-(2)-⑪
第14回	6/22(木)	4時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	填入、重合	①レジン填入の方法を知る ②重合の種類、方法を知る	無歯学補綴治療学 P222～P225	1時間	E-3-4)-(2)-⑪
第15回	6/29(木)	3時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	研磨	①義歯の取り出し ②研磨の意義、方法、手技を知 る	無歯学補綴治療学 P226～P228	1時間	E-3-4)-(2)-⑪
第16回	6/29(木)	4時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	研磨	①義歯の取り出し ②研磨の意義、方法、手技を知 る	無歯学補綴治療学 P226～P228	1時間	E-3-4)-(2)-⑪
第17回	7/3(月)	3時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	ボクシング、咬合器再装着	①ボクシングの目的、方法を知 る ②咬合器再装着の目的、 方法を知る	無歯学補綴治療学 P229～P229	1時間	E-3-4)-(2)-⑬
第18回	7/3(月)	4時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	ボクシング、咬合器再装着	①ボクシングの目的、方法を知 る ②咬合器再装着の目的、 方法を知る	無歯学補綴治療学 P229～P229	1時間	E-3-4)-(2)-⑬

第19回	7/6(木)	3時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	人工歯削合	①選択削合の原則、理論を知る ②削合方法を知る	無歯学補綴治療学 P230～P230	1時間	E-3-4)-(2)-⑩
第20回	7/6(木)	4時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	人工歯削合	①選択削合の原則、理論を知る ②削合方法を知る	無歯学補綴治療学 P230～P230	1時間	E-3-4)-(2)-⑩
第21回	7/10(月)	3時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	ミリング	①自動削合を知る ②咬合小面について知る	無歯学補綴治療学 P230～P230	1時間	E-3-4)-(2)-⑩
第22回	7/10(月)	4時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	ミリング	①自動削合を知る ②咬合小面について知る	無歯学補綴治療学 P230～P230	1時間	E-3-4)-(2)-⑩
第23回	7/13(木)	3時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	完成	適切な義歯を知る	無歯学補綴治療学 P234～P243	1時間	E-3-4)-(2)-⑬
第24回	7/13(木)	4時限	藤原 羽田 大森 小嶋 亀川	完成	適切な義歯を知る	無歯学補綴治療学 P234～P243	1時間	E-3-4)-(2)-⑬

16 歯科放射線学

ナンバリング	ODT-3-13	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	勝又明敏◎, 飯田幸弘◎, 小日向清美◎, 北野倫哉◎, 有地榮一郎◎, 十河基文◎, 藤下昌巳◎, 有地淑子◎, 脇阪孝◎		
授業概要	歯科放射線学では、歯および口腔顎顔面領域における放射線の歯科医学的利用および画像診断に関連する必要な知識と技術を修得する。		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	<p>○歯科医師として必要な倫理観や人間性を身につけるとともに、幅広い知識と豊かな教養そして社会性を有している。</p> <p>○歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。</p> <p>○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。</p> <p>○多様化する地域社会の歯科医療ニーズにきめ細やかに対応し、口腔ケア、在宅歯科診療や、地域包括ケアシステムなど多職種連携チーム医療をもとに、地域社会に貢献する歯科医療を実践できる高い臨床能力を身につけている。</p> <p>○研究心と論理的思考能力を持って日々進歩する歯科医学・歯科医療を常に研鑽し、歯科医療の発展のために生涯にわたり自らの歯科医療の知識と技術の向上を図ることができる。</p>		
到達目標	<p>①放射線を歯科医療で有効に利用し、それに伴う障害を防止するために、放射線の性質、影響および防護を理解する。総論・知識</p> <p>②歯・口腔顎顔面領域の画像検査を適切に選択し実施するために、画像検査の特徴、種類、技術および適応を理解する。臨床・技術・知識</p> <p>③適切な画像診断を行うための歯・口腔顎顔面領域疾患の画像所見の特徴を理解する。臨床・技術・知識</p> <p>④口腔領域悪性腫瘍の放射線治療および治療患者の口腔管理の重要性を認識するために、放射線治療の基礎と実際を理解する。臨床・知識</p>		
教育手法	講義, 演習		
履修の条件・注意事項	特になし		
教科書	『歯科放射線学 第6版』岡野友宏 他編集(医歯薬出版)、『解説と例題でわかる 歯科放射線テキスト 第1版』勝又明敏 他編集(永末書店)		
参考書	『歯科臨床画像診断のチェックポイント』勝又明敏 編集(医歯薬出版)、『デジタルデンティストリー:医療情報とデジタル画像超入門』有地榮一郎 他編集(永末書店)		
オフィスアワー	月曜日～金曜日 8:00～9:00、1号館3階 勝又教授室(勝又教授)、16:00～18:00、1号館2階 歯科放射線学研究室(飯田准教授、小日向講師、西山講師、北野助教)		
学生の意見等からの気づき	授業評価アンケートの内容を参考にして授業を進めたい		
評価方法	テスト		
フィードバック方法	質問事項の解説等		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	4/4(火)	3時限	勝又明敏	放射線の安全有効な利用のために放射線の基礎的事項を理解する	放射線の種類、電離放射線と非電離放射線の性質を説明できる	教科書第2章の予習と講義配布資料による復習	1時間	C-1-2)-②
								C-1-2)-③
								E-1-2)-①
第2回	4/4(火)	4時限	勝又明敏	放射線の安全有効な利用のために放射線の基礎的事項を理解する	X線の発生と性質、X線発生装置の構造を説明できる	教科書第2章の予習と講義配布資料による復習	1時間	C-1-2)-②
								C-1-2)-③
								E-1-2)-①
第3回	4/11(火)	3時限	勝又明敏	X線による画像形成の基礎的事項を理解する	物質を透過するX線の減弱、X線コントラストと画像コントラストを説明できる	教科書第3章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-④

第4回	4/11(火)	4時限	勝又明敏	X線による画像形成の基礎的事項を理解する	散乱X線の発生と画像への影響, X線画像の拡大と歪みを説明できる	教科書第3章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-④
								E-1-2)-⑤
第5回	4/18(火)	3時限	北野倫哉	画像検査を適切におこなうために口内法X線撮影の機材, 術式を理解する	口内法X線撮影法と術式を説明できる	教科書第4章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-④
第6回	4/18(火)	4時限	北野倫哉	画像検査を適切におこなうために口内法X線撮影の機材, 術式を理解する	口内法X線撮影法と術式を説明できる	教科書第4章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑤
第7回	4/25(火)	3時限	勝又明敏	X線撮影システムの基礎的事項を理解する	X線撮影システムの種類, 歯科X線撮影システムの基本的構造を説明できる	教科書第3章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-④
								E-1-2)-⑤
第8回	4/25(火)	4時限	勝又明敏	X線撮影システムの基礎的事項を理解する	X線検出器の種類と特徴, X線撮影周辺機器を説明できる	教科書第3章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-④
								E-1-2)-⑤
第9回	5/2(火)	3時限	勝又明敏	デジタル画像の基礎的事項を理解する	デジタル画像の特徴, 画像処理の概要を説明できる	教科書第3章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-④
第10回	5/2(火)	4時限	勝又明敏	デジタル画像の歯科臨床での応用を理解する	歯科用デジタル画像のシステムの概要を説明できる	教科書第3章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-④
								E-1-2)-⑤
第11回	5/9(火)	3時限	北野倫哉	画像検査を適切におこなうために口内法X線画像の読影および解剖構造を理解する	口内法X線像の部位を判別し, 画像を説明できる	教科書第4章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑥
第12回	5/9(火)	4時限	北野倫哉	画像検査を適切におこなうために口内法X線画像の読影および解剖構造を理解する	口内法X線像の部位を判別し, 画像を説明できる	教科書第4章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑦
第13回	5/16(火)	3時限	小日向清美	放射線を安全有効に利用するのに必要な放射線学の知識をまとめる	歯科放射線の基礎・臨床的な要点を説明できる	講義配布資料による復習	1時間	
第14回	5/16(火)	4時限	小日向清美	放射線を安全有効に利用するのに必要な放射線学の知識をまとめる	歯科放射線の基礎・臨床的な要点を説明できる(小テスト)	講義配布資料による復習	1時間	
第15回	5/19(金)	1時限	飯田幸弘	画像検査を適切におこなうためにパノラマX線画像の読影と解剖構造を理解する	パノラマX線像の撮影範囲と撮影方法を説明できる	教科書第4章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑥
								E-1-2)-⑦
第16回	5/19(金)	2時限	飯田幸弘	画像検査を適切におこなうためにパノラマX線画像の読影と解剖構造を理解する	画像の解剖構造をスケッチし, 主要な疾患の画像所見を説明できる	教科書第4章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑥
								E-1-2)-⑦

第17回	5/23(火)	3時限	飯田幸弘	画像検査を適切におこなうために顎顔面領域の画像検査と画像解剖を理解する	部位と疾患に応じた画像検査を選択し、画像検査の種類と特徴を説明できる	教科書第4章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑧
第18回	5/23(火)	4時限	飯田幸弘	画像検査を適切におこなうために顎顔面領域の画像検査と画像解剖を理解する	画像の解剖構造をスケッチし、主要な疾患の画像所見を説明できる	教科書第4章の予習と講義配布資料による復習	1時間	G-2-③
第19回	5/30(火)	3時限	勝又明敏	画像検査を適切におこなうためにCT撮影の原理と歯科での利用を理解する	CTの原理、CT画像の種類と特徴、および歯科用コーンビームCTの特徴を説明できる	教科書第4章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑨
第20回	5/30(火)	4時限	勝又明敏	画像検査を適切におこなうためにCT撮影の原理と歯科での利用を理解する	CT画像の解剖構造と歯科臨床におけるCTの活用を説明できる	教科書第4章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑨
第21回	6/2(金)	1時限	勝又明敏	MRI、核医学検査、超音波検査の原理と歯科での利用を理解する	MRI検査の原理、MR画像の主な解剖構造、およびMRI検査の適応を説明できる	教科書第4章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑨
第22回	6/2(金)	2時限	勝又明敏	MRI、核医学検査、超音波検査の原理と歯科での利用を理解する	核医学・超音波検査の原理、主要な画像解剖、および検査の適応を説明できる	教科書第4章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑨
第23回	6/6(火)	3時限	勝又明敏	放射線を安全有効に利用するために放射線の生体に対する影響と防御を理解する	放射線影響の種類、発現過程、修飾、および生体組織と臓器に対する放射線影響を説明できる	教科書第2章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-①
								E-1-2)-②
第24回	6/6(火)	4時限	勝又明敏	放射線を安全有効に利用するために放射線の生体に対する影響と防御を理解する	放射線被曝の管理と放射線に関する法的規制、歯科X線検査時の患者と術者との防護、および放射線治療の原理を説明できる	教科書第2章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-②
第25回	6/9(金)	1時限	有地榮一郎	放射線の安全有効な利用のために歯科領域の放射線治療を理解する	放射線治療の原理と種類を説明できる	教科書第6章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-②
第26回	6/9(金)	2時限	有地榮一郎	放射線の安全有効な利用のために歯科領域の放射線治療を理解する	放射線治療の適応、および放射線治療患者の口腔管理を説明できる	教科書第6章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-②
第27回	6/13(火)	3時限	脇阪孝	放射線の管理と防護の臨床的事項	放射線影響の種類、発現過程、修飾、および生体組織と臓器に対する放射線影響を説明できる	教科書第2章の予習と講義配布資料による復習	1時間	C-1-2)-②
								C-1-2)-③
第28回	6/13(火)	4時限	脇阪孝	放射線の管理と防護の臨床的事項	放射線被曝の管理と放射線に関する法的規制および歯科X線検査時の患者と術者との防護を説明できる	教科書第2章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-①
								E-1-2)-②
第29回	6/16(金)	1時限	小日向清美	放射線を安全有効に利用するのに必要な放射線学の知識をまとめる	歯科放射線の基礎・臨床的な要点を説明できる	講義配布資料による復習	1時間	

第30回	6/16(金)	2時限	小日向清美	放射線を安全有効に利用するのに必要な放射線学の知識をまとめる	歯科放射線の基礎・臨床的な要点を説明できる(小テスト)	講義配布資料による復習	1時間	
第31回	6/20(火)	3時限	十河基文	歯科臨床でインプラントの画像検査・診断を実践する能力を習得する	インプラント画像検査の種類と適応および画像処理とシミュレーション、ナビゲーションを説明できる	教科書第5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑦
								E-1-2)-⑧
								E-1-2)-⑨
第32回	6/20(火)	4時限	十河基文	歯科臨床でインプラントの画像検査・診断を実践する能力を習得する	インプラント画像検査の種類と適応および画像処理とシミュレーション、ナビゲーションを説明できる	教科書第5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑦
								E-1-2)-⑧
								E-1-2)-⑨
第33回	6/23(金)	1時限	飯田幸弘	適切な画像診断のために歯と顎骨の疾患の画像診断を理解する	歯の疾患に対する画像検査の種類と適応および主要な歯の疾患の画像所見を説明でき、主要な歯の疾患の画像診断ができる	教科書第5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑦
								E-1-2)-⑧
								E-1-2)-⑨
第34回	6/23(金)	2時限	飯田幸弘	適切な画像診断のために歯と顎骨の疾患の画像診断を理解する	顎骨疾患に対する画像検査の種類と適応および主要な顎骨疾患の画像所見を説明でき、主要な顎骨疾患の画像診断ができる	教科書第5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑦
								E-1-2)-⑧
								E-1-2)-⑨
第35回	6/29(木)	1時限	飯田幸弘	適切な画像診断のために顎骨の嚢胞・嚢胞性疾患の画像診断を理解する	疾患に対する画像検査の種類と適応および主要な疾患の画像所見を説明でき、主要な疾患の画像診断ができる	教科書第5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑦
								E-1-2)-⑧
								E-1-2)-⑨
第36回	6/29(木)	2時限	飯田幸弘	適切な画像診断のために軟組織の嚢胞・嚢胞性疾患の画像診断を理解する	疾患に対する画像検査の種類と適応および主要な疾患の画像所見を説明でき、主要な疾患の画像診断ができる	教科書第5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑦
								E-1-2)-⑧
								E-1-2)-⑨
第37回	6/30(金)	1時限	有地淑子	適切な画像診断のために腫瘍・腫瘍性疾患の画像診断を理解する	疾患に対する画像検査の種類と適応および主要な疾患の画像所見を説明でき、主要な疾患の画像診断ができる	教科書第5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑦
								E-1-2)-⑧
								E-1-2)-⑨
第38回	6/30(金)	2時限	有地淑子	適切な画像診断のために腫瘍・腫瘍性疾患の画像診断を理解する	疾患に対する画像検査の種類と適応および主要な疾患の画像所見を説明でき、主要な疾患の画像診断ができる	教科書第5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑦
								E-1-2)-⑧
								E-1-2)-⑨
第39回	7/6(木)	1時限	藤下昌巳	歯科臨床で顎関節の画像検査・診断を実践する能力を習得する	顎関節疾患に対する画像検査の種類と適応および主要な疾患の画像所見を説明して画像診断ができる	教科書第5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑦
								E-1-2)-⑧
								E-1-2)-⑨
第40回	7/6(木)	2時限	藤下昌巳	歯科臨床で顎関節の画像検査・診断を実践する能力を習得する	顎関節疾患に対する画像検査の種類と適応および主要な疾患の画像所見を説明して画像診断ができる	教科書第5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑦
								E-1-2)-⑧
								E-1-2)-⑨
第41回	7/7(金)	1時限	飯田幸弘	適切な画像診断のために造影画像診断とIVRを理解する	造影検査とIVEの種類と適応および主要な疾患の画像所見を説明でき、主要な疾患の画像診断ができる	教科書第5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑨

第42回	7/7(金)	2時限	飯田幸弘	適切な画像診断のために造影画像診断とIVRを理解する	造影検査とIVEの種類と適応および主要な疾患の画像所見を説明でき、主要な疾患の画像診断ができる	教科書第5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑨
第43回	7/13(木)	1時限	勝又明敏	適切な画像診断のために全身性疾患の画像診断を理解する	疾患に対する画像検査の種類と適応および主要な疾患の画像所見を説明でき、主要な疾患の画像診断ができる	教科書第5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑦
								E-1-2)-⑧
								E-1-2)-⑨
第44回	7/13(木)	2時限	勝又明敏	適切な画像診断のために全身性疾患の画像診断を理解する	疾患に対する画像検査の種類と適応および主要な疾患の画像所見を説明でき、主要な疾患の画像診断ができる	教科書第5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑦
								E-1-2)-⑧
								E-1-2)-⑨
第45回	7/14(金)	1時限	小日向清美	放射線を安全有効に利用するのに必要な放射線学の知識をまとめる	歯科放射線の基礎・臨床的な要点を説明できる	講義配布資料による復習	1時間	
第46回	7/14(金)	2時限	小日向清美	放射線を安全有効に利用するのに必要な放射線学の知識をまとめる	歯科放射線の基礎・臨床的な要点を説明できる(小テスト)	講義配布資料による復習	1時間	

17 歯科放射線学実習

ナンバリング	ODT-3-03	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	勝又明敏◎, 飯田幸弘◎, 西山航◎, 小日向清美◎, 北野倫哉◎, 十河基文◎		
授業概要	歯科放射線学実習では、歯および口腔顎顔面領域における画像診断に関連する技術と態度を修得する。		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	<p>○歯科医師として必要な倫理観や人間性を身につけるとともに、幅広い知識と豊かな教養そして社会性を有している。</p> <p>○歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。</p> <p>○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。</p> <p>○多様化する地域社会の歯科医療ニーズにきめ細やかに対応し、口腔ケア、在宅歯科診療や、地域包括ケアシステムなど多職種連携チーム医療をもとに、地域社会に貢献する歯科医療を実践できる高い臨床能力を身につけている。</p> <p>○研究心と論理的思考能力を持って日々進歩する歯科医学・歯科医療を常に研鑽し、歯科医療の発展のために生涯にわたり自らの歯科医療の知識と技術の向上を図ることができる。</p>		
到達目標	<p>①放射線を歯科医療で有効に利用し、それに伴う障害を防止するために、放射線の性質、影響および防護を理解する。総論・知識</p> <p>②歯・口腔顎顔面領域の画像検査を適切に選択し実施するために、画像検査の特徴、種類、技術および適応を理解する。臨床・技術・知識</p> <p>③適切な画像診断を行うための歯・口腔顎顔面領域疾患の画像所見の特徴を理解する。臨床・技術・知識</p> <p>④口腔領域悪性腫瘍の放射線治療および治療患者の口腔管理の重要性を認識するために、放射線治療の基礎と実際を理解する。臨床・知識</p>		
教育手法	診断実習		
履修の条件・注意事項	<p>持ち物 筆記用具(HBの鉛筆) のり・はさみ・定規(じょうぎ)・色鉛筆(12色程度) 歯科放射線学の書籍(画像解剖の載っているもの) 服装 実習の内容より、自由とします(白衣の着用を求めません)</p>		
教科書	『歯科放射線学 第6版』岡野友宏 他編集(医歯薬出版)、『解説と例題でわかる 歯科放射線テキスト 第1版』勝又明敏 他編集(永末書店)		
参考書	『歯科臨床画像診断のチェックポイント』勝又明敏 編集(医歯薬出版)、『デジタルデンティストリー:医療情報とデジタル画像超入門』有地榮一郎 他編集(永末書店)		
オフィスアワー	月曜日～金曜日 8:00～9:00、1号館3階 勝又教授室(勝又教授)、16:00～18:00、1号館2階 歯科放射線学研究室(飯田准教授、小日向講師、西山講師、北野助教)		
学生の意見等からの気づき	授業評価アンケートの内容を参考にして実習を進めたい		
評価方法	制作物・テスト		
フィードバック方法	制作物に関する質問の解説等		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	6/27(火)	3時限	勝又明敏	適切な画像診断のために顎顔面CT画像の読影を理解する	顎顔面で用いるCT画像の種類、顎顔面CT画像の主要な解剖構造、および顎関節のMR画像診断を説明できる	教科書第4章5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑨
第2回	6/27(火)	4時限	勝又明敏	適切な画像診断のために顎顔面CT画像の読影を理解する	顎顔面で用いるCT画像の種類、顎顔面CT画像の主要な解剖構造、および顎関節のMR画像診断を説明できる	教科書第4章5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑨

第3回	7/4(火)	3時限	勝又明敏	適切な画像診断のために顎顔面MR画像の読影を理解する	顎顔面で用いるMR画像の種類、顎顔面MR画像の主要な解剖構造、およびインプラント症例のCT画像を説明できる	教科書第4章5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑨
第4回	7/4(火)	4時限	勝又明敏	適切な画像診断のために顎顔面MR画像の読影を理解する	顎顔面で用いるMR画像の種類、顎顔面MR画像の主要な解剖構造、およびインプラント症例のCT画像を説明できる	教科書第4章5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑨
第5回	7/11(火)	3時限	勝又明敏	適切な画像診断のために歯と顎骨疾患の画像所見を理解する	う蝕、歯周病、その他の歯の疾患の画像所見、および腫瘍、嚢胞、外傷、その他顎顔面疾患の画像所見を説明できる	教科書第4章5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑦
第6回	7/11(火)	4時限	勝又明敏	適切な画像診断のために歯と顎骨疾患の画像所見を理解する	う蝕、歯周病、その他の歯の疾患の画像所見、および腫瘍、嚢胞、外傷、その他顎顔面疾患の画像所見を説明できる	教科書第4章5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑧
								E-1-2)-⑨
第7回	7/18(火)	3時限	勝又明敏	適切な画像診断のために顎顔面疾患の画像所見を理解する	上顎洞、唾液腺、その他組織の疾患の画像所見を説明できる	教科書第4章5章の予習と講義配布資料による復習	1時間	E-1-2)-⑦
第8回	7/18(火)	4時限	勝又明敏	適切な画像診断のために顎顔面疾患の画像所見を理解する	歯科放射線学・実習のまとめ(小テスト)	講義配布資料による復習		E-1-2)-⑧
								E-1-2)-⑨

18 歯周病学

ナンバリング	ODT-3-04	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	◎辰巳順一教授・瀧野裕行(タキノ歯科医院)・山本敦彦(山本歯科)・清水浩一(うずら歯科)・申基喆(明海大学歯学部)・◎北後光信准教授・◎森永啓嗣助教・◎佐藤匠助教・◎清水雄太助教		
授業概要	歯周病は罹患率が高く、永久歯の喪失の最大原因となる疾患である。歯周病の原因、病態、症状と治療法を理解するため、歯周組織の構造と機能および、歯周病の原因である関連細菌、さらには歯周病の病態、症状を学び、診査法、検査法、診断、予防法と治療法を理解し、歯科臨床各科との関連性についても学ぶ。治療法については歯周基本治療、各種歯周外科手術及び最終補綴、メンテナンスについて学ぶ。また、歯周病と全身疾患の関連性についての知識を学ぶ。		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	○歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。 ○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。 ○多様化する地域社会の歯科医療ニーズにきめ細やかに対応し、口腔ケア、在宅歯科診療や、地域包括ケアシステムなど多職種連携チーム医療をもとに、地域社会に貢献する歯科医療を実践できる高い臨床能力を身につけている。 ○研究心と論理的思考能力を持って日々進歩する歯科医学・歯科医療を常に研鑽し、歯科医療の発展のために生涯にわたり自らの歯科医療の知識と技術の向上を図ることができる。		
到達目標	① 歯周疾患について理解する。総論 ② 歯周病の検査と診断法について理解し、説明できる。臨床・知識 ③ 診断に基づいた歯周治療法について理解し、説明できる。臨床・技能		
教育手法	講義		
履修の条件・注意事項	講義の受講に当たっては、生化学、生理学、歯科理工学、微生物学、薬理学で学んだ知識を備えておくことが望ましい。		
教科書	『ザ・ペリオドントロジー 第4版』(永末書店)		
参考書	『臨床歯周病学 第3版』(医歯薬出版)		
オフィスアワー	月曜日～金曜日 16時～18時 辰巳教授(辰巳教授室)、北後准教授・森永助教・佐藤助教・清水助教(1号館2階歯周病学研究室)		
学生の意見等からの気づき	授業評価アンケートにおいて好評であったわかりやすいプリントをさらに改良し、今後も活用していく。		
評価方法	定期試験(但し、小テストにおいてすべての回で70点以上取得が受験資格となる)		
フィードバック方法	—		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	9/8(金)	3時限	辰巳	歯周治療の意義、目的、歯周組織の構造を理解する	歯周治療の意義、目的、歯周組織の構造を説明できる	事前に教科書の該当部分に目を通し概要を把握しておくこと。教科書(p2～11) 歯肉、歯肉上皮 分類、機能、結合組織 細胞、線維、歯根膜 細胞、構造、機能、歯槽骨 分類、機能、代謝、セメント質	1.5時間	E-3-1)-②

第2回	9/8(金)	4時限	佐藤	歯周病と病理組織学的変化、プラーク細菌を理解する	歯周病の病理組織学的変化、プラーク細菌について説明できる	教科書(p12~19) 炎症性細胞浸潤、接合上皮、仮性ポケット、歯周ポケット、歯槽骨吸収、歯周炎の進行過程、口腔細菌叢、バイオフィーム、デンタルプラーク、病原性因子、新たな概念	1.5時間	E-2-4)-(11)-③
第3回	9/15(金)	3時限	清水(雄)	歯周病と免疫学、生化学的变化、歯周病と歯槽骨吸収を理解する	歯周病と免疫学、生化学的变化、歯周病と歯槽骨吸収を説明できる	教科書(p20~33) 歯周病で展開される免疫応答、歯周病の発症と進行、歯周組織を構成する組織の生化学的特徴、歯周病と白血球の遊走、歯周病と炎症メディエーター、歯周組織破壊とタンパク質分解酵素	1.5時間	E-3-1)-④
第4回	9/15(金)	4時限	辰巳	歯周病の原因、病因を理解する	歯周病の原因、病因を説明できる	教科書(p38~41) 歯周病の原因、病因	1.5時間	E-3-2)-③
第5回	9/22(金)	3時限	辰巳	歯周病のリスクファクター、遺伝的背景を理解する	歯周病のリスクファクター、遺伝的背景を説明できる	教科書(p42~59) 歯周病のリスクファクター、遺伝的背景	1.5時間	E-3-2)-④
第6回	9/22(金)	4時限	辰巳	ペリオドンタルメディシンを理解する	ペリオドンタルメディシンについて説明できる	教科書(p60~83) 歯周病と全身疾患との関連性	1.5時間	E-3-2)-④
第7回	9/28(木)	1時限	佐藤	小テスト①	歯周病の基礎知識とリスクファクターについて説明できる	教科書(p2~83)	1.5時間	E-3-2)-⑤
第8回	9/28(木)	2時限	辰巳	歯周病の分類と診断を理解する	歯周病の分類と診断について説明できる	教科書(p84~90) 歯周病の分類、診断基準、臨床所見	1.5時間	E-3-2)-②
第9回	9/29(金)	3時限	辰巳	歯周病の分類と診断を理解する	歯周病の分類と診断について説明できる	教科書(p84~90) 歯周病の分類、診断基準、臨床所見	1.5時間	E-3-2)-④
第10回	9/29(金)	4時限	森永	歯周病の検査を理解する プラーク検査・ポケット測定・動揺度・アタッチメントレベル・根分岐部病変・エックス線画像検査・歯肉溝滲出液・細菌検査・口臭検査	歯周病の検査について説明できる	教科書(p91~104) 歯周検査法、その他の検査	1.5時間	E-3-3)-(3)-②
第11回	10/5(木)	1時限	辰巳	歯周治療の進め方・プラークコントロール、スケーリング・ルートプレーニング①	歯周治療の進め方・プラークコントロール・スケーリングについて説明できる	教科書(p106~123) 物理的プラークコントロール、化学的プラークコントロール	1.5時間	E-3-3)-(3)-②
第12回	10/5(木)	2時限	辰巳	スケーリング・ルートプレーニング②	ルートプレーニングについて説明できる	教科書(p124~131) 使用器具、使用方法、スケーリングの限界	1.5時間	E-3-3)-(3)-③
第13回	10/6(金)	3時限	佐藤	小テスト②	歯周病の原因と分類、治療の流れ、スケーリング・ルートプレーニングを説明できる	教科書(p84~131)	1.5時間	E-3-3)-(3)-④
第14回	10/6(金)	4時限	北後	暫間固定、咬合調整	暫間固定、咬合調整について説明できる	教科書(p132~135) スケーリング手技、スケーラーの研磨方法	1.5時間	E-3-3)-(3)-⑤

第15回	10/19(木)	1時限	北後	歯内-歯周病変、抜歯の判定基準、象牙質知覚過敏症、再評価	歯内-歯周病変、抜歯の判定基準、象牙質知覚過敏症、再評価について説明できる	教科書(p136～144) 歯内-歯周病変の分類と治療法、象牙質知覚過敏の原因と治療法、再評価の目的とその内容	1.5時間	E-3-3)-(3)-③
第16回	10/19(木)	2時限	辰巳	歯周外科の目的、基本事項、歯周組織の創傷治癒と再生	歯周外科の目的、基本事項、歯周組織の創傷治癒と再生について説明できる	教科書(145～151) 歯周外科処置の効果と限界、歯周外科治療の目的と基本事項、軟組織の創傷治癒	1.5時間	E-3-3)-(3)-⑤
第17回	10/20(金)	1時限	辰巳	歯周外科処置に必要な器材	歯周外科処置に必要な器材について説明できる	教科書(p146-147)	1.5時間	E-3-3)-(3)-⑤
第18回	10/20(金)	2時限	森永	小テスト③	歯周基本治療と歯周外科処置の目的や基本事項が説明できる	教科書(p132-151)	1.5時間	E-3-3)-(3)-⑤
第19回	10/20(金)	3時限	辰巳	組織付着療法、切除療法、歯周組織再生療法(GTR)	組織付着療法、切除療法、歯周組織再生療法(GTR)	教科書(p152～160) 組織付着療法、切除療法、再生療法	1.5時間	E-3-3)-(3)-⑤
第20回	10/20(金)	4時限	辰巳	歯周組織再生療法(EMD, FGF-2)	歯周組織再生療法(EMD, FGF-2)について説明できる	教科書(p160～174) 歯周組織再生療法	1.5時間	E-3-3)-(3)-⑤
第21回	10/26(木)	1時限	辰巳	歯周形成手術(PPS)	軟組織形態の異常と歯周形成手術について説明できる	教科書(p175～182) 歯周形成手術	1.5時間	E-3-3)-(3)-⑤
第22回	10/26(木)	2時限	辰巳	根分岐部病変の分類と治療法	根分岐部病変に対する診断と治療法について説明できる	教科書(p183～187) 根分岐部病変	1.5時間	E-3-3)-(3)-②
第23回	10/27(金)	3時限	辰巳	特殊な歯周疾患の診断と治療方法	特殊歯周疾患について説明できる	教科書(p261-283)	1.5時間	E-3-3)-(3)-②
第24回	10/27(金)	4時限	辰巳	歯周病の新分類	歯周病の新分類について説明できる	教科書(p90)	1.5時間	E-3-2)-②
第25回	11/10(金)	1時限	清水(雄)	小テスト④	歯周組織再生療法、歯周形成手術、特殊歯周疾患の対処法、歯周病の新分類について説明できる	教科書(p283まで)	1.5時間	E-3-3)-(3)-④
第26回	11/10(金)	2時限	清水(浩)	歯周病と予防治療	歯周病に対する予防治療について説明できる	教科書(p252～261) 歯周病の予防管理	1.5時間	E-3-3)-(3)-②
第27回	11/30(木)	1時限	山本	歯周治療におけるレーザーの応用	歯周治療におけるレーザーの応用について説明できる	教科書(p210～212)、レーザー	1.5時間	E-3-3)-(3)-③
第28回	11/30(木)	2時限	瀧野	歯周病と審美歯科	歯周治療と審美歯科について説明できる	教科書(p175～199) 歯周形成外科手術、根分岐部病変、口腔機能回復療法	1.5時間	E-3-3)-(3)-④
第29回	12/7(木)	1時限	申	ライフステージを通じた歯周治療	ライフステージを通じた歯周治療について説明できる	教科書(p228～243) ライフステージを通じた歯周治療	1.5時間	E-3-3)-(3)-⑤
第30回	12/7(木)	2時限	辰巳	歯周病学総括	歯周病学全般について説明できる	総括	1.5時間	E-3-3)-(3)-⑤

19 歯周病学実習

ナンバリング	ODT-3-05	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	辰巳教授(実務家教員)・北後准教授(実務家教員)・森永助教(実務家教員)・佐藤助教(実務家教員)・清水助教(実務家教員)・伊神助教(実務教員)(村上非常勤講師・梶川非常勤講師・堀口非常勤講師・村橋非常勤講師・金澤非常勤講師・永橋非常勤講師・堀田非常勤講師・森本史非常勤講師・川畑非常勤講師・春名非常勤講師・向井非常勤講師・高木非常勤講師・後藤非常勤講師・渡邊非常勤講師・西田非常勤講師・西馬非常勤講師)(実務家教員)		
授業概要	1) 歯周疾患の実態並びに進行過程を把握するために最も重要な検査の1つである歯周ポケットプロービングの方法を学ぶ。2) 歯周基本治療で基本的手技であるグレーシーキュレットを使ったスクレーピング・ルートプレーニングを学ぶ3) 歯周基本治療である歯周組織を安静に保つための暫間固定の手技を学ぶ4) 歯周組織の環境を改善するための歯周外科手術の方法を学ぶ5) 医療面接、病状説明、ブラッシング指導などの臨床技術を学ぶ		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	○歯科医師として必要な倫理観や人間性を身につけるとともに、幅広い知識と豊かな教養そして社会性を有している。 ○歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。 ○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。 ○多様化する地域社会の歯科医療ニーズにきめ細やかに対応し、口腔ケア、在宅歯科診療や、地域包括ケアシステムなど多職種連携チーム医療をもとに、地域社会に貢献する歯科医療を実践できる高い臨床能力を身につけている。		
到達目標	歯周治療お行うために必要な知識、技能、態度の習得		
教育手法	—		
履修の条件・注意事項	—		
教科書	朝日大学歯周病学実習書(Moodleにアップロード)・『ザ・ペリオドントロジー第4版』(永末書店)		
参考書	『臨床歯周病学』第3版(医歯薬出版)		
オフィスアワー	月曜日～金曜日 16時～18時 辰巳教授(辰巳教授室)、北後准教授・森永助教・佐藤助教・清水助教・伊神助教(歯周病学研究室)		
学生の意見等からの気づき	—		
評価方法	実習試験90%、態度10%		
フィードバック方法	実習中にフィードバックを行う		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	11/10(金)	3限	全員	歯と歯周組織の状態を知るための検査法を理解する	組織破壊状態の検査が説明できる	教科書(91～110)ポケットデプス・BOP・動揺度	1.5時間	F-2-2)-④
第2回	11/10(金)	4限	全員	スクレーピング・ルートプレーニングを理解する	スクレーピング・ルートプレーニングの意義、器具、方法を説明できる	教科書(124～131)スクレーピング・ルートプレーニング、グレーシーキュレット	1.5時間	F-3-3)-⑤
第3回	11/17(金)	3限	全員	スクレーピング・ルートプレーニングを理解する	スクレーピング・ルートプレーニングの意義、器具、方法を説明できる	教科書(124～131)スクレーピング・ルートプレーニング、グレーシーキュレット	1.5時間	F-3-3)-⑤
第4回	11/17(金)	4限	全員	スクレーピング・ルートプレーニングを理解する	スクレーピング・ルートプレーニングの意義、器具、方法を説明できる	教科書(124～131)スクレーピング・ルートプレーニング、グレーシーキュレット	1.5時間	F-3-3)-⑤

第5回	11/24(金)	3限	全員	スケーリング・ルートプレーニングを理解する	スケーリング・ルートプレーニングの意義、器具、方法を説明できる	教科書(124～131)スケーリング・ルートプレーニング、グレーシーキュレット	1.5時間	F-3-3)-⑤
第6回	11/24(金)	4限	全員	歯周基本治療の暫間固定を理解する	暫間固定の目的、種類、術式を説明できる	教科書(132～133)エナメルボンディングシステム	1.5時間	F-3-3)-⑥
第7回	12/1(金)	3限	全員	歯周外科治療の目的、適応、術式、治癒形態を理解する	歯周外科治療の目的、適応、術式、治癒形態を説明できる	教科書(145～174)歯周外科治療の分類、全層弁、部分層弁切開法、縫合法		E-3-3)-(3)-④
第8回	12/1(金)	4限	全員	歯周外科治療の目的、適応、術式、治癒形態を理解する	歯周外科治療の目的、適応、術式、治癒形態を説明できる	教科書(145～174)歯周外科治療の分類、全層弁、部分層弁切開法、縫合法		E-3-3)-(3)-④
第9回	12/8(金)	3限	全員	医療面接を理解する	医療面接を説明できる・歯周疾患に関して説明できる・組織破壊の説明ができる	教科書(84～106)主訴、現病歴、既往歴、ポケットデプス・BOP・動揺度		F-2-1)-⑦
第10回	12/8(金)	4限	全員	医療面接を理解する	医療面接を説明できる・歯周疾患に関して説明できる・組織破壊の説明ができる	教科書(84～106)主訴、現病歴、既往歴、ポケットデプス・BOP・動揺度		F-2-1)-⑦
第11回	12/15(金)	3限	全員	プラークコントロールを理解する	プラークコントロールを説明できる	教科書(115～123)ブラッシング法。スクラッピング法、PCR、モチベーション		F-3-3)-④
第12回	12/15(金)	4限	全員	プラークコントロールを理解する	プラークコントロールを説明できる	教科書(115～123)ブラッシング法。スクラッピング法、PCR、モチベーション		F-3-3)-④

20 口腔外科学 I

ナンバリング	ODT-3-14	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	◎村松泰徳、江原雄一、長縄鋼亮、安村真一、渡邊一弘		
授業概要	口腔・顎顔面外科学は、口腔・顎顔面領域に発現した種々の疾患を診断し、その治療法を決定するための学問である。口腔外科学 I では口腔外科疾患の診察・検査法、小手術に必要な基本的治療法および口腔顎顔面領域の先天異常について学ぶ。		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	○歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。 ○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。		
到達目標	① 口腔外科疾患の診察について理解し、説明できる。臨床・知識 ② 口腔外科疾患の検査について理解し、説明できる。臨床・知識 ③ 口腔外科小手術について理解し、説明できる。臨床・技能 ④ 口腔顎顔面領域の先天異常について理解し、説明できる。臨床		
教育手法	講義中に随時確認のための小テストを行う。		
履修の条件・注意事項	口腔外科学は生理、解剖などの基礎歯科学をベースとした全身的な医科学との関連性が重要であるため、これらの教科について、再度復習をしたうえで講義に臨んでください。		
教科書	『口腔外科学(第4版)』 白砂兼光、古郷幹彦 編 (医歯薬出版) 『SIMPLE TEXT口腔外科の疾患と治療(第5版)』 栗田賢一、覚道健治 編 (永末出版)		
参考書	—		
オフィスアワー	月曜日～木曜日 16:30～18:00、口腔外科学第1研究室 歯科口腔外科 (医局員) 月曜日～金曜日 16:30～18:00、朝日大学病院 5階 歯科口腔外科外来 (医局員)		
学生の意見等からの気づき	スライド等の視覚的教材を多用し、症例や手術の実際のイメージを焼き付ける。		
評価方法	定期試験の点数、平常点として各授業中に行う小テストおよびレポート等の提出物を総合的に評価する。		
フィードバック方法	随時、小テストを解説し、理解力の確認、向上を目指す。		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	9/6(水)	3時限	村松	口腔外科的治療を説明できる。	小手術の適応症と禁忌症を説明できる。 小手術の合併症(偶発症)を説明できる。	教科書・参考書の手術に関する章	1時間	
第2回	9/6(水)	4時限	村松	口腔外科的治療を説明できる。	小手術に必要な器具と用法を説明できる。 切開と剥離について説明できる。 縫合と止血について説明できる。	教科書・参考書の手術に関する章	1時間	
第3回	9/13(水)	3時限	村松	口腔外科的治療を説明できる。	手指と術野の消毒法について説明できる。 清潔と不潔の区別を説明できる。 器具の滅菌と消毒を説明できる。	教科書・参考書の手術に関する章	1時間	
第4回	9/13(水)	4時限	村松	口腔外科的治療を説明できる。 手術に関する多肢選択試験	抜歯について説明できる。 周期管理について説明できる。	教科書・参考書の手術に関する章	1時間	
第5回	9/20(水)	3時限	長縄	口腔外科の診察で確認すべき症候を説明できる。	全身的な症候を説明できる。 顔面の症候を説明できる。 口腔粘膜の症候を説明できる。 顎骨の症候を説明できる。 顎関節の症候を説明できる。 筋の症候を説明できる。 リンパ節の症候を説明できる。 唾液腺の症候を説明できる。 感覚異常を説明できる。	教科書・参考書の口腔外科的診察に関する章授業プリント	1時間	
第6回	9/20(水)	4時限	長縄	口腔外科に必要な診察項目を説明できる。	医療面接を説明できる。 バイタルサインを説明できる。 顔貌、口腔粘膜、所属リンパ節、唾液腺、顎骨、顎関節及び筋の診察を説明できる。	教科書・参考書の口腔外科的診察に関する章授業プリント	1時間	
第7回	9/27(水)	3時限	長縄	口腔外科に必要な検査を説明できる。	診断及び治療効果の評価を目的とする検査を説明できる。スクリーニング検査を説明できる。 検査の必要性を説明できる。 検体検査、生体機能検査、顎口腔機能検査、皮膚検査を説明できる。	教科書・参考書の口腔外科的診察に関する章授業プリント	1時間	
第8回	9/27(水)	4時限	長縄	口腔外科に必要な検査を説明できる。 口腔外科の診察と検査の小テスト	診断及び治療効果の評価を目的とする検査を説明できる。スクリーニング検査を説明できる。 検査の必要性を説明できる。 検体検査、生体機能検査、顎口腔機能検査、皮膚検査を説明できる。	教科書・参考書の口腔外科的診察に関する章授業プリント	1時間	
第9回	10/4(水)	3時限	江原(雄)	口腔・顎顔面の先天異常を説明できる。	先天異常と後天異常を説明できる。 口腔・顎顔面領域に症状を伴う全身疾患(先天異常)を説明できる。 薬物・放射線による有害事象(先天異常)を説明できる。 顔面裂を説明できる。 口唇裂・口蓋裂を説明できる。	教科書・参考書の口腔外科的診察に関する章授業プリント	1時間	

第10回	10/4(水)	4時限	江原(雄)	口腔・顎顔面の先天異常を説明できる。	先天異常と後天異常を説明できる。 口腔・顎顔面領域に症状を伴う全身疾患(先天異常)を説明できる。 薬物・放射線による有害事象(先天異常)を説明できる。 顔面裂を説明できる。 口唇裂・口蓋裂を説明できる。	教科書・参考書の口腔外科的診察に関する章授業プリント	1時間	
第11回	10/11(水)	3時限	江原(雄)	口腔・顎顔面の先天異常を説明できる。	口唇裂・口蓋裂, 鼻咽腔閉鎖不全, 顔面裂, 言語治療を説明できる。	教科書・参考書の口腔外科的診察に関する章授業プリント	1時間	
第12回	10/11(水)	4時限	江原(雄)	口腔・顎顔面の先天異常を説明できる。 先天異常口唇口蓋裂の小テスト	口唇裂・口蓋裂, 鼻咽腔閉鎖不全, 顔面裂, 言語治療を説明できる。	教科書・参考書の口腔外科的診察に関する章授業プリント	1時間	
第13回	10/18(水)	3時限	江原(雄)	口腔・顎顔面の先天異常を説明できる。	小帯異常その他の口腔領域の先端異常を説明できる。 顎変形症を説明できる。	教科書・参考書の口腔外科的診察に関する章授業プリント	1時間	
第14回	10/18(水)	4時限	江原(雄)	口腔・顎顔面の先天異常を説明できる。	小帯異常その他の口腔領域の先端異常を説明できる。 顎変形症を説明できる。	教科書・参考書の口腔外科的診察に関する章授業プリント	1時間	
第15回	10/25(水)	3時限	江原(雄)	口腔・顎顔面の先天異常を説明できる。	小帯異常その他の口腔領域の先端異常を説明できる。 顎変形症を説明できる。	教科書・参考書の口腔外科的診察に関する章授業プリント	1時間	
第16回	10/25(水)	4時限	江原(雄)	口腔・顎顔面の先天異常を説明できる。 先天異常顎変形症の小テスト	小帯異常その他の口腔領域の先端異常を説明できる。 顎変形症を説明できる。	教科書・参考書の口腔外科的診察に関する章授業プリント	1時間	
第17回	11/1(水)	3時限	安村	損傷の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	損傷の種類、特徴及び治癒過程を説明できる。 損傷の治療方針(治療の優先順位)を説明できる。	病理で習った創傷治癒の項目 教科書の損傷の項目	1時間	
第18回	11/1(水)	4時限	安村	損傷の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	歯の損傷と歯槽骨折の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	教科書の損傷の項目	1時間	
第19回	11/8(水)	3時限	安村	損傷の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	顎顔面骨折の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	教科書の損傷の項目	1時間	
第20回	11/8(水)	4時限	安村	損傷の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	口腔上顎洞瘻について原因、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	教科書の損傷の項目	1時間	
第21回	11/15(水)	3時限	安村	損傷の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	軟組織損傷の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	教科書の損傷の項目	1時間	
第22回	11/15(水)	4時限	安村	損傷の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 損傷に関する小テスト	軟組織損傷の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	教科書の損傷の項目	1時間	
第23回	11/22(水)	3時限	渡邊(一)	顎関節疾患の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	顎関節構造と機能を説明できる。 顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。	解剖、生理で習った顎関節の構造と機能 教科書の顎関節疾患の項目	1時間	
第24回	11/22(水)	4時限	渡邊(一)	顎関節疾患の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	顎関節の発育異常の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	教科書の顎関節疾患の項目	1時間	
第25回	11/29(水)	3時限	渡邊(一)	顎関節疾患の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	顎関節外傷の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 顎関節炎の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	教科書の顎関節疾患の項目	1時間	
第26回	11/29(水)	4時限	渡邊(一)	顎関節疾患の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 顎関節疾患に関する小テスト	顎関節の腫瘍及び腫瘍類似疾患の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 顎関節強直症の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 顎関節症の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 筋腱・権幕過形成の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	教科書の顎関節疾患の項目	1時間	
第27回	12/6(水)	3時限	江原(雄)	唾液と唾液腺について症候や検査を含めて説明できる。 唾液腺疾患の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	唾液の性状、構成成分及び機能を説明できる。 唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を説明できる。 唾液腺の症候を説明できる。 唾液・唾液腺の検査を説明できる。	解剖、生理で習った唾液腺の構造と機能 教科書の唾液腺疾患の項目	1時間	
第28回	12/6(水)	4時限	江原(雄)	唾液腺疾患の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	唾石症の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 唾液腺炎の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	病理で習った唾液腺疾患の項目教科書の唾液腺疾患の項目	1時間	

第29回	12/13(水)	3時限	江原 (雄)	唾液腺疾患の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	唾液腺腫瘍の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 唾液腺に発生する腫瘍類似疾患を概説できる。 ウイルス性唾液腺炎の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	病理で習った唾液腺疾患の項目教科書の唾液腺疾患の項目	1時間
第30回	12/13(水)	4時限	江原 (雄)	唾液腺疾患の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 唾液腺疾患に関する多肢選択試験。	Sjögren 症候群の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 唾液腺損傷の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 唾液腺粘液貯留嚢胞の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 IgG4関連疾患の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 口腔乾燥症の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 流涎症の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	病理で習った唾液腺疾患の項目教科書の唾液腺疾患の項目	1時間

21 口腔衛生学

ナンバリング	SOH-3-02	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	友藤孝明(◎)、東 哲司(◎)、岩井浩明(◎)、米永崇利(◎)、入江浩一郎(◎)、川戸貴行(◎)、片岡宏介(◎)		
授業概要	歯科医師は歯科医療と保健指導を掌ることにより、公衆衛生の向上と増進に寄与し、人々の健康な生活を確保するプロフェッショナルである。人々が健康な生活を送るためには、個別的な対応だけでなく、個々では解決できないような問題に対する社会的対応も必要である。口腔衛生学は、個人の口腔の健康保持・増進はもとより、社会的対応を通じた口腔疾患の予防や健康の増進を図るための知識を学ぶ。		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	<p>○歯科医師として必要な倫理観や人間性を身につけるとともに、幅広い知識と豊かな教養そして社会性を有している。</p> <p>○歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。</p> <p>○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。</p> <p>○研究心と論理的思考能力を持って日々進歩する歯科医学・歯科医療を常に研鑽し、歯科医療の発展のために生涯にわたり自らの歯科医療の知識と技術の向上を図ることができる。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯・口腔の健康の概念について理解し、説明できる。 2. 歯・口腔に関する疫学および統計調査について理解し、説明できる。 3. 禁煙支援・指導について理解し、説明できる。 4. 口臭の検査と予防について理解し、説明できる。 5. ブラークコントロールについて理解し、説明できる。 6. 地域口腔保健活動およびライフステージ毎の口腔保健について理解し、説明できる。 		
教育手法	講義		
履修の条件・注意事項	教科書を持参すること。 講義資料は、Moodleのコース上にアップロードするので、必要に応じて各自のiPad等にダウンロードすること。 なお、iPadの講義への持ち込みは可とする。		
教科書	『口腔保健・予防歯科学』(医歯薬出版)、配布資料		
参考書	『スタンダード衛生・公衆衛生』(学建書院)、公衆衛生がみえる(医療情報科学研究所)		
オフィスアワー	月曜日～金曜日 16:40～18:00、1号館3階 友藤教授室(友藤教授)、1号館4階 社会口腔保健学研究室(東准教授)		
学生の意見等からの気づき	前年度の授業評価アンケートの内容を参考にして授業を進める。		
評価方法	定期試験の成績(100%) なお、定期試験の受験資格は、「授業の出席80%以上」および「確認テストの正答率が70%以上」とする。		
フィードバック方法	確認テスト、STS、解説によるフィードバック		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	4/6(木)	3時限	友藤	健康と疾病予防の概念を理解する。	健康と疾病予防の概念を説明できる。	教科書:序論(p1～p9)の範囲を自学自習する。	30分	B-1-①
				疾病のリスクファクターを理解する。	非感染性疾患(NCDs)のリスクファクターを列挙できる。			B-1-②
				歯科疾患の自然史と予防のレベルを理解する。	口腔保健における、歯科自然史に応じた第1次、第2次、第3次予防を例示できる。			B-3-1)-①

第2回	4/6(木)	4時限	友藤	疫学研究の分類と進め方を理解する。	記述疫学、分析疫学、介入研究の違いを説明できる。	教科書:口腔保健と疫学(p95～p110)の範囲を自学自習する。	30分	B-4-1)-①
				調査と健康管理のための集団口腔診査を理解する。	スクリーニングの目的を説明できる。			B-4-1)-②
				調査と健康管理のための集団口腔診査を理解する。	感度、特異度を計算できる。			B-4-1)-②
				調査と健康管理のための集団口腔診査を理解する。	カットオフ値を説明できる。			B-4-1)-②
				EBMを理解する。	EBMの5つのステップを説明できる。			A-9-1)-①
第3回	4/7(金)	3時限	岩井	口腔保健の指標を理解する。	齲蝕の指標を列挙できる。	教科書:口腔保健と疫学(p111～p122)の範囲を自学自習する。	30分	B-4-1)-③
					歯周病の指標を列挙できる。			B-4-1)-③
					口腔清掃状態の指標を列挙できる。			B-4-1)-③
					その他の歯科疾患の指標を列挙できる。			B-4-1)-③
第4回	4/7(金)	4時限	岩井	国民の口腔保健状況を理解する。	歯科疾患実態調査の概要と主な結果を説明できる。	教科書:国民の口腔保健状況(p123～p130)の範囲を自学自習する。	30分	B-4-2)-②
					学校保健統計調査の概要と主な結果を説明できる。			B-4-2)-②
					患者調査の概要と主な結果を説明できる。			B-4-2)-②
					国民生活基礎調査の概要と主な結果を説明できる。			B-4-2)-②
					国民健康・栄養調査の概要と主な結果を説明できる。			B-4-2)-②
第5回	4/13(木)	3時限	友藤	国際保健を理解する。	国際協力を説明できる。	教科書:国民の口腔保健状況(p274～p280)の範囲を自学自習する。	30分	B-2-2)-①
					国際保健医療協力機関を説明できる。			B-2-2)-①
第6回	4/13(木)	4時限	友藤	確認テスト(1)(範囲:第1回～第5回)と解説		第1回～第5回までの口腔衛生学の内容を自学自習する。	1時間	
第7回	4/14(金)	3時限	川戸	特別講義				
第8回	4/14(金)	4時限	入江	特別講義				
第9回	4/20(木)	3時限	東	地域活動と口腔保健医療を理解する。	地域保健活動の進め方を説明できる。	教科書:地域口腔保健序論(p193～p198)の範囲を自学自習する。	30分	B-2-2)-①
					地域保健活動における諸問題を説明できる。			B-2-2)-①
					地域と歯科医療施設との連携を説明できる。			B-2-2)-①

第10回	4/20(木)	4時限	東	学校保健の概要を理解する。	学校保健の領域を説明できる。	教科書:学校での口腔保健(p219～p237)の範囲を自学自習する。	30分	B-2-2)-①
					学校保健関連法規を説明できる。			B-2-2)-①
					学校保健関係者を説明できる。			B-2-2)-①
				児童生徒の口腔保健教育を理解する。	学校における歯・口の健康づくりを説明できる。			B-2-2)-①
				学校歯科医の役割と口腔保健管理を理解する。	学校における歯・口の健康診断を説明できる。			B-2-2)-①
第11回	4/27(木)	3時限	東	母子保健の概要を理解する。	母子保健に関する法律を説明できる。	教科書:母子の口腔保健(p199～p218)の範囲を自学自習する。	30分	B-2-2)-①
					母子保健事業の概要を説明できる。			B-2-2)-①
				妊産婦と乳幼児の口腔保健を理解する。	1歳6か月児歯科健康診査の概要を説明できる。			B-2-2)-①
					3歳児歯科健康診査の概要を説明できる。			B-2-2)-①
					児童虐待への対応を説明できる。			B-2-2)-①
第12回	4/27(木)	4時限	米永	産業保健の概要を理解する。	産業保健活動を説明できる。	教科書:職域での口腔保健(p247～p257)の範囲を自学自習する。	30分	B-2-2)-①
					産業保健管理(作業環境管理、作業管理、健康管理)を説明できる。			B-2-2)-①
					トータルヘルスプロモーションを説明できる。			B-2-2)-①
				職場における口腔保健を理解する。	職場での口腔保健管理を説明できる。			B-2-2)-①
					口腔にみられる職業性疾患を列挙できる。			B-2-2)-①
第13回	5/1(月)	1時限	東	成人の口腔保健の概要を理解する。	成人保健に関連する法律を説明できる。	教科書:成人の口腔保健(p238～p246)、高齢者の口腔保健(p258～264)の範囲を自学自習する。	30分	B-2-2)-①
					特定健康診査・特定保健指導を説明できる。			B-2-2)-①
					成人の口腔保健状況の特徴と口腔保健授業を説明できる。			B-2-2)-①
				高齢者の口腔保健の概要を理解する。	高齢者保健の概要を説明できる。			B-2-2)-①
					高齢者の口腔保健事業を説明できる。			B-2-2)-①
第14回	5/1(月)	2時限	東	確認テスト(2)(範囲:第9回～第13回)と解説		第9回～第13回までの口腔衛生学の内容を自学自習する。	1時間	
第15回	5/8(月)	1時限	東	口腔由来の口臭の原因と検査方法を理解する。	真性口臭症、仮性口臭症、口臭恐怖症を分類できる。	教科書:口臭(p64～p68)、口臭予防(p148～p151)の範囲を自学自習する。	30分	B-3-2)-①
					真性口臭の原因を説明できる。			B-3-2)-①
					口臭検査の方法を説明できる。			B-3-2)-①
					口臭の予防・管理を説明できる。			B-3-2)-①

第16回	5/8(月)	2時限	東	プラークコントロールを理解する。	プラークコントロールの分類を説明できる。	教科書:プラークコントロール(p152~p161)の範囲を自学自習する。	30分	B-3-2)-③
					ブラッシング方法を分類できる。			B-3-2)-③
第17回	5/15(月)	1時限	片岡	特別講義				
第18回	5/15(月)	2時限	片岡	特別講義				
第19回	5/22(月)	1時限	友藤	食生活指導、栄養指導を理解する。	食育基本法の概要を説明できる。	教科書:食育と食の支援(食生活指導、栄養指導)(p170~p173)の範囲を自学自習する。	30分	F-3-2)-④
					日本人の食事摂取基準の概要を説明できる。			F-3-2)-④
					間食指導を説明できる。			F-3-2)-④
					ライフステージと食の支援を説明できる。			F-3-2)-④
第20回	5/22(月)	2時限	友藤	健康教育の目的と要素を理解する。	健康教育の目的を説明できる。	教科書:行動科学と健康教育(p92~p94、p164~p169)の範囲を自学自習する。	30分	F-3-2)-⑤
					健康教育によるヘルスプロモーションを説明できる。			F-3-2)-⑤
					健康教育におけるヘルスリテラシーを説明できる。			F-3-2)-⑤
				喫煙・受動喫煙の健康影響を理解する。	喫煙・受動喫煙の健康影響を説明できる。			F-3-2)-⑥
					歯科で禁煙介入を行う利点を説明できる。			F-3-2)-⑥
				WHOの簡易型禁煙支援を理解する。	WHOの禁煙支援と動機づけ支援の手順と内容を説明できる。			F-3-2)-⑥
第21回	5/26(金)	1時限	岩井	齲蝕の概念と発生要因を理解する。	齲蝕の進行、病因論を説明できる。	教科書:齲蝕(p33~p44)、齲蝕予防(p132~p137)の範囲を自学自習する。	30分	B-3-2)-①
					齲蝕発生の3、4大要因を説明できる。			B-3-2)-①
				齲蝕リスクの検査・診断を理解する。	齲蝕リスクの早期発見のための検査・診査を列挙できる。			B-3-2)-①
					齲蝕リスクの予防・管理を説明できる。			B-3-2)-①
		口腔疾患の疫学的特徴を理解する。	齲蝕の疫学的特徴を説明できる。	B-4-1)-①				
第22回	5/26(金)	2時限	岩井	歯周病の分類と発生要因を理解する。	歯周病の定義と特徴を説明できる。	教科書:歯周病(p52~p63)、歯周病予防(p142~p147)の範囲を自学自習する。	30分	B-3-2)-①
					歯周病を分類できる。			B-3-2)-①
					歯周病の発生要因を列挙できる。			B-3-2)-①
				歯周病の検査・診断と予防管理の方法を理解する。	歯周病の検査方法を説明できる。			B-3-2)-①
					歯周病を予防・管理する方法を説明できる。			B-3-2)-①
				口腔疾患の疫学的特徴を理解する。	歯周病の疫学的特徴を説明できる。			B-4-1)-①

第23回	5/29(月)	1時限	東	フッ化物応用を理解する。	フッ化物の代謝を説明できる。	教科書:齲蝕(p44～p51)、齲蝕予防(p137～p140)の範囲を自学自習する。	30分	B-3-2)-②
					フッ化物の齲蝕予防機序を説明できる。			B-3-2)-②
					フッ化物の応用法を説明できる。			B-3-2)-②
					過剰フッ化物の為害作用を説明できる。			B-3-2)-②
第24回	5/29(月)	2時限	東	確認テスト(3)(範囲:第15回～第23回)と解説		第15回～第23回までの口腔衛生学の内容を自学自習する。	1時間	

22 口腔衛生学実習

ナンバリング	SOH-3-03	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	友藤孝明(◎)、東 哲司(◎)、岩井浩明(◎)、米永崇利(◎)、笹井保之(◎)、旭 律雄(◎)、今飯田 孝(◎)、土田 治(◎)、徳竹宏保(◎)、徳本龍弘(◎)、福井正人(◎)、馬淵直樹(◎)、米永哲朗(◎)、水野裕文(◎)、宮井久敬(◎)、西原寛人(◎)		
授業概要	集団を対象とした歯科疾患の予防・管理は、歯科医師が担う重要な役割である。本実習では、集団歯科健診を模した相互実習を介して、集団を対象とした歯科疾患の予防・管理に関する専門知識と専門技術を学ぶ。		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	<p>○歯科医師として必要な倫理観や人間性を身につけるとともに、幅広い知識と豊かな教養そして社会性を有している。</p> <p>○地域社会や国際未来社会で活躍できるコミュニケーション能力や英語能力を有しているとともに幅広い視野とリーダーシップを有している。</p> <p>○歯科医学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。</p> <p>○研究心と論理的思考能力を持って日々進歩する歯科医学・歯科医療を常に研鑽し、歯科医療の発展のために生涯にわたり自らの歯科医療の知識と技術の向上を図ることができる。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 集団歯科健診を説明できる。 2. う蝕の疫学的指標を説明できる。 3. 歯周病の疫学的指標を説明できる。 4. 集団を対象とした歯科疾患等の予防・管理の概要を説明できる。 		
教育手法	実習、プレゼンテーション		
履修の条件・注意事項	学校歯科健診、歯周疾患検診に関する知識を備えておくことが望ましい。		
教科書	『口腔保健・予防歯科学』(医歯薬出版)、配布資料		
参考書	—		
オフィスアワー	月曜日～金曜日 16:40～18:00、1号館3階 友藤教授室(友藤教授)、1号館4階 社会口腔保健学研究室(東准教授)		
学生の意見等からの気づき	—		
評価方法	レポート(60%)、実習テスト(30%)、態度(10%)		
フィードバック方法	IRATと解説によるフィードバック		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	4/21(金)	3時限	友藤東	集団歯科健診を理解する。	キャリブレーションの意義を説明できる。	教科書:p95～p122、p132～p147の範囲を自学自習する。	30分	B-4-1)-②
第2回	4/21(金)	4時限	友藤東	う蝕の疫学的指標を理解する。	相互実習において、DMFTを評価できる。			B-4-1)-③
第3回	4/28(金)	3時限	友藤東	歯周病の疫学的指標を理解する。	相互実習において、CPIを評価できる。	教科書:p95～p122、p132～p147の範囲を自学自習する。	30分	B-4-1)-③
第4回	4/28(金)	4時限	友藤東	口腔衛生状態の疫学的指標を理解する。	相互実習において、口腔衛生状態を評価できる。			B-4-1)-③

第5回	5/12(金)	3時限	友藤東	集団を対象とした歯科疾患等の予防・管理の概要を理解する。	集団を対象とした歯科疾患等の予防・管理について必要な情報を話し合える。	教科書:p95～p122、p132～p147の範囲を自学自習する。	30分	A-8-1)-③
第6回	5/12(金)	4時限	友藤東	必要な情報を収集し、整理できる。	チーム内で必要な情報を分担して収集し、各自の情報を持ち寄りチームとしての情報を整理・活用できる。			A-8-1)-③
第7回	5/26(金)	3時限	友藤東	プレゼンテーションができ、プレゼンテーションを聞いてその評価ができる。	集団を対象とした歯科疾患等の予防・管理についてチーム発表できる。	IRAT(20問)対策を行う。	1時間	A-8-1)-③
第8回	5/26(金)	4時限	友藤東	プレゼンテーションができ、プレゼンテーションを聞いてその評価ができる。	他のチーム発表を客観的に評価できる。			A-9-1)-①

23 地域社会と歯科医療Ⅲ (Aクラス)

ナンバリング	CMD-3-03	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	コーディネータ：◎谷口准教授(摂食嚥下リハビリテーション学分野)、岩崎准教授(摂食嚥下リハビリテーション学分野)		
授業概要	将来の地域医療を担当する歯科医師として、地域包括ケアシステムを担う歯科医療を実現する体系的学士課程の構築を目指して、各自が仮想診療所(私の歯科クリニック)を想定して、そのプロセスについて具体的に必要な諸条件を段階的に学ぶ。教授手法は参加型スパイラル・チーム学習による学年縦断でスパイラルに段階的に学びながら、得られた知識、技能、態度を基に、自ら学ぶ力と地域で活躍できる医療人に必要な能力を身につける。 3年次は、医療に関わる職種を理解した上で、歯科医療との連携・チーム医療の重要性を学び、患者の気持ちを理解する。		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	○歯科医師として必要な倫理観や人間性を身につけるとともに、幅広い知識と豊かな教養そして社会性を有している。 ○地域社会や国際未来社会で活躍できるコミュニケーション能力や英語能力を有しているとともに幅広い視野とリーダーシップを有している。 ○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。 ○多様化する地域社会の歯科医療ニーズにきめ細やかに対応し、口腔ケア、在宅歯科診療や、地域包括ケアシステムなど多職種連携チーム医療をもとに、地域社会に貢献する歯科医療を実践できる高い臨床能力を身につけている。 ○研究心と論理的思考能力を持って日々進歩する歯科医学・歯科医療を常に研鑽し、歯科医療の発展のために生涯にわたり自らの歯科医療の知識と技術の向上を図ることができる。		
到達目標	医療に関わる職種およびチーム医療を理解した上で、歯科医療との連携・チーム医療の重要性を学び、患者の気持ちを理解する。		
教育手法	1年次から5年次まで継続するスパイラル教科、3年生では18チームを2クラスに分け、TBL方式で授業行う。教育手法としてTBLを導入し、医療に関わる職種およびチーム医療の基本をPaper Patient及びe-learningにより課題点の抽出・PBLの手法を通して学ぶ。特にチーム医療として摂食嚥下支援チーム:SST、栄養サポートチーム:NSTなどを学ぶ。授業開始前にまず、予習課題を課す。授業ではIRATを施行した後、教員による解説を行い、この解説と各自のIRAT結果をもとにGRATを行う。次にPaper Patientを用いてプロブレムマップ作成・情報整理・問題への対応をチームで討議しまとめた後、発表する。最後に教員によるリソース講義を行い、各自体験レポートを作成・提出する。		
履修の条件・注意事項	1年次から2年次までの地域社会と歯科医療で学修した知識に加え、医療に関わる職種、歯科医療との連携・チーム医療の重要性を理解しておくことが望ましい。		
教科書	「よくわかる高齢者歯科学」(永末書店) 「歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学」(医歯薬出版)		
参考書	Moodle提示資料(学生用ガイド、講義資料)		
オフィスアワー	月曜日～金曜日 16:30～18:00 朝日大学病院、研究室(谷口准教授)		
学生の意見等からの気づき	-		
評価方法	MCQテスト(50%)、レポートのルーブリック評価および実習態度の評価(50%)		
フィードバック方法	口頭によるフィードバック		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	9/6(水)	1時限	谷口	学習目標の設定。	1) 地域社会と歯科医療Ⅲで習得すべき目標を設定し、目標シートが作成できる。 2) 医療に関わる職種と歯科医療との関連、チーム医療を理解する。	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習30分 復習30分	A-5-1)-①

第2回	9/6(水)	2時限	谷口	医療に関わる職種と歯科医療との関連、チーム医療を理解する。	1) 医療に関わる職種と歯科医療との関連、チーム医療を理解する。	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-①
第3回	9/20(水)	1時限	谷口 浅野	栄養士と歯科医療との関わりを理解する。	1) 栄養士と歯科医療との連携を説明できる。 2) 歯科に関わる患者の栄養評価、栄養の介入方法を説明できる。	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-②
第4回	9/20(水)	2時限	谷口 浅野	栄養士と歯科医療との関わりを理解する。	1) 歯科医療と栄養士との連携を説明できる。 2) 歯科に関わる患者の栄養評価、栄養の介入方法を説明できる。	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-②
第5回	10/4(水)	1時限	谷口 藤井	薬剤師と歯科医療との関わりを理解する。	1) 薬剤師と歯科医療との連携を説明できる。 2) 歯科に関わる患者への薬剤の影響: 摂食嚥下機能・口腔乾燥・全身機能への影響を説明できる。	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-②
第6回	10/4(水)	2時限	谷口 藤井	薬剤師と歯科医療との関わりを理解する。	1) 薬剤師と歯科医療との連携を説明できる。 2) 歯科に関わる患者への薬剤の影響: 摂食嚥下機能・口腔乾燥・全身機能への影響を説明できる。	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-②
第7回	10/18(水)	1時限	谷口 國井	看護師と歯科医療との関わりを理解する。	1) 看護師と歯科医療との連携を説明できる。 2) 歯科に関わる患者への看護評価、摂食嚥下機能評価、看護の介入方法を説明できる。	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-②
第8回	10/18(水)	2時限	谷口 國井	看護師と歯科医療との関わりを理解する。	1) 看護師と歯科医療との連携を説明できる。 2) 歯科に関わる患者への看護評価、摂食嚥下機能評価、看護の介入方法を説明できる。	これまでに授業全体を見直す(予習)	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-②
第9回	11/1(水)	1時限	谷口 福田	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士と歯科医療との関わりを理解する。	1) 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士と歯科医療との連携を説明できる。 2) 歯科に関わる患者への言語機能評価、全身機能評価: サルコペニア・フレイル等、リハビリの介入を説明できる。	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-②

第10回	11/1(水)	2時限	谷口 福田	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士と歯科医療との関わりを理解する。	1) 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士と歯科医療との連携を説明できる。 2) 歯科に関わる患者への言語機能評価、全身機能評価: サルコペニア・フレイル等、リハビリの介入を説明できる。	これまでに授業全体を見直す(予習)	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-②
第11回	11/15(水)	1時限	谷口 浅野 小南	チーム医療: 摂食嚥下支援チーム(SST)・栄養サポートチーム(NST)における歯科医療の役割を理解する。	1) チーム医療: SST・NSTを説明できる。 2) チーム医療: SST・NSTにおける歯科医療の役割を説明できる。	学内モデル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-②
第12回	11/15(水)	2時限	谷口 浅野 小南	チーム医療: 摂食嚥下支援チーム(SST)・栄養サポートチーム(NST)における歯科医療の役割を理解する。	1) チーム医療: SST・NSTを説明できる。 2) チーム医療: SST・NSTにおける歯科医療の役割を説明できる。	学内モデル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-②
第13回	11/29(水)	1時限	谷口 岩崎	周術期口腔機能管理を理解する。	1) 周術期口腔機能管理を説明できる。 2) 医療・歯科医療における周術期口腔機能管理の役割を説明できる。	学内モデル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	E-1-5)-⑩
第14回	11/29(水)	2時限	谷口 岩崎	周術期口腔機能管理を理解する。	1) 周術期口腔機能管理を説明できる。 2) 医療・歯科医療における周術期口腔機能管理の役割を説明できる。	学内モデル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	E-1-5)-⑩
第15回	12/13(水)	1時限	谷口	患者と歯科医療との関わり、医療倫理を理解する。	1) 患者と歯科医療との関わりを説明できる。 2) 医療倫理を説明できる。	学内モデル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-⑦
第16回	12/13(水)	2時限	谷口	総括(試験)		第15回までの資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-①

23 地域社会と歯科医療Ⅲ (Bクラス)

ナンバリング	CMD-3-03	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	コーディネータ：◎谷口准教授(摂食嚥下リハビリテーション学分野)、岩崎准教授(摂食嚥下リハビリテーション学分野)		
授業概要	<p>将来の地域医療を担当する歯科医師として、地域包括ケアシステムを担う歯科医療を実現する体系的学士課程の構築を目指して、各自が仮想診療所(私の歯科クリニック)を想定して、そのプロセスについて具体的に必要な諸条件を段階的に学ぶ。教授手法は参加型スパイラル・チーム学習による学年縦断でスパイラルに段階的に学びながら、得られた知識、技能、態度を基に、自ら学ぶ力と地域で活躍できる医療人に必要な能力を身につける。</p> <p>3年次は、医療に関わる職種を理解した上で、歯科医療との連携・チーム医療の重要性を学び、患者の気持ちを理解する。</p>		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	<p>○歯科医師として必要な倫理観や人間性を身につけるとともに、幅広い知識と豊かな教養そして社会性を有している。</p> <p>○地域社会や国際未来社会で活躍できるコミュニケーション能力や英語能力を有しているとともに幅広い視野とリーダーシップを有している。</p> <p>○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。</p> <p>○多様化する地域社会の歯科医療ニーズにきめ細やかに対応し、口腔ケア、在宅歯科診療や、地域包括ケアシステムなど多職種連携チーム医療をもとに、地域社会に貢献する歯科医療を実践できる高い臨床能力を身につけている。</p> <p>○研究心と論理的思考能力を持って日々進歩する歯科医学・歯科医療を常に研鑽し、歯科医療の発展のために生涯にわたり自らの歯科医療の知識と技術の向上を図ることができる。</p>		
到達目標	医療に関わる職種およびチーム医療を理解した上で、歯科医療との連携・チーム医療の重要性を学び、患者の気持ちを理解する。		
教育手法	<p>1年次から5年次まで継続するスパイラル教科、3年生では18チームを2クラスに分け、TBL方式で授業行う。教育手法としてTBLを導入し、医療に関わる職種およびチーム医療の基本をPaper Patient及びe-learningにより課題点の抽出・PBLの手法を通して学ぶ。特にチーム医療として摂食嚥下支援チーム:SST、栄養サポートチーム:NSTなどを学ぶ。授業開始前にまず、予習課題を課す。授業ではIRATを施行した後、教員による解説を行い、この解説と各自のIRAT結果をもとにGRATを行う。次にPaper Patientを用いてプロブレムマップ作成・情報整理・問題への対応をチームで討議しまとめた後、発表する。最後に教員によるリソース講義を行い、各自体験レポートを作成・提出する。</p>		
履修の条件・注意事項	1年次から2年次までの地域社会と歯科医療で学修した知識に加え、医療に関わる職種、歯科医療との連携・チーム医療の重要性を理解しておくことが望ましい。		
教科書	「よくわかる高齢者歯科学」(永末書店) 「歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学」(医歯薬出版)		
参考書	Moodle提示資料(学生用ガイド、講義資料)		
オフィスアワー	月曜日～金曜日 16:30～18:00 朝日大学病院、研究室(谷口准教授)		
学生の意見等からの気づき	-		
評価方法	MCQテスト(50%)、レポートのルーブリック評価および実習態度の評価(50%)		
フィードバック方法	口頭によるフィードバック		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	9/13(水)	1時限	谷口	学習目標の設定。	<p>1) 地域社会と歯科医療Ⅲで習得すべき目標を設定し、目標シートが作成できる。</p> <p>2) 医療に関わる職種と歯科医療との関連、チーム医療を理解する。</p>	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習30分 復習30分	A-5-1)-①

第2回	9/13(水)	2時限	谷口	医療に関わる職種と歯科医療との関連、チーム医療を理解する。	1) 医療に関わる職種と歯科医療との関連、チーム医療を理解する。	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-①
第3回	9/27(水)	1時限	谷口 浅野	栄養士と歯科医療との関わりを理解する。	1) 栄養士と歯科医療との連携を説明できる。 2) 歯科に関わる患者の栄養評価、栄養の介入方法を説明できる。	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-②
第4回	9/27(水)	2時限	谷口 浅野	栄養士と歯科医療との関わりを理解する。	1) 歯科医療と栄養士との連携を説明できる。 2) 歯科に関わる患者の栄養評価、栄養の介入方法を説明できる。	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-②
第5回	10/11(水)	1時限	谷口 藤井	薬剤師と歯科医療との関わりを理解する。	1) 薬剤師と歯科医療との連携を説明できる。 2) 歯科に関わる患者への薬剤の影響: 摂食嚥下機能・口腔乾燥・全身機能への影響を説明できる。	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-②
第6回	10/11(水)	2時限	谷口 藤井	薬剤師と歯科医療との関わりを理解する。	1) 薬剤師と歯科医療との連携を説明できる。 2) 歯科に関わる患者への薬剤の影響: 摂食嚥下機能・口腔乾燥・全身機能への影響を説明できる。	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-②
第7回	10/25(水)	1時限	谷口 國井	看護師と歯科医療との関わりを理解する。	1) 看護師と歯科医療との連携を説明できる。 2) 歯科に関わる患者への看護評価、摂食嚥下機能評価、看護の介入方法を説明できる。	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-②
第8回	10/25(水)	2時限	谷口 國井	看護師と歯科医療との関わりを理解する。	1) 看護師と歯科医療との連携を説明できる。 2) 歯科に関わる患者への看護評価、摂食嚥下機能評価、看護の介入方法を説明できる。	これまでに授業全体を見直す(予習)	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-②
第9回	11/8(水)	1時限	谷口 福田	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士と歯科医療との関わりを理解する。	1) 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士と歯科医療との連携を説明できる。 2) 歯科に関わる患者への言語機能評価、全身機能評価: サルコペニア・フレイル等、リハビリの介入を説明できる。	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-②

第10回	11/8(水)	2時限	谷口 福田	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士と歯科医療との関わりを理解する。	1) 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士と歯科医療との連携を説明できる。 2) 歯科に関わる患者への言語機能評価、全身機能評価:サルコペニア・フレイル等、リハビリの介入を説明できる。	これまでに授業全体を見直す(予習)	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-②
第11回	11/22(水)	1時限	谷口 浅野 塩谷	チーム医療: 摂食嚥下支援チーム(SST)・栄養サポートチーム(NST)における歯科医療の役割を理解する。	1) チーム医療: SST・NSTを説明できる。 2) チーム医療: SST・NSTにおける歯科医療の役割を説明できる。	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-②
第12回	11/22(水)	2時限	谷口 浅野 塩谷	チーム医療: 摂食嚥下支援チーム(SST)・栄養サポートチーム(NST)における歯科医療の役割を理解する。	1) チーム医療: SST・NSTを説明できる。 2) チーム医療: SST・NSTにおける歯科医療の役割を説明できる。	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-②
第13回	12/6(水)	1時限	谷口 岩崎	周術期口腔機能管理を理解する。	1) 周術期口腔機能管理を説明できる。 2) 医療・歯科医療における周術期口腔機能管理の役割を説明できる。	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	E-1-5)-⑩
第14回	12/6(水)	2時限	谷口 岩崎	周術期口腔機能管理を理解する。	1) 周術期口腔機能管理を説明できる。 2) 医療・歯科医療における周術期口腔機能管理の役割を説明できる。	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	E-1-5)-⑩
第15回	12/20(水)	1時限	谷口	患者と歯科医療との関わり、医療倫理を理解する。	1) 患者と歯科医療との関わりを説明できる。 2) 医療倫理を説明できる。	学内ムードル上にある資料を予習する。配布された資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-⑦
第16回	12/20(水)	2時限	谷口	総括(試験)		第15回までの資料を復習する。	予習 30分 復習 30分	A-5-1)-①

24 歯科医学研究入門

ナンバリング	FDS-3-01	実務家教員や実務家による授業
担当教員 ◎：実務家教員	近藤信夫、他5名	
授業概要	専門分野の講演などを通して、歯科界を取り巻く超高齢社会の様々な問題点を理解し、歯科医療人としてどのように問題解決に参加してゆけるか、スモールグループの活動を通じて科学的に検討する。効率よく問題解決を達成するための具体策を、科学論文形式にまとめ、学会形式の発表と討論をグループ間で行う。それらを総合的にルーブリック評価する。	
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	<ul style="list-style-type: none"> ○歯科医師として必要な倫理観や人間性を身につけるとともに、幅広い知識と豊かな教養そして社会性を有している。 ○地域社会や国際未来社会で活躍できるコミュニケーション能力や英語能力を有しているとともに幅広い視野とリーダーシップを有している。 ○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。 ○多様化する地域社会の歯科医療ニーズにきめ細やかに対応し、口腔ケア、在宅歯科診療や、地域包括ケアシステムなど多職種連携チーム医療をもとに、地域社会に貢献する歯科医療を実践できる高い臨床能力を身につけている。 ○研究心と論理的思考能力を持って日々進歩する歯科医学・歯科医療を常に研鑽し、歯科医療の発展のために生涯にわたり自らの歯科医療の知識と技術の向上を図ることができる。 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①問題解決のためのグループワークを理解し、具体的な解決策を科学論文形式にまとめる技術力を養う。 ②グループ間での学会形式のプレゼンおよび討論を通じて、歯科医療人としての問題解決に要求される、総合的なリサーチマインド(科学的思考力)を学修する 	
教育手法	講義、グループ内でのディスカッションを通したグループワーク、グループ間でのプレゼンテーション、ディベートを行う。	
履修の条件・注意事項	特になし。	
教科書	必要に応じて、講演内容の資料等を配布する。	
参考書	必要に応じて、講演内容の資料等を配布する。	
オフィスアワー	月～金 16:30～18:00 3号館2階 近藤教授室、1号館4階生化学研究室	
学生の意見等からの気づき	前年度の授業評価アンケート等の内容を参考にして授業を進めてゆく。	
評価方法	提出物80%+学生相互、教授陣によるルーブリック評価20%	
フィードバック方法	Abstractや発表媒体については、ファシリテーターが必要に応じて指導する。	

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	10/30(月)	1時限	近藤他	講演を通して、歯科界を取り巻く超高齢社会などを取り巻く問題点を理解する。	生命科学の講義・実習で得た知識を、病態の解析などに応用できる。	歯科医学研究入門オリエンテーションを行い、学会発表形式(目的、方法、結果、考察、結論の記述の違いなど)についての説明を受ける。	0.5時間	A-8-1)-①
第2回	10/30(月)	2時限	近藤他	各自で演者の講演に関するAbstract(要旨)をまとめ、それらについてグループ内で討議を行うことで異なる視点からの理解を深める。	グループ討論を通して意見を集約できる。	グループ内で討論を進行するためのリーダー、記録、発表者を決め、討議進行の進め方を決めておく。各自でAbstractをまとめ提出する。	0.5時間	A-8-1)-①

第3回	11/6(月)	1時限	近藤 他	グループで取り組むべきテーマを決め、問題解決に必要な手段を理解する。	自ら問題点(テーマ)を探し出し、自己学習によって科学的に問題解決ができる。	自ら問題点(テーマ)を探し出し、自己学習によって科学的に問題解決ができる。	0.5時間	A-8-1)-①
第4回	11/6(月)	2時限	近藤 他	問題解決に必要な手段や具体的な方略を、討論を通じて理解する。	患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。	問題解決に必要な資料や文献の検索を行う。	0.5時間	A-8-1)-①
第5回	11/13(月)	1時限	近藤 他	学生間で知識の共有を図り、パワーポイント等の形式にまとめながら、発表する内容を理解する。	歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。		0.5時間	A-8-1)-①
第6回	11/13(月)	2時限	近藤 他	グループ内で発表のシュミレーションを繰り返し、適正な時間配分や形式について理解する。	歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。	作成した発表媒体(パワーポイント等)を提出する。	0.5時間	A-8-1)-①
第7回	11/27(月)	1時限	近藤 他	学生間での質疑、応答を通して、より良い問題解決策を理解し、まとめ上げる。	歯科医学・医療の改善の必要性と科学的研究の重要性を説明・発表できる。		0.5時間	A-8-1)-①
第8回	11/27(月)	2時限	近藤 他	学生間での質疑、応答を通して、より良い問題解決策を理解し、まとめ上げる。	歯科医学・医療の改善の必要性と科学的研究の重要性を説明・発表できる。	発表と討論に対する各自の所感を文章にまとめ提出する。	0.5時間	A-8-1)-①

25 基礎・臨床歯科学Ⅱ

ナンバリング	CDS-3-06	実務家教員や実務家による授業	○
担当教員 ◎：実務家教員	岩井、落合、東、柏俣、長瀬、設楽、清水、羽田、小日向、山本、木方、長縄、江原、佐藤、安村、渡邊		
授業概要	基礎・臨床歯科学Ⅱでは、3学年に開講する専門教育系科目(平成28年度版歯学教育モデル・コア・カリキュラムにおいて示された内容)について、共用試験(CBT)を見据えた多肢選択問題を講義中に提示し、解説することとする。また、各科目の学習到達度を学生に確認させるために、定期的の小テストを行う。		
授業の位置づけ ※ディプロマ・ポリシー	<ul style="list-style-type: none"> ○歯科医師として必要な倫理観や人間性を身につけるとともに、幅広い知識と豊かな教養そして社会性を有している。 ○地域社会や国際未来社会で活躍できるコミュニケーション能力や英語能力を有しているとともに幅広い視野とリーダーシップを有している。 ○歯科学の専門知識及び口腔疾患の予防・診断・治療に関する知識・技能を修得している。 ○全身医学との関連を理解し、患者にとって良質で安全な歯科医療を実践することができる。 ○多様化する地域社会の歯科医療ニーズにきめ細やかに対応し、口腔ケア、在宅歯科診療や、地域包括ケアシステムなど多職種連携チーム医療をもとに、地域社会に貢献する歯科医療を実践できる高い臨床能力を身につけている。 ○研究心と論理的思考能力を持って日々進歩する歯科学・歯科医療を常に研鑽し、歯科医療の発展のために生涯にわたり自らの歯科医療の知識と技術の向上を図ることができる。 		
到達目標	3学年に開講する専門教育系科目に準拠する。		
教育手法	講義		
履修の条件・注意事項	—		
教科書	各科目指定の教科書あるいは教材		
参考書	各科目指定の参考書		
オフィスアワー	オフィスアワーについては、各科目の教授要綱を参照すること。		
学生の意見等からの気づき	—		
評価方法	試験の成績を50%、平常の成績を50%の割合で算出して行う。なお、平常の成績は、小テスト(80%)及び総合ゼミ(20%)の結果から算出する。		
フィードバック方法	小テスト実施後、個別の解答、正否を確認する時間を設ける。		

回数	実施日	時限	担当者	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	事前事後学修	時間	モデル・コア・カリキュラム
第1回	4/21(金)	5時限		総合ゼミ				
第2回	5/19(金)	5時限		総合ゼミ				
第3回	6/16(金)	5時限		総合ゼミ				
第4回	7/14(金)	5時限		総合ゼミ				

第9回	9/11(月)	3時限	衛生 東	歯科疾患の自然史と予防のレベルを理解する。	口腔保健における、歯科自然史に応じた第1次、第2次、第3次予防を説明できる。	Moodleにアップロードした資料を自学自習する。	1時間	B-3-1)-①	
				齲蝕の概念と発生要因を理解する。	齲蝕発生の3、4大要因を説明できる。			B-3-2)-①	
				口腔由来の口臭の原因と検査方法を理解する。	真性口臭症、仮性口臭症、口臭恐怖症を分類し、説明できる。 口臭検査の方法を説明できる。			B-3-2)-①	
				適切な口腔清掃(歯磨剤を含む)の方法を理解する。	ブラークコントロールの意義と方法を説明できる。			B-3-2)-③	
第10回	9/11(月)	4時限	衛生 東	フッ化物応用を理解する。	フッ化物の齲蝕予防機序を説明できる。 フッ化物の応用法を説明できる。	Moodleにアップロードした資料を自学自習する。	1時間	B-3-2)-②	
				口腔保健の指標を理解する。	歯科疾患等の指標を列挙できる。			B-3-2)-②	
				歯科領域における保健医療統計・疫学調査を理解する。	歯科領域における保健医療統計・疫学調査の概要を列挙できる。			B-4-1)-③	
第11回	9/14(木)	1時限	病理 落合	口腔の嚢胞と嚢胞性疾患の概念と種類および特徴を理解する。	顎骨と軟組織に発生する嚢胞の分類および組織学的特徴を説明できる。	教科書(新口腔病理学)(182-194)を読んでおくこと。	1時間	E-2-4)-(5)-①	
				歯原性腫瘍の種類と特徴を理解する。	歯原性腫瘍の特徴と分類(WHO分類)および組織学的特徴を説明できる。			教科書(新口腔病理学)(196-210)を読んでおくこと。	E-2-4)-(5)-②
									E-2-4)-(6)-②
第12回	9/14(木)	2時限	病理 落合	唾液腺病変の種類と特徴を理解する。	唾液腺病変の特徴と分類および組織学的特徴を説明できる。	教科書(新口腔病理学)(257-271)を読んでおくこと。	1時間	E-2-4)-(8)-④	
				軟組織の腫瘍と顎骨の腫瘍および腫瘍様病変の種類と特徴を理解する。	軟組織の腫瘍と顎骨の腫瘍および腫瘍様病変の分類および組織学的特徴を説明できる。			教科書(新口腔病理学)(212-227、239-255)を読んでおくこと。	E-2-4)-(8)-⑤
									E-2-4)-(6)-①
第13回	9/15(金)	5時限		総合ゼミ					
第14回	9/21(木)	1時限	薬理 (柏俣)	末梢神経系に作用する薬物を理解する。 中枢神経系に作用する薬物を理解する。	1) 末梢神経の構造と機能を説明できる。 2) 交感神経の神経伝達物質とその受容体を説明できる。 3) 副交感神経の神経伝達物質とその受容体を説明できる。 4) 交感神経作動薬の働きを説明できる。 5) 交感神経遮断薬の働きを説明できる。 6) 副交感神経作動薬の働きを説明できる。 7) 副交感神経遮断薬の働きを説明できる。 8) 筋弛緩薬の働きを説明できる。 1) 全身麻酔薬(吸入麻酔薬、静脈麻酔薬)の働きを説明できる。 2) 催眠薬・抗不安薬の働きを説明できる。 3) 抗うつ薬や抗躁薬の働きを説明できる。 4) 中枢神経作用薬の副作用・相互作用が説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-②	

第15回	9/21(木)	2時限	薬理 (柏俣)	局所麻酔薬について理解する。 抗腫瘍薬について説明できる。	1) 局所麻酔薬の作用機序を説明できる。 2) 局所麻酔薬を化学構造に基づいて分類し、代表薬をあげることができる。 3) 局所麻酔の適用方法を説明できる。 4) 局所麻酔薬の効果に影響を与える因子について説明できる。 5) 局所麻酔薬の有害作用を説明できる。 1) 抗腫瘍薬の種類と代表的薬物について説明できる。 2) 抗腫瘍薬の作用機序を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-2)-②
第16回	9/25(月)	3時限	薬理 (長瀬)	炎症と薬を理解する。	1) 炎症の五大徴候を説明できる。 2) アラキドン酸カスケードを説明できる。 3) 炎症のケミカルメディエーターを説明できる。 1) ステロイド性抗炎症薬の代表的な作用機序と薬物、薬理作用と副作用を説明できる。 2) 非ステロイド性抗炎症薬の代表的な作用機序と薬物、薬理作用と副作用を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-4)-①
第17回	9/25(月)	4時限	薬理 (設楽)	抗感染症治療薬について理解する。	1) 抗感染症治療薬の基礎的事項を説明できる。2) 抗菌薬の副作用・副現象を説明できる。 2) 抗感染症治療薬の作用機序を説明できる。 3) 抗感染症治療薬の副作用と相互作用を説明できる。	授業前に教科書、配布資料をよく読む(30分)。授業後は配布資料等で確認する(60分)。	1.5時間	C-6-4)-②
第18回	10/2(月)	1時限		小テスト1①				
第19回	10/2(月)	3時限	修復 清水	コンポジットレジン修復、グラスアイノマーセメント修復について理解する。	コンポジットレジン修復、グラスアイノマーセメントの材料学的特徴、適応症、修復方法について説明できる。	各自の保存修復講義ノートや保存修復学21(永末出版)または保存修復学(医歯薬出版)を読んでおくことが望ましい。	1時間	E-3-3)-(1)-③
第20回	10/2(月)	4時限	修復 清水	コンポジットレジン修復、グラスアイノマーセメント修復について理解する。	コンポジットレジン修復、グラスアイノマーセメントの材料学的特徴、適応症、修復方法について説明できる。	講義および問題演習で理解していない部分は、教科書で確認しておくこと。	1時間	D-2)-②
第21回	10/13(金)	5時限		総合ゼミ				
第22回	10/16(月)	1時限		小テスト1②				
第23回	10/16(月)	3時限	修復 清水	コンポジットレジンインレー修復、セラミックインレー修復、ラミネートベニア修復について理解する。	各種インレー修復法およびラミネートベニア修復の特徴、適応症と禁忌症、臨床術式、製作法について説明できる。	各自の保存修復講義ノートや保存修復学21(永末出版)または保存修復学(医歯薬出版)を読んでおくことが望ましい。	1時間	E-3-3)-(1)-③
第24回	10/16(月)	4時限	修復 清水	メタルインレー修復、合着・接着材(各種セメント)、歯の漂白について理解する。	合着・接着材(各種セメント)の特徴、使用方法を説明できる。 歯の漂白法の特徴、種類、適応症と禁忌症、手順を説明できる。	講義および問題演習で理解していない部分は、教科書で確認しておくこと。	1時間	F-3-3)-①
第25回	10/30(月)	3時限	全部床 羽田	無歯顎の病因と病態、診察、検査、臨床手順と方法を理解する。	無歯顎の病態、臨床手順を説明できる。	無歯顎補綴治療学第4版(1~97ページ)を読む。	1時間	E-3-4)-(2)-②

第26回	10/30(月)	4時限	全部床 羽田	前処置、印象採得の目的・種類・方法、無歯顎の顎間関係記録法、咬合器装着、人工歯選択、人工歯排列を理解する	義歯製作の前処置から人工歯選択までを説明できる。	無歯顎補綴治療学第4版(98～227ページ)を読む。顎間関係の記録、人工歯についてまとめる。	1時間 1時間	E-3-4)-(2)-⑥
第27回	11/2(木)	1時限	放射 小日向	放射線の基礎的な事項を理解する	放射線の種類やX線の発生原理、性質を説明できる	教科書の予習と講義資料による復習	1時間	C-1-2)-②
第28回	11/2(木)	2時限	放射 小日向	X線の画像形成、撮影の種類について理解する	画像形成に影響する幾何学的条件および歯科X線撮影を説明できる	教科書の予習と講義資料による復習	1時間	E-1-2)-④
第29回	11/6(月)	3時限	全部床 羽田	ろう義歯試適、重合、削合、咬合器再装着、咬合調整義歯装着時の調整、疼痛の原因、破損の原因を理解する。	義歯製作のろう義歯試適から装着までを説明できる。	無歯顎補綴治療学第4版(228～261ページ)を読む。ろう義歯試適、咬合器再装着をまとめる。	1時間	E-3-4)-(2)-⑦
第30回	11/6(月)	4時限	全部床 羽田	リライン、リベース、修理、オーバーデンチャー、即時義歯、金属床義歯を理解する。	リライン、リベース、即時義歯、金属床義歯を説明できる。	無歯顎補綴治療学第4版(262～341ページ)を読む。リライン、リベース、金属床義歯をまとめる。	1時間 1時間	E-3-4)-(2)-⑩
第31回	11/9(木)	1時限	放射 小日向	顎顔面領域の画像検査と解剖構造を理解する	部位に応じた画像検査の選択と解剖構造を説明できる	教科書の予習と講義資料による復習	1時間	E-1-2)-⑥
第32回	11/9(木)	2時限	放射 小日向	顎顔面領域の画像から疾患の診断する能力の習得する	部位に応じた画像検査の選択と主要な疾患の画像診断ができる	教科書の予習と講義資料による復習	1時間	E-1-2)-⑦
第33回	11/10(金)	5時限		総合ゼミ				
第34回	11/13(月)	3時限	部分床	部分床義歯製作に必要な製作手順を理解する。	部分床義歯の製作手順が説明できる。	教科書・参考書等で義歯製作の臨床ステップを予習する。	1時間	E-3-4)-(2)-⑫
第35回	11/13(月)	4時限	部分床	部分床義歯製作に必要な義歯設計について理解する。	部分床義歯の設計について説明できる。	教科書参考書等でサベイングをはじめとする義歯設計関連について予習する。	1時間	E-3-4)-(2)-⑬
第36回	11/16(木)	1時限	放射 小日向	放射線を安全に利用するために放射線の生体に対する影響と防御、管理を理解する	生体への放射線の影響と防御、放射線被曝の管理と法的規制を説明できる	教科書の予習と講義資料による復習	1時間	C-1-2)-②
第37回	11/16(木)	2時限	放射 小日向	歯科領域の画像検査、診断する能力の習得と放射線治療を理解する	画像検査の種類と適応および放射線治療の原理と種類、適応を説明できる	教科書の予習と講義資料による復習	1時間	E-1-2)-②
第38回	11/20(月)	1時限		小テスト2①				

第39回	11/20(月)	3時限	木方	歯内治療における基本術式の概要を理解する。	診査・検査を説明できる。	事前:教科書p27～39 事後:講義内容確認	20分	A-3-(1) A-3-(3) E-1-1)-(1) E-1-1)-(2) E-1-1)-(3) E-1-1)-(4) E-1-1)-(5) E-1-1)-(6) E-1-1)-(7) E-1-2)-(7) E-3-3)-(2)-(1)
				歯の硬組織疾患を理解する。	象牙質知覚過敏症を説明できる。	事前:教科書p23～26 事後:講義内容確認	20分	E-3-2)-(1) E-3-3)-(1)-(1)
				歯髄疾患を理解する。	歯髄疾患の概要を説明する。	事前:教科書p51～52 事後:講義内容確認	10分	E-3-2)-(2)
					歯髄疾患の原因を説明する。	事前:教科書p52～54 事後:講義内容確認		E-3-2)-(2)
					歯髄疾患の分類と臨床症状を説明する。	事前:教科書p54～61 事後:講義内容確認		E-3-3)-(2)-(1)
					歯髄疾患の特徴と経過を説明する。	事前:教科書p61～62 事後:講義内容確認		E-3-2)-(2)
					歯髄疾患の診断を説明する。	事前:教科書p62～67 事後:講義内容確認		E-3-3)-(2)-(1)
				根尖性歯周組織疾患を理解する。	根尖性歯周疾患の概要を説明する。	事前:教科書p85～88 事後:講義内容確認	10分	E-3-2)-(2)
					根尖性歯周疾患の原因を説明する。	事前:教科書p89～92 事後:講義内容確認		E-3-2)-(2)
					根尖性歯周疾患の分類と臨床症状を説明する。	事前:教科書p93～99 事後:講義内容確認		E-3-3)-(2)-(1)
					根尖性歯周疾患の特徴と経過を説明する。	事前:教科書p99～100 事後:講義内容確認		E-3-3)-(2)-(1)
					根尖性歯周疾患の診査・診断を説明する。	事前:教科書p100～107 事後:講義内容確認		E-3-3)-(2)-(1)

第40回	11/20(月)	4時限	木方	歯内治療における基本術式の概要を理解する。	無菌的処置法を説明できる。	事前:教科書p39～46 事後:講義内容確認	30分 5分	C-4-1)-④ E-1-5)-⑥ E-1-5)-⑦ E-1-5)-⑧	
				歯髄疾患を理解する。	歯髄疾患の治療方針を説明する。	事前:教科書p67～71 事後:講義内容確認	20分	E-3-3)-(2)-①	
					歯髄疾患の治療法を説明する。	事前:教科書p71～84 事後:講義内容確認			
				根管処置を理解する。	髓室開拓を説明する。	事前:教科書p115～121 事後:講義内容確認	30分	E-3-3)-(2)-①	
					根管長測定法と作業長の決定を説明できる。	事前:教科書p121～123 事後:講義内容確認			
					根管形成を説明できる。	事前:教科書p124～134 事後:講義内容確認			E-3-3)-(2)-①
						事前:教科書p124～135 事後:講義内容確認			
						事前:教科書p124～136 事後:講義内容確認			
						事前:教科書p124～137 事後:講義内容確認			
					根管の化学的清掃を説明できる。	事前:教科書p124～138 事後:講義内容確認			E-3-3)-(2)-①
						事前:教科書p124～139 事後:講義内容確認			
						事前:教科書p135～138 事後:講義内容確認			
					根管の消毒(根管貼薬)を説明できる。	事前:教科書p135～139 事後:講義内容確認			E-3-3)-(2)-①
				事前:教科書p135～140 事後:講義内容確認					
事前:教科書p138～142 事後:講義内容確認									
緊急処置を理解する。	疼痛に対する緊急処置を説明できる。	事前:教科書p177 事後:講義内容確認	10分	E-3-3)-(2)-①					
	急性歯髄炎の緊急処置を説明できる。	事前:教科書p178～179 事後:講義内容確認							
第41回	11/27(月)	3時限	木方	根尖性歯周組織疾患を理解する。	根尖性歯周疾患の治療方針を説明する。	事前:教科書p107～114 事後:講義内容確認	30分	E-3-3)-(2)-①	
				根管処置を理解する。	再根管治療を説明できる。	事前:教科書p145～150 事後:講義内容確認	20分	E-3-3)-(2)-①	
				緊急処置を理解する。	急性根尖性歯周炎の緊急処置を説明できる。	事前:教科書p180～182 事後:講義内容確認	10分	E-3-3)-(2)-①	

第42回	11/27(月)	4時限	木方	根管充填を理解する。	根管充填材の所用性質を説明できる。	事前:教科書p152 事後:講義内容確認	30分	D-2-⑥	
					根管充填材の種類を説明できる。	事前:教科書p153～160 事後:講義内容確認		E-3-3)-(2)-②	
					根管充填の術式を説明できる。	事前:教科書p160～170 事後:講義内容確認		D-2-⑥ E-3-3)-(2)-②	
					根末完成歯の治療を理解する。	アペキソグネーシスを説明できる。	事前:教科書p183～184 事後:講義内容確認	30分	E-4-2)-④ E-4-2)-⑤
					アペキシフィケーションを説明できる。	事前:教科書p184～186 事後:講義内容確認	E-4-2)-④ E-4-2)-⑤		
					アペキソグネーシスとアペキシフィケーションの適応症例を説明できる。	事前:教科書p187～188 事後:講義内容確認	E-4-2)-④ E-4-2)-⑤		
第43回	12/4(月)	3時限	口外長縄	口腔外科的治療を説明できる。 口腔外科の診察で確認すべき症候を説明できる。 口腔外科に必要な診察項目を説明できる。 口腔外科に必要な検査を説明できる。	小手術の適応症と禁忌症を説明できる。 小手術の合併症(偶発症)を説明できる。 小手術に必要な器具と用法を説明できる。 切開と剥離について説明できる。 縫合と止血について説明できる。 手指と術野の消毒法について説明できる。 清潔と不潔の区別を説明できる。 器具の滅菌と消毒を説明できる。 拔牙について説明できる。 周術期管理について説明できる。 全身的な症候を説明できる。 顔面の症候を説明できる。 口腔粘膜の症候を説明できる。 顎骨の症候を説明できる。 顎関節の症候を説明できる。 筋の症候を説明できる。 リンパ節の症候を説明できる。 唾液腺の症候を説明できる。 感覚異常を説明できる。	教科書・参考書の手術に関する章	1時間		
					医療面接を説明できる。 バイタルサインを説明できる。 顔貌、口腔粘膜、所属リンパ節、唾液腺、顎骨、顎関節及び筋の診察を説明できる。 診断及び治療効果の評価を目的とする検査を説明できる。 スクリーニング検査を説明できる。 検査の必要性を説明できる。 検体検査、生体機能検査、顎口腔機能検査、皮膚検査を説明できる。				

第44回	12/4(月)	4時限	口外 江原	<p>口腔・顎顔面の先天異常を説明できる。</p>	<p>先天異常と後天異常を説明できる。 口腔・顎顔面領域に症状を伴う全身疾患(先天異常)を説明できる。 薬物・放射線による有害事象(先天異常)を説明できる。 顔面裂を説明できる。 口唇裂・口蓋裂を説明できる。 顔面裂を説明できる。 口唇口蓋裂, 鼻咽腔閉鎖不全、顔面裂、言語治療を説明できる。 小帯異常その他の口腔領域の先端異常を説明できる。 顎変形症を説明できる。</p>	<p>教科書・参考書の手術に関する章</p>	1時間	
				<p>唾液と唾液腺について症候や検査を含めて説明できる。</p>	<p>唾液の性状、構成成分及び機能、唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序、症候を説明できる。 唾液・唾液腺の検査を説明できる。 唾液腺の発育異常、異所性唾液腺を概説できる。 唾石症の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 唾液腺炎、唾液腺腫瘍、腫瘍類似疾患の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 ウイルス性唾液腺炎、Sjögren症候群、唾液腺損傷、唾液腺粘液貯留嚢胞の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 IgG4関連疾患、口腔乾燥症、流涎症の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。</p>	<p>解剖、生理で習った唾液腺の構造と機能 教科書の唾液腺疾患の項目</p>		
第45回	12/8(金)	5時限		総合ゼミ				
第46回	12/14(木)	1時限	(科目) 歯周病学 (担当者)佐藤	<p>歯周疾患の病因と病態を理解する。</p>	<p>歯周疾患の症状及び全身疾患との関連を説明できる(疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む)</p>	<p>講義および問題演習で理解していなかった部分は、教科書で確認しておくこと。</p>	1時間	E-3-2)-③
第47回	12/14(木)	2時限	(科目) 歯周病学 (担当者)佐藤	<p>歯周疾患の検査法、診断及び治療方針(メンテナンス・SPTを含む)を理解する。</p>	<p>歯周疾患の検査法、診断及び治療方針(メンテナンス・SPTを含む)を説明できる。</p>	<p>講義および問題演習で理解していなかった部分は、教科書で確認しておくこと。</p>	1時間	E-3-3)-(3)-②
第48回	12/18(月)	1時限		小テスト2②				
第49回	12/18(月)	3時限	口外 安村	<p>損傷の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。</p>	<p>損傷の種類、特徴及び治癒過程を説明できる。 損傷の治療方針(治療の優先順位)を説明できる。 歯の損傷と歯槽骨骨折の原因、種類、特徴、症状、診断法及び顎顔面骨折の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 口腔上顎洞瘻について原因、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 軟組織損傷の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。</p>	<p>病理で習った創傷 治癒の項目 教科書の損傷の項目 口腔外科教科書の損傷の項目</p>	1時間	

第50回	12/18(月)	4時限	口外渡邊	顎関節疾患の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。	顎関節構造と機能を説明できる。 顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 顎関節の発育異常の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 顎関節外傷の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 顎関節炎の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 顎関節の腫瘍及び腫瘍類似疾患の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 顎関節強直症の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 顎関節症の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 筋腱・権幕過形成の原因、種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる	解剖、生理で習った顎関節の構造と機能 教科書の顎関節疾患の項目	1時間	
第51回	12/20(水)	3時限	部分床	部分床義歯製作に必要な義歯設計について理解する。	部分床義歯の設計について説明できる。	教科書参考書等でサベイングをはじめとする義歯設計関連について予習する。	1時間	E-3-4)-(2)-⑫
第52回	12/20(水)	4時限	部分床	部分床義歯製作に必要な義歯設計について理解する。	部分床義歯の設計について説明できる。	教科書参考書等でサベイングをはじめとする義歯設計関連について予習する。	1時間	E-3-4)-(2)-⑫
第53回	12/21(木)	1時限	<科目>歯周病学<担当者>佐藤	歯周基本治療の種類と術式を理解する。	歯周基本治療の種類と術式を説明できる。	講義および問題演習で理解していなかった部分は、教科書で確認しておくこと。	1時間	E-3-3)-(3)-③
第54回	12/21(木)	2時限	<科目>歯周病学<担当者>佐藤	歯周外科手術の適応症と術式を理解する。	歯周外科手術の適応症と術式を説明できる。	講義および問題演習で理解していなかった部分は、教科書で確認しておくこと。	1時間	E-3-3)-(3)-④
第55回	12/22(金)	1時限	歯内	外科的歯内治療を理解する。	外科的歯内治療の適応症と種類を説明できる。	事前:教科書p211~212 事後:講義内容確認	30分	E-3-3)-(2)-⑤
					外科的歯内治療の術式および治癒機転と予後を説明できる。	事前:教科書p212~223 事後:講義内容確認		E-3-3)-(2)-⑤
				変色歯の漂白を理解する。	変色歯の漂白を説明できる。	事前:教科書p235~238 事後:講義内容確認	30分	E-3-3)-(2)-⑥

第56回	12/22(金)	2時限	歯内	歯内治療における安全対策を理解する。	髓室壁・根管壁の穿孔を説明できる。	事前:教科書p265～269 事後:講義内容確認	30分	E-3-3)-(2)-③
				治療用小器具の根管破折を説明できる。	事前:教科書p269～272 事後:講義内容確認	E-3-3)-(2)-③		
				治療器具の誤飲と気管内吸引を説明できる。	事前:教科書p272～273 事後:講義内容確認	E-3-3)-(2)-③		
				皮下気腫を説明できる。	事前:教科書p273～274 事後:講義内容確認	E-3-3)-(2)-③		
				根管処置後の根尖性歯周炎を説明できる。	事前:教科書p274～275 事後:講義内容確認	E-3-3)-(2)-③		
				根管充填材の溢出を説明できる。	事前:教科書p278 事後:講義内容確認	E-3-3)-(2)-③		
				根管治療薬剤による化学的損傷を説明できる。 使用器具による組織損傷を説明できる。	事前:教科書p278～279 事後:講義内容確認	E-3-3)-(2)-③		
第57回	12/26(火)	3時限 4時限		小テスト3①				
第58回	1/12(金)	3時限 4時限		小テスト3②				